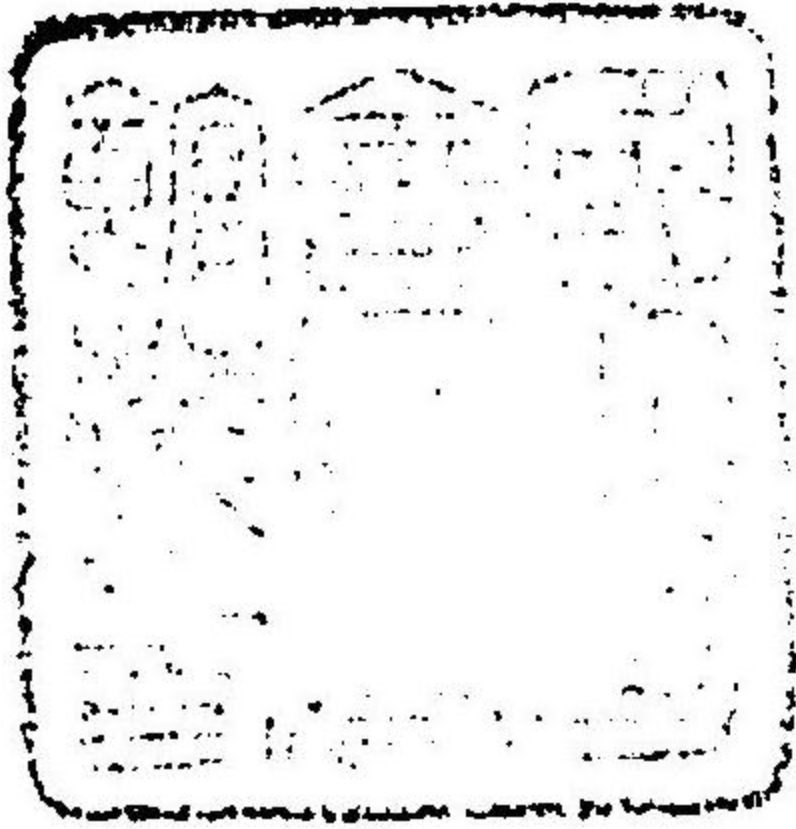


47785

日本小説表

全

910.32A8627



208610

緒言

我國古來小説に關する書目の類少からず。此内自から二種の區別の存するを見る。一は廣義的書目にして。本朝書籍目録を初め。寛文。天和。貞享。元祿。寶永。正徳の各年間刊行の書目等。此種類に屬し。一は狹義的書目にして古物語目録。好色本目録。吉原書籍目録。神史年表。青本年表。戯作外題鑑(以上三種は。共に其時自編にして。原目の「黄表紙外題鑑。合卷外題集。合卷名の目録。以上三種も。其時自編のものなり。）」等此種類に屬す。前者は範圍廣く。小説以外の書籍をも記載せる特點あれども。たゞ雜然と分類し。書名及冊數を配せるのみ。刊行年代はもとより作者畫工すら記さざる極めて不完全のものなり。後者は専門的に蒐集編纂せしものなれば。頗る詳細を極めたれども。從來悉く寫本にて傳はりしを以て傳寫の誤謬極めて多く。且つ脱漏も亦少からず。殊に此種の書目は。小説中僅に好色本。青本(黄表紙)。合卷等三種の書目あるのみにして。他は未だ編纂せしものあらず。

此等の缺點を補はんとして。小説年表編纂に志せしは五年以前なりき。當時は寧日本小説史を著さんとの準備として。古來の書目を漏さず蒐集し。原本によりて訂正増補せしものなりしが。此度更に力の及ぶ限り原本閱覽の上。増補分類し。殆ど遺漏なきを期したり。されば此年表の好色本。青本(黄表紙)。合卷の部は。從來の書目の増補訂正に過

ぎざれども。古代小説。假名草紙。浮世草紙(好色本の一)。讀ミ本。軍記目録。滑稽本。洒落本。人情本。安永四年以前の草雙紙(行成表紙本。赤小本。赤本。黒本。青本。)等の部門は。予の蔵書を基礎とし。帝國及大學圖書館を初め。各蔵書家の秘庫をあさり新に編纂せしものなり。

讀ミ本といひ。滑稽本といひ。洒落本といひ。此等分類の方法は。從來人々により一定せず。或は外形より推して讀本とすれば。或は内容より推して滑稽本なりとするの類多し。且從來滑稽本と稱し來りし中に。會話体なるもの。寓意的なるもの。繪畫を主とせるもの。一部の趣向なき戯文等の區別あり。洒落本亦其例を等しくす。此等の區別を明瞭ならしめんが爲に。予の閱覽せしものは。悉く其解題を書目の傍に附し。且各部門の初に。其變遷と原本の離形とを添へ。又卷末には作者詳傳を載せ。年表としても。神史解題としても。又一部の小説史としても。見れば見らるべき共通の新式年表を編纂せり。これ實に此年表の初原稿たりしなり。

稿なりしは。去年十一月の初旬にして。知己。朋友に依頼し。或は直接書店に談せし。かゝる大冊は資本固定の弊あればとて。謝絶せられし折柄。幸田氏監督の下に小説書目編纂の舉ありと聞き。心ならず終に意を決して書を賣り。衣を飛ばして。茲に自費出版の計畫を立てたり。されど千頁以上の大冊。いかて力の及ばんや。是非なくも變遷。傳記及解題の多くなを略せし。なほ得し金子にては。百部の出版も覺

東なく。幾度か断念せんと欲しては心残り。在再日を送る中。知己某氏の紹介にて。文淵堂金尾氏と會談し。其結果三百頁の冊子となし。其同出版する事となれり。たとへ省略せる年表なりとはいへ。漸く世に出つるを得たるは。偏に金尾氏の厚意による所なり

事情かくの如きを以て。缺點を知りつゝ。忍ばざるべからざる苦境に立てり。かくしてあらんも心ならずも新に計畫を立て。先に省略せるものを。一々別冊子として。刊行せんとす。即徳叙及各題目の變遷を。更に詳述批評せる『江戸小説史』。小説家の傳記に加ふるに淨瑠璃作者。狂言作者。狂歌師。歌謡の作者に至る傳記を蒐集せる『戯作者傳集成』。小説の板式。繪畫。體裁の變遷と多くの難形を添へたる『神史備考』。一部趣向のある小説を解題せる『神史解題』等を續きて刊行し。此年表と連絡あらしめ。庶幾は完全の域に達せしめん事を期す。されどこれ前途遠道の業なり。若し幸にして此年表再版の機俾に遭遇せんか。以上四部の書中を抜萃せるものを加へ以て諸彦の厚意に酬ふべし

年表所載の年代は。原版のものを記せしは勿論なれども。元祿前後より古版を再刻改題し。新序を加へ。新年月を入木して。新版と偽るゝと流行し。一小説にして數題目を有するものすあり。されば年表にも改題と悟らずして原題目と誤り。再刻年月を以て。原年月と誤りしものあるべし。傳本稀にして普く見るを得ざるの今日。實に止を得ざるなり

草雙紙中。合巻を除きし外は。總て外部の張外題に題目を記すにとどまり。巻中一も之を記さず。若し張外題逸失せんか。僅に書中の柱に略題目を記せるものを想像して。搜索するより外なし。さるを柱の略名を以て書名と思推し。書名索引になきを以て。年表の鹿瀨を責め給はざらん事を祈る。

近世小説は。其種類頗る多く。蒐集上遺漏なきを期したれども。淺學寡聞。誤記脱漏多かるべし。識者の斧正を俟つ

紀元二千五百六十六年三月十五日

朝倉 無聲 識

附記

本年表を活版所に廻送せしは。三月十七日なり。五月には遅くも發梓せらるべしと思惟し。四月に廣告を出せしも。金尾氏の病氣と活版所と予との行違により。延び／＼して終に今日に至れり。早く廣告により豫約せられし方少からず。伏して寛恕を請ふ

尙追記すべき事は。近刊雜誌「高潮」に。新群書類從の書目録中。續青本年表は五軍書樓主人編輯青本年表を原本とし。増補せるよし記せり。この五軍書樓主人とは予の戲號にして。續青本年表は五年前編纂せるものなりしが。小説年表編纂の際。不用に屬せしを以て。淺倉屋の懸窓のまゝ誤りしものなり。而してこの續青本年表とは。從來の青本年表が文化三年に終り。其後は悉く合巻と

なりたるを以て餘は合巻の目録に譲る」と記し。文化三年以後に。まゝ出てたる黄表紙を。合巻目録中に混同せるを慨し。見聞のまゝ拾集。分類し。且合巻中の趣向にして黄表紙めけるものをも併録し。假にかく名付け。序にも其意を記し置きし機に覺ゆれども。實は記さざりしにや。類從書目の編者。誤りて悉く青本なりとし。更に増補せらるゝに至りては。予の罪も亦輕からず。由來文化三年以後に於ける黄表紙(或は)は僅少のものなるに。續青本年表には頗る多きはこれが故なり。類從の書目を見し人にして。此年表を見て。其少きに疑を抱かれん事を恐れ。いさゝか其頭末を記して。罪を江湖の諸彦に謝す

丙午九月晦日

無聲 又 識

# 日本小説年表目次

○古代小説……………	一
○平安朝時代小説……………	一
○鎌倉時代小説……………	九
○室町時代小説……………	一〇
附録	
○舞の本目録……………	一四
○散逸物語目録……………	一六
○近世小説……………	一五
○假名草紙 <small>(過渡時代小説)</small> ……………	一五
○浮世草紙 <small>(四齣本、好色本、八文字屋本等)</small> ……………	一三
○讀本……………	一五
附	
○寫本軍記實錄目録……………	一五
○滑稽本……………	一八
○洒落本 <small>(一名落本、又名小木)</small> ……………	一九

○人情本 <small>(一名中本、又粹書本)</small> ……………	一〇五
○草雙紙……………	一三三
○行成表紙本 <small>(一名からか、み表紙本)</small> ……………	一三三
○赤小本……………	一三三
○赤本……………	一三三
○黒本……………	一四四
○青本……………	一四六
○黄表紙……………	一九九
○合巻……………	一七四

## ○書名索引

## ○作者及著述索引

# 日本小説年表

朝倉無聲撰

## ○平安朝時代

○竹取物語 一卷

一名 かぐや姫物語

註釋書類

- 竹取物語抄 二卷 小山 儀 天明四年
- 竹取物語補註抄 二卷 翔 仲 磯 同
- 竹取物語解 六卷 田中 大秀 天保二年
- 竹取物語俚言解 一卷 佐々木 弘綱 安政四年
- 竹取物語補註 三卷 入江 昌喜
- 竹取翁長歌考 一卷 賀茂 真淵
- 竹取翁歌解 一卷 荒木田 久老
- 伊勢物語 二卷
- 一名 在五中將物語

註釋書類

- 伊勢物語隨腦 一卷 傳云在原滋春
- 伊勢物語知顯抄 三卷 傳云源 經信
- 伊勢物語愚見抄 五卷 藤原 兼良
- 伊勢物語惟清抄 二卷 清原 宣賢
- 伊勢物語宵聞抄 二卷 牡丹花宵拍
- 伊勢物語抄 二卷 釋 宗 祇
- 伊勢物語闕疑抄 五卷 細川 幽齋 慶長二年撰  
文八年再撰
- 伊勢物語難義註 一卷
- 伊勢物語註 二卷
- 伊勢物語抄 二卷 里村 紹巴
- 伊勢物語抄 四卷 松永 貞德
- 伊勢物語抄 十卷
- 伊勢物語勸講抄 二卷 後水 尾帝

○伊勢物語集註十二卷一華堂切臨 承應二年  
 ○伊勢物語抄一卷加藤 盤齋  
 ○伊勢物語初冠五卷同 撰  
 ○伊勢物語拾穗抄四卷北村 季吟 延寶八年  
 ○大和詩經解一卷  
 ○伊勢物語言餘抄 山岡 元隣  
 ○勢語 臆 斷五卷釋 契 沖 享和三年  
 ○伊勢物語章甫抄八卷岨山 春幸 寶曆三年  
 ○勢語 通二卷五井 純禎  
 ○伊勢物語重子問十三卷荷田 春滿  
 ○同 修刪二卷度會 末雅  
 ○伊勢物語傍註二卷賀茂 真淵 安永五年  
 ○伊勢物語古意六卷同 撰 寬政九年  
 附よしやあしや一卷上田 秋成 同  
 ○勢語 五考一卷賀茂 真淵  
 ○伊勢物語考異一卷建部 綾足  
 ○伊勢物語註解二卷加藤 美樹

○伊勢物語秘訣四卷高田 宗賢  
 ○伊勢物語新釋六卷藤井 高尚 文化元年  
 ○伊勢物語殘考三卷 同 五年  
 ○伊勢物語參解十卷  
 ○勢語臆斷別勘一卷伊勢 貞丈  
 ○伊勢物語大全十卷村田 春野  
 ○伊勢物語參考二卷屋代 詮賢  
 ○伊勢物語昨非抄三卷釋 立綱  
 ○伊勢物語傍註二卷山本 季應  
 ○伊勢物語梓弓三卷平田 篤胤  
 ○伊勢物語鄙言 尾崎 雅嘉  
 ○在五中將日記復古解四卷野々口 隆正  
 ○伊勢物語但目解二卷佐々木 弘綱  
 ○宇津保 物語三十卷  
 註釋書類  
 ○宇津保物語考一卷安藤 爲章  
 ○宇津保物語不抽塵七卷本多 忠憲

○宇津保物語玉琴二卷細井 貞雄 文化三年  
 ○宇津保物語年立二卷殿村 常久  
 ○宇津保物語階梯三卷小山田 與清  
 ○宇津保物語類語 同 撰  
 ○宇津保物語別十卷橋 守部  
 ○宇津保物語考一卷桑原 刀自  
 ○宇津保物語頭字部類三卷足代 弘訓  
 ○落久保物語 六卷  
 註釋書類  
 ○落久保物語頭書四卷賀茂 真淵  
 ○落久保物語註釋一卷加藤 千春 隆海  
 ○落久保物語註釋二卷源 道別  
 ○落久保物語解六卷田中 大秀  
 ○落久保物語目錄 小山田 與清  
 ○源氏物語 五卷紫 式部  
 註釋書類  
 ○源氏物語奧入注追加三卷藤原 定家 行

○源氏官名和歌一卷藤原 爲家  
 ○水 源 抄五卷源 光行  
 ○紫 明 抄五卷釋 素寂  
 ○紫明拾遺抄一卷  
 ○源氏論義二卷源 具顯  
 ○源中最秘抄一卷釋 行阿  
 ○仙 源 抄一卷藤原 長親  
 ○源氏小鑑三卷同 撰  
 ○河 海 抄二卷四辻 善成  
 ○源語雅言解二卷菅原 種文  
 ○花鳥餘情二十卷藤原 兼良  
 ○源氏和字抄六卷同 撰  
 ○源氏秘訣一卷同 撰  
 ○源氏物語和秘抄一卷同 撰  
 ○源氏物語年立考二卷同 撰  
 ○帶 木 別 註一卷  
 ○源氏物語千鳥抄二卷

○水滴色葉類聚一卷  
 ○源氏目安七卷  
一名類字源語抄  
 ○三賢一覽十卷富小路俊通  
 ○至德記三十卷  
 ○不審抄出一卷釋宗祇  
 ○種品篇次抄五卷猪苗代兼載  
 ○源氏物語鈔五卷同撰  
 ○咲花抄七卷壯丹花宵拍  
 ○一葉抄十五卷同撰  
 ○細流抄二十卷藤原公條  
 ○薄紫二十卷釋宗長  
 ○宗頌抄六卷月村宗頌  
 ○花屋抄四卷  
 ○休聞抄五卷里村昌休  
 ○源氏物語抄二十卷里村紹巴  
 ○林逸抄五卷林宗二

○明星抄五卷藤原實隆  
 ○源氏物語系圖一卷同撰  
 ○箋(峴江楚入收載)一卷同撰  
 ○源氏物語願文一卷  
 ○源氏物語表白一卷釋聖覺  
 ○孟津抄五卷九條植通  
 ○源氏物語竟宴記一卷同撰  
 ○岷江入楚五卷中院通勝  
 ○同別記一卷同撰  
 ○賦源氏物語詩一卷  
 ○萬水一露三卷能登永閑寛文三年  
 ○源氏引歌一卷  
 ○源海集一卷  
 ○源氏物語註五十卷細川幽齋  
 ○源氏物語辨同撰  
 ○源氏物語伏屋座一卷後水尾帝  
 ○源氏卷次第文字韻一卷同

○源氏物語辨引鈔二十卷一華堂切臨  
 ○源氏四河入海三十卷釋興隆  
 ○源氏秘傳錄三卷同撰  
 ○昌伯源氏註一卷  
○源氏物語先入御抄一卷  
 ○源氏綱目九卷一華堂切臨  
 ○源氏目錄五卷  
 ○源氏物語歌一卷  
○源氏一部連歌可用詞一卷  
 ○源氏解一卷  
 ○源氏槩抄二卷  
 ○源氏語古抄一卷  
 ○源氏大槩抄一卷  
 ○源氏肝要一卷  
 ○源氏物語提要一卷  
 ○源氏三ヶ大事一卷

○源氏詞知一卷  
 ○源氏要解二卷  
 ○紫語素註一卷  
 ○源氏物語稜書三卷  
 ○光源氏物語大意一卷  
 ○源氏狹衣歌合一卷  
○伊勢源氏十二番女合一卷  
○源氏人々の心くらへ一卷  
 ○源氏物語綱目十卷  
 ○源氏物語淺聞抄二卷  
 ○源氏參註十五卷  
 ○源氏大繩一卷  
 ○桐壺記一卷  
 ○源氏木芙蓉二卷  
 ○源氏供養一卷  
○源氏物語語抄年月考一卷林羅山  
 ○源氏鬢鏡一卷小島宗賢萬治三年

- 首書源氏物語 季卷釋 子真校 延寶元年
- 源氏物語湖月抄 六十卷 北村 季吟 同
- 源氏雲隱抄 九卷 淺井 了意 同 五年
- 源氏雲隱附
- 源語 雨夜抄 五卷 石出 常軒
- 源氏家傳抄 三卷 山岡 元隣
- 源氏 掌 故 四卷 有賀 長伯
- 源 語 鈷 四卷 五井 純禎
- 源氏男女裝束抄 一卷 刀村 宗願 壺井 義知 補 元祿元年
- 同 後附 一卷 渡邊 康映 文政八年
- 源氏大和詞 三卷 元祿九年
- 源氏物語大意抄 一卷 元文元年
- 源 註 拾遺 八卷 釋 契沖 天保五年
- 源氏物語新釋 三十六卷 賀茂 真淵
- 源氏ひとりごち 一卷 伊勢 貞丈
- 紫 女 七 論 一卷 安藤 爲章
- 源氏物語外傳 五卷 熊澤 蕃山

- 源 語 梯 三卷 市岡 猛彦 天明四年
- 雨夜のだみことば 二卷 藤原 宇萬伎
- 手 枕 一卷 本居 宣長 寛政四年
- 紫 文 消 息 一卷 橋本 稻彦 文化四年
- すみれ 草 三卷 北村 久備 同十二年
- 源氏物語玉の小櫛 九卷 本居 宣長
- 原名 鈴の音色
- 玉の小櫛補遺 二卷 鈴 木 朗 文化三年
- 源氏年紀考 一卷 本居 宣長
- 源 註 餘 滴 三卷 石川 雅望
- 同 拾遺 五卷 同 撰
- 紫 文 製 錦 八卷 橋本 稻彦 文化十四年
- 源氏 榮 事 六卷 畑中 盛雄
- 源氏 榮 言 同 撰
- 源氏 事 類 三卷
- 續源氏類字 一卷
- 源語 斷 錦 八卷 川上 靜庵

- 源氏物語不拂塵 四卷 本多 忠憲
- 源語類聚抄 八卷 小山田 與清 撰
- 源氏物語目次 三卷 同
- 清 石 問 答 一卷 清川 水 雅 忍 臣
- 源氏物語名寄圖考 一卷 清水 濱臣
- 少 女 卷 註 一卷 鈴木 朗 文政三年
- 源 註 餘 意 林 國 雄
- 源氏雜語抄 十卷 齋藤 彦麿
- 源氏物語逸文考 山岡 俊明
- 源氏演說抄 一卷 石野 廣道
- 和訂源氏物語系圖 一枚 森 嘉基 文政三年
- 源氏物語大意 二卷 釋 祖能 同
- 源氏帚木卷 荒木田 久守
- 源氏 忍 草 四卷 北村 湖春 天保五年
- 源氏物語類語 八卷 足代 弘訓
- 源語 圖 抄 一卷 山本 正臣
- 源氏物語麻袋 五十卷 榎並 隆理

- 源氏物語年立考 一卷 本居 内遠
- 源氏物語考 岡本 保孝
- 源氏物語評釋 十三卷 萩原 廣道 嘉永七年
- 源氏空蟬卷 千葉 葛野
- 源氏物語大全 五卷 村田 春野
- 源氏桐壺大概 天野 信之
- 源氏瓊の御須磨流 去卷 荒木田 守訓
- 源氏物語評註 野々口 隆正
- 源語 奥 旨 一卷 近藤 芳樹
- 源氏物語解 二卷 萩原 宗固
- 源氏物語折衷 一卷 日野 直麿
- 源氏物語俚言解 佐々木 弘綱
- 源語 童 噺 同 撰
- 狹衣 物 語 八卷 大貳 三位
- 註釋書類
- 狹衣 下 紐 四卷
- 狹衣 系 圖 一卷 三條 西實隆



○狭衣物語入組 一卷 河村 秀根  
○狭衣物語類語集 小山田與清

○大和物語 二卷  
註釋書類

○大和物語首書 一卷 和田 以悦  
○大和物語抄 六卷 北村 季吟  
○大和物語直解 三卷 賀茂 直淵  
○大和物語抄補翼 伴 嵩 蹊  
○冠註大和物語 三卷 井上 文雄  
○大和物語新註 五卷 同 撰

○濱松中納言物語 八卷  
註釋書類  
○濱松中納言物語類字 小山田與清

○堤中納言物語 二卷  
この物語に二種あり、一は堤中納言兼輔の事を書けるものにして今傳はらず、他は廣く世に行なるものにして、書中毫も堤中納言に關する事なき全く別種の物語なり、蓋し後人この物語の眞名稱を失し前者と誤りて、かく名付けしものなるべし

○夜半寐覺物語 殘缺  
一名 寢覺物語、夜寢覺物語、又小夜寢覺物語といふ

### ○鎌倉時代

○松浦宮物語 一卷

○住吉物語 一卷  
この物語は、室町時代に至り盛に行はれし本地物の濫觴なり  
この物語の名稱は古く源氏物語及枕草紙に見えたと早く散逸しけるを此時代に新たに作りなせしものなり

註釋書類

○住吉物語松風抄 二卷 萩原 廣道  
○とりかへばや物語 四卷

この物語にも二種あり、一は拾遺百番歌合に見えたるものにして、他は無名草子に見ゆるものこれなり、今世に傳はるものは、この二者混同したるものなり、即初部は古とりかへばやにして、他の殘部は新とりかへばやなり

註釋書類

○取かへばや詞寄 一卷 小山田與清  
○新とりかへばや考証 四卷 岸本 弓弦  
○鳴門中將物語 一卷

註釋書類

○鳴門中將物語考証 一卷 岸本 弓弦

○石清水物語 一卷

この物語を世に正三位物語といふものあれども誤なる事論なし

○風につれなき物語 殘缺

○唐物語 一卷

この物語は游仙窟及白氏文集の中より翻譯せしものにして小説的物語といひ難けれど、かゝる物語中最初の翻譯なるが故に特に茲にのす

○苔の衣 五卷

○山路の露 一卷 傳云世尊寺伊行

○地獄草紙 一卷 春日光長畫

これ後に行はるゝ草紙類の濫觴にして佛説もの祖なり

○繪草紙 一卷

○繪師草紙 一卷 藤原 信實

○曾我物語

これ歴史小説の濫觴にして實録物の祖なり

○室町時代

- 御伽草子 廿三部
- 文章草子 二
- 鉢かづき 二
- 小野小町 二
  - 一名 小町の草子
- 御曹司島渡り 二
- 唐糸草子 二
- 木幡きつね 二
- 七草草子 一
- 猿源氏草子 二
- 物草太郎 二
  - 一名 わたぎの木地
- さゞれ石 一
- 蛤の草子 二
- 子敦盛 一

- 二十四孝 二
- 梵天國 三
- のせざる草子 一
- 濱出草子 一
- 和泉式部 一
- 一寸法師 一
- さかさ 一
- 浦島太郎 二
- 横笛草子 一
- 酒頭童子 二
- 猫の草子 二

右の中猫の草子の文中に慶長七年の年號あり、是等を御伽草子と名付けしは何時頃よりなりけん、版行本には出版年月を記さざれば明かならずと雖も、貞享、元禄、正徳の書目録に右の草子を記載しつゝ、御伽草子と云々書目のなき事より思へば享保以後に附せし名稱なるべし。

- 女郎花物語 一卷
- 忍音物語 三卷

此物語の名稱は月詣和歌集に見え、極めて古きものなれども現存せるものは此時代の偽作にして新忍音とも名付くべきものなり

- 櫻中將物語 一卷
- 若草物語 三卷

●以上の三趣向いづれも相似たり、共に古忍音の筋によりて改做せしもの歟

- 秋月物語 一卷
- 班女物語 一卷
- 橋姫物語 一卷

此物語の名稱古く顯注意勘に見ゆれど現存せるは此時代末の偽作なり

- 岩屋草紙 二卷

一名 岩屋物語といふ、風葉集に見えしものと異なり此時代の作にかゝる

- 落窪草紙 一卷

一名 小おちくぼ

- さごろも 二卷

右二書は平安朝の落久保、狭衣を模倣せる作なり

- 音無草子 一卷

- 轉寐草子 一卷

風葉集に轉寢物語の名あれど此草紙とは別種なり

- 鶴の草子 二卷

- 胡蝶 一卷

●以上十四種は男女の戀愛に關するもの

- 秋夜長物語 一卷

叡山の贈四法師三井寺の兒童梅若と契る物語にして後世所謂男色もの、濫觴なり、以下の三書もこれに倣ひたる男色ものなり

雑知流

- 鳥部山物語 一卷

- 松浦帆物語 一卷

- 嗟蛾物語 一卷

- 土蜘蛛草子 一卷

- 大江山繪詞 三卷

- 伊吹山繪詞 三卷

右の二書は御伽草紙中の酒頭童子と大體に於て同じ趣向なれども、たゞ其筋を酒頭童子は日本國內にとゞめ、大江山繪詞は支

那にも及ぼしたり、又伊吹山繪詞は童子の住處を伊吹山千町が  
嶽とせるを異なる點とす

- 日高川繪詞 一卷
- 浦島草子 一卷

御伽草子の浦島太郎とは全く異なるものなり

- 中書王物語 一卷 藤原兼良
- 立烏帽子 一卷
- 乳母草子 一卷
- 長谷雄草子 一卷
- 玉もの前二卷
- 男衾三郎物語 一卷
- 義經 記十一卷
- 西行一生涯草紙 六卷

西行物語と同じ物歟

- 木曾物語 三卷
- 淨瑠璃十二段草子 一卷

徳川時代に至り隆盛を極めたる淨瑠璃の祖なり

以上十五種は傳説實録に關するものなり

- 福富草子 二卷
- さしやき竹草子 一卷
- 酒色論 一卷

一名三論

- 破鏡物語 一卷
- 十二類合戰繪詞 三卷
- 付喪神繪詞 二卷
- 鴉鷲物語 三卷 傳云一條禪閑
- 精進魚類物語 二卷

一名魚鳥平家

- 泉の草子 一卷
- 化物草子 一卷

一名泉法師

- 玉蟲草子 一卷
- 狐草子 一卷
- 猿草子 一卷
- 鼠草子 一卷

一名狂附草子、又氣違草子ともいふ

- ころろぎの草子 一卷
- 調度歌合 一卷
- 蟲十五番歌合 一卷
- 鳥十五番歌合 一卷
- 藤袋草子 一卷
- 柿本系圖 一卷
- かよしの姫君 一卷
- 花鳥風月 一卷
- 賀陽良藤物語 一卷

一名葉室中納言物語

以上廿三種は滑稽にして怪異なるもの後世の滑稽本はこの流  
れを汲みしものなり

- びしゃ門の本地 三
- 貴船の本地 三
- 熊野の本地 三
- 月日の本地 二
- 釋迦の本地 三

- 七夕の本地 二
- 善光寺の本地 三
- 賀茂の本地 三
- 八幡の本地 三
- 天神の本地 二
- 清水の本地 二
- 祇園の本地 三
- 庚申の本地 二
- 弘法の本地 三
- 嚴島の本地 三

以上の本地中びしゃ門、貴船の二本地を除くの外は貞享、元禄  
の書目録によりて加ふ、傳本極めて稀なれは見る事を得ざれど  
も概して此時代の遺作にして過渡時代に出でしものと思はるゝ  
が故に茲に附記す、書名の下に二或は三としるせるは冊數なり

- 須田彌兵衛要山家繪詞 一卷
- 幻夢草子 一卷
- 今宵の少將 三卷

一名雨やどり

附録

○舞の本目録

舞の本は中古の舞の譜本なれども其譜既に滅び、今は御伽草子と同じく單行の小説として世に行はるゝが故に茲に載せて附録とす

- 濱 い て 一
- 硫 黄 が 島 一
- 常 盤 問 答 一
- い る か 一
- 夢 あ は せ 二
- 新 曲 一
- 那 須 の 與 一 一
- こ し ご え 一
- 四 國 落 一
- 元 服 會 我 一
- 小 袖 會 我 二
- 和 田 酒 盛 二

- 天 狗 草 紙 一 卷
- 常 盤 の 嬭 一 卷
- 三 人 法 師 二 卷
- 佛 鬼 軍 一 卷 傳云一休和尚 元祿十一年 文政再刻
- 魔 佛 一 如 一 卷
- 雀 の 發 心 一 卷

●以上廿四種は佛説本地類にして近世の佛敎的文學の濫觴なり

- 十 番 の 物 争 一 卷
- 四 十 二 の 物 争 一 卷
- 天 稚 彦 草 子 二 卷
- 海 人 の 苜 藻 一 卷

こは拾遺百番歌合、色葉集等に見えたるものと異なり此時代の作にかゝる

- と が し 二
- 清 志 げ 一
- 未 來 記 一
- 木 會 願 書 一
- か げ 清 二
- 馬 ぞ ろ へ 一
- 笛 の ま さ 一
- い ぶ き 一
- 十 番 切 二
- 大 職 冠 二
- 伏 見 と き は 二
- 堀 川 夜 討 一
- あ つ も り 二
- ま ん ぢ ろ 二
- 高 だ ち 二
- 夜 討 會 我 二
- 百 合 若 大 臣 二

- 文 覺 二
- 笈 さ が し 一
- 志 田 二
- 築 島 二
- 鳥 朝 子 折 二
- 八 島 二
- か ま だ 二
- い づ み が 城 二

群書一覽には右廿六番を舞の本とすれど貞享、元祿の書目には右の中抄合、劍歌嘆を除き左の二部を加へて廿六番とせり

○散逸物語目録

これ等の物語類は、たゞ名目のみ古書に存して世に傳はらざるものなり、いま古物語字類鈔をもととし五十音順に別つ、下欄に挙げたるものは、其名目を載せし書目なり

○あ 部

- あさうづ物語 更科日記
- あしびたくや物語 狭衣物語集
- あさくら物語 拾遺百番歌合、色葉集、明月記、風葉集、拾遺百番歌合、色葉集、明月記、無名草紙
- 海人刈藻 寶物集
- 海人子物語 色葉集
- 秋かぜながし物語 同
- あはれのわかさみ物語 同
- あふにしかへば物語 同
- 逢の中將物語 同

字類鈔に逢の中將の誤寫にあらすやといへり

- あめのした物語 色葉集
- あしすだれ物語 同集、風葉集
- あじろ物語 同
- あふさか物語 同
- あま物語 色葉集、八雲御抄、風葉集
- ありま王子物語 海人子物語と同じ物歟
- あまが原内侍のかみ物語 八雲御抄
- ありあけの別れ物語 無名草紙
- あさくら山物語 風葉集
- あさちが露物語 字類鈔云朝倉物語の誤歟
- 秋の夜長しとわぶる物語 同
- あさぢが露物語 同
- 秋の夜ながひる物語 同
- あさ露物語 同
- あづま物語 同
- あふぎながし物語 同

- あふまかへる物語 風葉集
- あふにかふる物語 同
- あしたづ物語 同
- あしのやへぶき物語 同
- あだなみ物語 同
- あたりさらぬ物語 同
- あひずみくるしき物語 同
- あまのもしほび物語 同
- あまやどり物語 同
- あらばあふよ物語 同
- あれまく物語 同
- 秋津島物語 本朝書籍目録
- 秋の夜かたる少將物語 古物語目録
- あはび貝物語 同
- いゝる部
- いませきの中將物語 勤女往生義
- 岩垣沼物語 後拾遺和歌集

- 岩うつ物語 風色葉集
- いせを物語 風葉集
- いちひひろひ物語 同
- いはてしのぶ物語 同
- う 部
- 梅壺の少將物語 枕草紙
- 埋木物語 枕草紙
- 内の女御物語 風葉集
- うきなみ物語 色葉集
- うきなみ物語 無名草紙
- 宇治の川なみ物語 無名草紙
- うき雲物語 風葉集
- うたゝね物語 同
- うつせみしらぬ物語 同
- 梅めづる物語 同
- うらみしらぬ所物語 同
- うらもり物語 古物語目録

字類鈔云からしりの誤寫なるべしと

○おを部

○をくらひ物語	古今序註
○大津の王子物語	狭衣物語
○おほむ物語	狭衣物語、源氏物語
○老人のかたみ物語	風色葉集
○おのれけふたき物語	同
○思ふにくるしき物語	色葉集
○をんなのひかけ物語	同
○をだえの沼物語	無名葉紙
○おとし文物語	風葉集
○おやこの中物語	同
○おもかけこふる物語	同
○をぐるま物語	同
○をぐら山たづぬる物語	同
○女のすくせしらす物語	同
○女すゝみ物語	同
○をのへ物語	同

○忌部物語

○かたの少將物語	源氏物語、枕草子
○からもり	源氏物語
○かばね祓ぬる宮物語	更科日記
○かくれみの物語	狭衣物語、無名草紙
○かはほり物語	狭衣物語
○からくに物語	風色葉集
○かいばみ物語	同
○かつらの宮物語	色葉集
○川がり物語	無名草紙
○かさぬる夢物語	風葉集
○かすみへだつる物語	同
○かつら中納言物語	同
○かひ物語	同
○かほよき舞姫物語	同
○かやが下をれ物語	同

古物語目録

○さ部

○京太郎物語 道の幸

○く部

○國ゆづり物語 枕草紙  
 ○くさの、本物語 色葉集  
 ○くまの、物語 同  
 ○孔雀御子物語 八雲御抄  
 ○雲井の月物語 風葉集

○け部

○けぶりにむせぶ物語 風葉集  
 ○けぶりのしるべ物語 同  
 ○現玄物語 古物語目録

○こ部

○狛野物語 源氏物語紙  
 ○心高き物語 枕草紙、拾遺百番、色葉集、明月記、風葉集、無名草紙  
 ○こふむかへ物語 無名草紙  
 駒迎の歌なるべし

○紅梅物語

○こさうしき物語 同  
 ○戀に身かふる物語 同  
 ○こゆみ物語 同  
 ○こころやり物語 同  
 ○ことうらの煙物語 同  
 ○こまむかへ物語 同  
 ○こころとまり物語 同  
 ○こころのしるべ物語 同

○さ部

○さりわけしあまの大将物語 風色葉集  
 ○さだめなき世物語 風色葉集  
 ○さまかる物語 同  
 ○左右袖ぬらす物語 明月記  
 袖ぬらす物語と同物なるべしといふ  
 ○さこのしるべ物語 風葉集

○し部

○正三位物語 源氏物語  
 ○しらゝ物語 更科日記、八雲御抄、十訓抄、古今著聞集  
 ○しらく物語 色葉集  
 ○しぐれ物語 風葉集  
 ○しみづにぬるゝ物語 同  
 ○したうづかさ物語 色葉集  
 ○しちのまろね物語 同  
 ○四季物語 風葉集  
 ○しづくににぐる物語 同  
 ○しづのをだまさ物語 同  
 ○しのぶ物語 同  
 ○しのぶくさ物語 同  
 ○しのぶもぢずり物語 同  
 ○朱の盤 花鳥餘情  
 ○白猿物語 長頭九隨筆  
 ○下萌草紙 古書目録

○末葉露物語 玉海、拾遺百番、色葉集、明月記、無名草紙  
 ○すさぎみ物語 色葉集  
 ○すゝりわり物語 同  
 ○すゝりわり物語 八雲御抄にこの物語は今昔物語中のもと同じ物なるべしとあり  
 ○すゐえむ物語 色葉集  
 ○すゝめの物語 風葉集  
 ○すまひ物語 同  
 ○せり川物語 源氏物語  
 ○せりつみし物語 色葉集  
 ○せれう物語 風葉集  
 ○袖ぬらす物語 狭衣物語、拾遺百番、色葉集、風葉集  
 ○道心すゝむる物語 風葉集  
 ○たまのを物語 狭衣物語

○たてじとみ物語 色葉集  
 ○たよのみねのかす物語 同  
 ○たまがしは物語 風色葉集  
 ○たまも物語 無名草紙、八雲御抄  
 ○たまもにあそぶ物語 風葉集  
 ○たまくら物語 同  
 ○たゆみなき物語 同  
 ○ち 部  
 ○ちごまつ物語 色葉集  
 ○ちくまの川物語 風葉集  
 ○ちびにくだくる物語 同  
 ○つ 部  
 ○月待女物語 枕草紙、紀伊草紙、拾遺百番、歌合、色葉集、風葉集、無名草紙  
 ○露のやどり物語 色葉集  
 ○ついなし物語 同  
 ○月になぐさむ物語 同  
 ○つゝらこ物語 風葉集

○つまこひかぬる物語 風葉集  
 ○露わけわぶる物語 同  
 ○つるのしるべ物語 同  
 ○つかのしるべ物語 古物語目録  
 ○と 部  
 ○殿うつり物語 枕草紙  
 ○とをさみ物語 更科日記  
 ○とうの中將物語 色葉集  
 ○ともつみつけ物語 同  
 ○とばりあげ物語 風色葉集  
 ○とこ中物語 風葉集  
 ○としあらそひ物語 同  
 ○鳥の音うらむる物語 同  
 ○な 部  
 ○長井の侍従物語 勸女往生義  
 ○なかじま物語 色葉集  
 ○なきなの姫君物語 同

○なてして物語	風色	葉集
○なると物語	同	葉集
○なみちの姫君物語	無名草紙	
○長月の別れ物語	風	葉集
○流れて早きあす川物語	同	
○なげきたえせぬ物語	同	
○なみのしめゆふ物語	同	
○なれてくやしき物語	同	
○難波物語	本朝書籍目録	
○奈良の葉物語	古物語目録	
○新妻物語	古物語目録	
○ぬれぎぬ物語	月詣和歌集	
○ぬりごめ物語	風色	葉集
○ぬるへの中將物語	色	葉集
○の	部	
○のじま物語	風	葉集
○のちくゆる物語	同	
○は	部	
○はこやのとし物語	源氏物語	
○花櫻物語	赤染衛門集	
○はなふち物語	色	葉集
○濱松が枝物語	同	
○はまゆふ物語	風色	葉集
○初雪物語	無名草紙	
○はがため物語	風	葉集
○萩に宿かる物語	同	
○はこや物語	同	
○はしたか物語	同	
○初音物語	同	
○はな宰相物語	同	
○はなざかり物語	同	
○はなのしるべ物語	同	

○はすゑの露	古物語目録	
末葉露の誤なるべし		
○ひ	部	
○ひとめ物語	枕草紙	
○ひこかしづく物語	風色	葉集
○ひぢぬいしま物語	風	葉集
○人たがへ物語	同	
○人にかはれる物語	同	
○ひとりこと物語	同	
○一口物語	看聞御記	
○ひなぶり物語	古物語目録	
○ふ	部	
○伏見の翁物語	勸女往生義	
○ふせご物語	狭衣物	
○ふりや物語	色	葉集
○故郷物語	同	
○ふくら雀物語	風色	葉集
○吹こす風物語	風	葉集
○ふくろかけ物語	同	
○ふせや物語	同	
○二子の宮物語	同	
○ふたばの松物語	同	
○ふたよのとも物語	同	
○ふもと物語	同	
○ふるさと尋ぬる物語	同	
○ま	部	
○松が枝物語	風	葉集
○まとふ琴の音物語	風	葉集
○松殿物語	本朝書籍目録	
○み	部	
○みづからくゆる物語	狭衣物語、色葉集	
○みかはにさける物語	拾遺百番歌合、明月	
○みがさがはら物語	風	葉集
○みこがへ物語	同	



○みたらし川物語	風葉集
○水あさみ物語	同
○みつのしらなみ物語	同
○みなせ川物語	同
○みふね物語	同
○みやまかくれ物語	同
○みれどもあかぬ物語	同
○三國物語	本朝書籍目録
○むぐらのやど物語	風葉集
○めもあはぬ物語	風葉集
○もちつき物語	色葉集
○ものうらやみ物語	同
○もとのしづく物語	風葉集
○藻に住む蟲物語	同

○ものねたみ物語	風葉集
○山蔭中納言物語	八雲御抄
○やせがは物語	風葉集
○山よき物語	同
○やみのうつし物語	同
○ゆくへしらぬ物語	風色葉集
○ゆめがたり物語	無名草紙
○雪のうらち物語	風葉集
○夕霧物語	同
○夢路にまどふ物語	同
○夢のかよひぢ物語	同
○夢ゆゑ物思ふ物語	同
○ゆるさぬ中物語	同
○よしの山物語	色葉集

○よそのおもひ物語	風葉集
○よつあし物語	同
○蓬が原物語	同
○世をうち川物語	同
○わ	部
○若草物語	色葉集
○わたらぬ中物語	風色葉集
○わが身にたどる物語	風葉集
○われから物語	同
○われはづかしき物語	同
○わくらはの物語	古物語目録

○假名草紙

○伊曾保物語 三 慶長活字本  
鎌倉時代に出てし唐物語は翻譯なれど遊仙窟及白氏文集の中を譯せしものなれば、純粹の翻譯小説と云ひ難し、この物語は四歌のイソツアの翻譯にして、しかも近世小説の巻頭に出てたるは奇とすべく、我國翻譯小説の濫觴といふべし、此書いたく世にてもはやされ元和に至り再摺し、萬治二年には更に繪巻を加へて新版再刻せり、

○さのふはけふの物語 二 同  
豊臣時代の小話を集めたるものにして後世所謂話し本の濫觴なり、寛永に至り再刻せり

○信長 記 三 元和八年

○太閤 記 三 小瀬 甫庵 寛永二年  
この二書は後出の軍記實録の濫觴にして近世讀本の祖なり、此種のもの他に淨心が北條五代記、大阪物語等頗る多けれども、戯作といふにあらざればこゝにはよく

○屑藻物語 寫 一 同

○薄雪物語 二 同 九年  
寛文九年再摺、元禄に至り鱗形屋より中本一冊として再版享保

に再掲せり

○當世尤の草紙五

寛永十二年

此時代に古物語草紙を滑稽に引なほしたるもの多し仁勢物語大つれく等此種に屬す、この草紙は枕草紙に擬したるものにして此種のものうち先頭に出てしものなり

○七人比丘尼二

同十二年

一名 さんげ物語といふ此時代佛説もの、始めなり

○清水物語二

同十五年

○そゞろ物語一 三浦淨心

同十六年

○あだ物語一 平 爲春

同十七年

○可笑記五 如 龜子

同十九年

近世戯作の祖と稱せらるゝもの萬治二年に繪巻を加へ再刻せり  
つけていふ原板は大本再版は半紙本なり

○若道物語二

同二十年

一名 心友記

○寛永鼠物語一

同

○大佛物語一

同

○竹齋物語二 傳云光廣作

同年代不詳

○仁勢物語二 傳云光廣作

同年代未詳

貞享三年再版

○田夫物語一

同

○祇園物語二

同

○續清水物語二

同

○悔 草三

正保四年

この書南蔵藏書目に小説部に收められたと未だ見れば知らず

○不可徳物語二

慶安元年

○中將姫の本地一

同四年

○新辨慶物語二

同

貞享三年再版

○棠陰比事物語五

同

支那の棠陰比事の翻譯にして西鶴の櫻陰比事、無名氏の藤陰比事はこれにもとづけるなり

○犬つれく二

承應二年

○つるぎのまき三

同

○いつくしまの本地三

明暦二年

○阿彌陀はだか物語一

同

○恨のすけ二

明暦二年

原板年號不詳、寛文四年三版、書中慶長十四年に作りし證あり

○催情記一

同二年

○誰が身の上六 山岡元隣

同

○横笛瀧口の草紙一

萬治元年

御伽草子の横笛草子のなほし

○御伽物語五

同二年

○百物語二

同

原板は大本再版は繪入中本なり

○天くのたいり三

同

○松風村雨三

同

○辨才天の本地二

同三年

一名 おもかけ物語

○堪忍記八 淺井了意

同

○可笑記評判三 瓢 水子

同

○一本 菊二

同

○孝行物語六 淺井了意

同

○小 扨六 山岡元隣

同年代不詳

○東海道名所記六 淺井了意

同

こは竹齋物語にならひたる道中記にして小説とはいひ難けれど一九の藤原毛の粉本ともいふべき名作なればこゝに載す、この種のもの同作者に江戸名所記あり

○本朝女鑑三 淺井了意

寛文元年

○因果物語三 鈴木正三

同

この書片假名と平假名との二種あり平假名ものは偽書と稱せらる、同作者に續因果物語あれど寫本なり

○浮雲物語三

同

○水鳥記三 地黄坊榕次

同二年

再版は松會開板本なれども年代不詳、寶曆十四年に半紙形とし酒戦談と改題して三版を出せり

○爲愚痴物語八 曾我休自

同

○法華妙正物語一

同

○繪入ねごと草二

同

○吉原伊勢物語二

同

○揚貴妃物語一

同三年

○すみ染櫻二

同

- 戒殺物語一 寛文四年
- 二人比丘尼二 鈴木正三 同
- 須田彌兵衛妻出家繪詞によりて作りしもの、世に行はれしにや  
松會開板本を始め三版あれどいづれも年代詳ならず
- よだれかけ六 同 五年
- 慶安二年に五の巻まで稿なりしを承應元年若衆歌舞法度の事  
實を加へて寛文五年に印行す
- 花のえん物語二 器の子 同 六年
- 鳥邊山物語を女色に引直したるものなり
- 御伽婢子三 瓢水子松雲 同
- 剪燈新話中を贗案せしもの也、其怪談的物語いたく行はれて寶  
永享保に至るまで摸倣の作十餘種あり、文政九年正月補刻して  
半紙本とせり
- 寶満長者一 同
- 入給法妙童子三 同
- 原版本後鱗形屋より中本一冊物として再刻せり
- あくた物語三 同
- 釋迦八相物語十 同
- 支那の翻譯、三版あれども年代いづれとも不明なり

- 海上物語二 釋 惠中 寛文六年
- 青葉の笛一 同 七年
- 堀江物語三 同 七年
- 理屈物語六 經山子序 同
- 寶永八年再摺、享保二十年三摺
- 身のかゞみ三 同 八年
- 若衆物語一 同
- 一名 若衆短歌
- 勸學院物語一 同 九年
- 入判官都話五 同 十年
- をさな源氏五 野々口立甫 同
- 源氏物語の翻譯なり此種頗る多し
- しぐれの宴二 同
- 十二人姫一 同
- 入給錦木五 淺井了意 同年代不詳
- 會呂利狂歌話三 同 作 同
- 十帖源氏十 野々口立甫 同

- 讀ちとさばうこ十 同
- 新雨夜の友三 延寶四年
- 元隣作小倉の中をけつり改題再刻せるもの
- たきつけ上 一 同 五年
- もえくわ中 一 同
- けしずみ下 一 同
- この冊子毎冊外題を異にす即ち三本を合して一部なり
- あふぎながし三 同 七年
- 六日飛脚二 同
- この書を四題作といひ傳本ありと云ふ人あり果して然らば四題  
の初作なれども未だ見れば知らず
- もとのもくあみ二 同 八年
- 浪花 鉦六 酉水 庵 同
- 再刻には四題作と入木あり一名賭分店風
- 杉揚 枝六 里木 予 一 同
- 都風俗鑑四 同 九年
- 一名 都色欲大全
- 明石物語二 同

- 一名 女五經
- 浮世物語六 淺井了意 同年代未詳

○年代不詳部

○強盗鬼神二

ゑどり本

ゑどり本とは墨摺の挿絵に三色或は五色の色筆を以て彩とれるものにして明暦頃に行はれたり

○愛宕地蔵の物語三

同

○大和二十四孝三 浅井了意

後世二十四孝二十不孝其他何々二十四孝と稱するもの、監勝なり

○あめわか草紙二

一名 あめわかみこ戀物語といふ後一冊の中本に再刻鱗形屋よりいたり

○三井寺物語一 浅井了意

○めざまし物語五

○おぐり物語二

○新聚樂物語二

○秀郷物語二

○法華安心糺物語一

○武田物語一  
○御伽びくに五

●以下百餘種寛文、貞享及元禄の目錄によりて載す、足利時代の遺作もあれど概して過渡時代の作と思はるゝが故に茲に附記す

○切兼會我二

○ひやうし木一

○しづか二

○せはしな草五

○相摸川二

○千代の友鶴三

○朝顔の露二

○嵯峨紅葉四

○富士の人穴草紙二

○犬方丈記二

○よし氏一

○入相の鐘二

○花づくし一

○伊勢みやげ一

○あかし二

○にぎはひ草五

○いそざき二

○にほひ袋二

○あひしやう文一

○蘇鐵發心二

○自身房一

○なさけくらべ五

○老のすさひ一

○あひそめ川二

○茶たばこ一

○夢のちぎり二

○花葉言一

○蟲太平記二

○かくれ里二

○魚太平記二

○まんしゆの前二

○草木太平記二

○七夕草紙一

○おかしおとこ一

○六代草紙二

○戀のみなかみ一

○火桶草紙一

○東物語二

○扇草紙一

○しみづ物語二

○田村草紙二

○北野通夜物語二

○もみぢの前二

○三浦物語四

○すみだ川三

○鳥羽の戀塚物語二

○ゆめつげ草一

○寶鏡物語四

○夫婦宗論二

○自己物語三

○ひいな文章草紙二

○おんげん物語二

○美人くらべ二

○伊呂物語二

○雪おんな二

○一休品物語四

○酒茶論一

○放生物語三

○山城四季物語五

○戀の舟はし三

○住吉相生物語五

○花子ものぐるひ三

○堅田物語一

○蓬萊山二

○山來物語五

○小町歌あらそひ二

○嵐無常物語二

○りんさ講三

○田畑難題物語二

○かくれみの二

○名月物語二

○遊屋物語二

○重寶物語二

○ゑんま物語三

○狂言物語三

○うす雲戀物語二

○辨才天通夜物語一

○衆道物語二

○するすみ物語三

○うさ京物語二

○百萬物語二

○見ぬ京物語三

○釣さほ青道心五

○河海物語二

○今業平物語五

○建武物語二

○柏木右衛門櫻物語一

○薬師道夜物語一

○面影物語二

○上野物語二

○おやこ物語四

○結城物語二

○草木物語二

- 夢物語二
- 七草物語一
- なすの物語一
- 蕙心物語三
- 秋月物語二
- 子安物語二
- 道成寺物語三
- 保昌物語四
- 今長者物語一
- 上り竹齋二
- 竹齋療治物語二
- えんや物語二
- 三國物語七
- 櫻木物語一
- あさみち物語一
- 鶉飼寺物語一
- 南蠻寺物語一
- むらまつ物語一
- もろかど物語一
- 諸國百物語五
- 十二帖源氏三
- けんもつさうし一

### ○浮世草紙

- 好色一代男八 井原西鶴 天和二年
- 原版は大本にして天和二壬戌年陽月中旬大坂思案橋荒砥屋孫兵衛可心板再摺も大本大坂住大野木市兵衛板、給はいつれも時給師源三郎筆、江戸翻刻本は半紙本にして貞享四丁卯年九月中旬日本橋青物町大津屋四郎兵衛板給は和大給師葵川吉兵衛師宣筆
- やまと繪の根元二
- 日ふうぞく繪二
- この二書は一代男の繪を大きくし文章をついでて頭書したるものいつれも江戸版にして葵川師宣筆なり
- 風流戀慕水鏡五 山八 同
- 新御伽婢子六 同
- 小夜衣五 茅屋子 同 三年
- 元禄に至り再摺し卷末に葵川師宣と入木セリ
- 吉原の草紙一道 之同
- 下り竹齋三 同
- 花の名残五 貞享元年

- 好色二代男八 井原西鶴 貞享元年
- 一名 諸國大世
- 好色訓蒙圖彙三 吉田半兵衛 同 二年
- 文化頃に再板し半紙本とせり原版は小本

- 宗祇諸國物語五 同
- 貧人太平紀三 同
- 梳久一世物語二 同
- 諸國はなし三 井原西鶴 同
- 一名 大下馬
- 近代艶隠者五 同 三年
- 本朝二十不孝五 井原西鶴 同
- 一名 新因果物語
- 古今百物語評判五 同
- 寶曆五年に再摺あり
- 淺草拾遺物語四 同
- 給源氏明石物語一 同
- 好色三代男五 井原西鶴 同

- 好色一代女六 井原西鶴 貞享三年
- 好色五人女五 同 作同

- 好色諸國心中女五 同 作同
- 後貞女白無垢と改題
- 好色旅日記五 同 作同 四年
- 男色大鑑八 同 作同
- 改題本朝若風俗
- 武家義理物語六 同 作同
- 武道傳來記八 同 作同
- 男色花の染衣四 同 作同
- 松月堂不角鳥居彦兵衛
- 元禄五年再摺
- 好色破邪顯正三 白眼居士 同
- 好色訓蒙好色貝合二 吉田半兵衛 同
- 男色十寸鏡二 好善居士 同
- 懷硯五 同
- 吉原五十四君一 東國太 同 四年
- 師宣 宜齋

東國太郎とは俳人其角の匿名なり

○新 竹 齋五 貞享四年

○梅のかほり五 夢遊軒序 同

○好色しなの梅四 同年代不詳

○好色四季はなし四 同

元禄十一年好色勘忍記と改題、正徳三年花鳥風月と改題

○好色三島曆三 同

元禄に至り好色年八卦四本、又頼城文反古と改題

○色里三所世帯三 井原 西鶴 元禄元年

○日本永代藏六 同 作同

○新可笑記五 同 作同

○好色盛衰記五 同

後四編榮花話と改題

○好色注能寄三 同

○好色通變占三 同

○好色文傳授五 由之軒政房 同

一名 風流文評元禄十二年再摺

○衣更着物語二 元禄元年

足利時代の四十二の物事を翻刻改題せるもの元禄六年再刻

○本朝櫻陰比事五 井原 西鶴 同 二年

○塵塚物語六 同

○好色床講義六 同

これは文字屋談義もの、祖といふべき歟

○好色法のともしな五 同 二年

○新吉原常々草二 同 二年

○死靈解脫物語二 同 三年

正徳二年再摺

○北條時頼記十 岡本一抱子 同 四年

○善光寺如來縁起五 同 五年

○好色錦木五 同

○世間胸算用五 井原 西鶴 同

○狗張子七 浅井了意 同

○話國新百物語五 俳 林子 同

○化野物語二 同

○當流男色子鑑五 九思軒鱗長 元禄元年

延享三年和國小性氣貫と改題新板とす

○西鶴置土産五 同

○浮世榮花一代男四 同

この書四編作とあれど偽書なり

○拾二月物語二 同

○好色傳授三 同

○好色萬金丹五 同 七年

○風流鎌倉土産五 木 目 長 同

○西鶴織留六 西鶴 遺稿 同

前二冊町人鑑後四冊世の人心

○好色慰草五 同 七年

一名 好色手打笑、又好色名物揃ともいふ

○好色罌粟鹿子五 水月庵序 同

この書全く會話體なり、洒落本の祖ともいふべし

○香のかほり三 九 思 軒 同 八年

○俗つれく五 井原 西鶴 同

○好色わすれ花五 如 醉 元禄九年

○好色小柴垣五 醉 狂 庵 同

○好色さんげ咄五 同

○萬の文反古五 井原 西鶴 同

四編作にあらず偽書なりといふ人あり、正徳二年再摺

○玉 箒 木 六 林 義 瑞 同

寶永三年再摺

○諸國武士鑑五 難波 一雪 同

○好色酒呑童子五 同 十年

改題好色榮花女

○賢女明野の夢二 沈 水 同

○西鶴冥途物語五 泡 影 同

○好色大福帳七 唯 樂 軒 同

○好色堪忍記四 同 十一年

貞享版好色四季咄の改題再刻

○好色飛鳥川五 同

○ぞくむらさき五 石川 流宣 同

○新色五卷書五 西澤 よし 元祿十二年

○小夜嵐物語十 同

四巻作とあれど偽書なり

○籠 耳五 同

○好色井戸車五 同十二年

改題新編かゞみ

○色道小鑑五 同

延寶の箕山作色道大鑑に擬したるもの、大鑑は寫本にして、戯作にあらざればこの年表に載せず

○西鶴名残の友五 團水序同

○流御前義經記八 西澤 よし 同十三年

寶永に至り再招せり

○稻荷大明神利現記三 同

○好色河念佛五 同十四年

○好色百物語五 櫻花軒同

○傾城色三味線五 自入文字笑同

入文字盛本の祖たると共に所謂三味線もの、濫編なり此以前入

文字屋は役者評判記、淨るり本み梓行せしのみなり

○御前伽婢子六 都の錦 元祿七年

○遊里橋太鼓六 同十五年

○五ヶ濃津餘情男五 都の花風同

○清少納言犬枕三 同

○入都女品定三 如水軒同

○好色智恵袋五 同

○風流大和莊子五 都の錦 同十五年

○元祿太平記八 梅蘭堂同

都の錦匿名の作なり

○東海道敵討元祿會我物語六 都の錦同

○風流好色十二段六 同

○似我蜂物語六 同

○好色大振袖五 好色軒圓水 同十六年

○士農工商男色木目漬五 圓齋同

○傾城仕送大臣六 同

○風流今平家六 西澤 よし 元祿六年

一名町人身の子鑑

○好色敗毒散五 同

○風流源氏物語六 都の錦同

○風流夢の浮橋六 雨滴庵松林同

○立身大福帳五 唯樂軒同

好色大福帳の改題か

○傾城百人一首 同

○太閤記三 同

出版後直に絶板を命ぜらる鱗形屋出版

○拾遺御伽婢子七 柳絲堂 寶永元年

○風流連三味線五 風音堂同

○誰袖の海六 由之軒政房同

○好色夕顔利生草五 同

○島原合戦記三 同

後絶板を命ぜらる

○心中大鑑五 書方軒同

○棠大門屋敷五 錦文流 寶永二年

○傾城武道櫻五 西澤 よし 同

○風流今兼好五 錦文流同

○寶永千歳記五 田村榮秀同

○御前獨狂言六 西 齋同

○好色眞實伊勢物語三 同

○新色三ツ巴六 同

○長者機嫌袋六 福富言粹同

○世の是沙汰五 西 樂同 三年

寛政九年再招

○熊谷女編笠同 錦文流同

○京縫鎖帷子四 森本東馬同

○御伽百物語六 白梅園鷺水同

○宇津山小蝶物語七 森田吟夕同

○うちかぶと五 舟 月同

○新武道傳來記五 團水同

○本朝濱千鳥六 永井正流同 四年

- 晝夜用心記六 團 水 寶永四年
- 達髮五人男五 西澤よし同
- 千尋日本袋六 團 粹同
- 和漢善悪男色比翼鳥六 奥村政信書同
- 近代因果物語六 歎 水同
- 紅白源氏物語六 政 信書同
- 大釜山上色道懺悔男六 猿 算同
- 風流吳竹男五 同 五年
- 關東名殘袂五 政 同
- 本諸士百家記十 錦 文 流 同
- 野傾友三味線五 西澤よし同
- 風流三國誌五 同 作同
- 茶傾ひそり顔四 同 作同
- 好色手柄咄五 錦 文 流 同
- 美景蒔繪松五 同 同
- 傾城伽羅三味線五 西澤朝義同
- 本朝新堪忍記七 歎 水同

- 大和怪異記七 寶永五年
- 草木軍談賤爪木七 同
- 今様二十四孝六月 尋 堂同 六年
- 當世誰が身の上六 斧 丸同
- 御前二代會我六 西澤よし同
- 日本桃陰比事七 同
- 傾城玉子酒五 八文字自笑同
- 兄弟善悪車六月 尋 堂同
- 風流曲三味線六 八文字自笑同 七年
- 寛濶平家物語六 八文字自笑 寶永七年
- 野白内證鑑五 同 作同
- 傾城傳授紙子五 同 作同
- 御入部伽羅女六 歎 水序同

この書以前より行はれしを再版する由序文に見ゆれども原稿は未だ見ず

八文字原本この書より自笑作と署名す

一名、永代男好色一代男の跡をつきしものなり

○魂膽色遊懐男五 自 笑 同年代不詳

元禄寶永の間繪巻のみ眞面目なるものを挿入せし房事に關する草子多く出たり、この懐男もその一種なりこれ等は此年表に載せされどこの懐男の豆右衛門の趣向大に行はれ黄表紙繪種本にこの作を模したるもの多く出てしを以て特にこゝに加へ

- 衆道戀慕櫻三 西澤よし同
- 野傾百物語五 同 作同
- 男傾城文枕五 同 作同
- 游女懐中洗濯五 同
- 傾城禁短氣六 八文字 自 笑 正徳元年
- 好色入子枕五 同
- 一夜 船五 團 水同 二年
- 享保に至り怪談諸國物語と交題再刻
- 頼朝三代鎌倉記五 八文字 自 笑 同
- 文武君が代さしれ石六 石 別 子 同
- 新武道三國志十 同
- 當世智恵鑑五 文 會 堂 同

○通俗列十二朝軍談十四 李下 散人 正徳三年

- 傾城盃軍談五 自 近 松序 笑 同
- 日本新永代藏六 團 水 同
- 本朝智恵鑑五 八文字 團 水 同
- 百姓盛衰記四 自 八文字 笑 同
- 鎌倉武家鑑六 同 同
- 怪談乗合船六 落月庵操扨 同
- 花島 風 月 四 同
- 竹齋狂歌物語三 同
- 當世信玄記五 落月 堂 同
- 今川一睡記五 自 八文字 笑 同
- 本朝廿四貞四 同
- 西海太平記五 自 八文字 笑 同
- 近代長者鑑五 西 吟 同 四年
- 拾風枝の卷二 同



- 繪 國家諸士鑑二 雲雨散人 正徳四年
- 都ひながた三 同
- 敷疊百八十疊三 同
- 世間息子氣質五 其 積同 五年
- 所謂氣質もの、濫觴なり
- 新 小夜嵐三 八文字 同
- 風流誰平家五 自 笑同
- 義經風流鑑五 同 作同
- 丹波太郎物語三 其 積同
- 後禁氣野傾旅葛籠五 同 作同
- 綴 小夜嵐六 同年代不詳
- 契情あやめ草五 享保元年
- 今源氏空船五 西澤 一風同
- 西鶴傳授車五 天狗堂轉蓬 同
- 會我鎌倉飛脚五 風 子同
- 分里艶行脚五 自 笑同
- 當世名代男五 其 積同

- 世間娘氣質五 其 積 享保元年
- 義貞勳功記五 馬場 信意 同
- 市 正徳追善會我五 同
- 入楠一代記五 落月庵操扨 同
- 庭訓染匂車五 松代 柳枝 同
- 國姓爺御前軍談五 近所門左衛門作 同
- 傾城野群談五 自 笑同 二年
- 野傾咲分色仔五 同 作同
- 野傾髮透油五 同 作同
- 國姓爺民朝太平記六 其 積同
- 忠義太平記大全三 吉川盛信書 同
- 今和藤内唐土船三 閑 樂 子同
- 怪醜夜光珠五 音 久同
- 女敵討高麗茶碗三 同 長同 三年
- 猿源氏色芝居六 鱗 同
- 諸士興廢記八 同 作同

- 玉椿輪廻薰物五 江八島屋其 享保三年
- 亂厘三本鑑六 西澤 一風同
- 傾城窺昭君五 自 笑同
- 後室色縮緬五 西澤 一風同
- 一名 百人後家
- 繪 鎌倉比事五 月 尋 堂同
- 近代怪 婦傳五 斜橋 道人同
- 義經倭軍談六 其 積同 四年
- 艶 道通鑑五 増穂 殘口同
- 殘口作七部書の内他の六部は戯作にあられば事す
- 花實義經記六 其 積同 五年
- 楠三代壯士五 其 積同
- 風流宇治頼政五 同 作同
- 役者色仕組五 同 作同
- 日本契情始五 同 作同 六年
- 通俗兩國談六 同

- 繪入しぐれ物語五 享保六年
- 俗解源氏物語六 梅 翁同
- 紫文盃の囀五 同 翁同
- 雛鶴源氏六 梅 翁同
- 以上三書は源氏物語を俗譯せしものなり
- 商人家職訓五 其 積同 七年
- 手代袖算盤五 自 笑同
- 櫻會我女時宗五 其 積同 八年
- 風流七小町五 同 作同
- 晴明白狐玉五 同 作同 十一年
- 出世握虎昔物語五 同 作同
- 名古屋吾妻日記五 舞 閣同
- 怪談諸國物語五 同 閣同
- 圓水作の一夜船を改題再刻せるもの
- 女將門七人化粧五 其 積同 十二年
- 大内裏大友真鳥五 同 作同
- 竹齋行脚袋五 同 作同

○本朝會稽山五其自 碩笑 享保三年  
 ○北條 咲分二女櫻五 同 作 同  
 ○面影 傾城盛衰記六 松 風 堂 同  
 ○曾安 記録會我女黒船五 其自 碩笑 同  
 ○背 紐二 同  
これは何曾遊といひ、なぞの本なり此種の始め歟  
 ○熊坂今物語五 西澤一風 同十四年  
 ○風流扇子軍同 其自 碩笑 同  
 ○蛙の物真似四 克齋主人 同  
 ○契情御國歌舞妓五 其自 碩笑 同十五年  
 ○善惡身持扇三 同 作 同  
 ○世間手代氣質五 其自 碩笑 同  
 ○風流東大至五 其自 碩笑 同十六年  
 ○奥州軍記五 同 作 同  
 ○武家功者物語五 同 來 同  
 ○續一休咄四 也 碩笑 同十七年  
 ○磯太平記五 其自 碩笑 同十七年

○傾城歌三味線五 其自 碩笑 享保七年  
 ○楠軍法鎧櫻五 同 作 同  
 ○風流詭軍談五 祐 佐 同  
 ○太平百物語五 同 作 同  
 ○那智御山手管瀧五 其自 碩笑 同十八年  
 ○高砂大島臺五 自 笑 同  
 ○鬼一法眼虎の卷七 其 碩 同  
 ○商人軍配團五 其 碩 同  
文化頃商人軍配記と改題再掲せり  
 ○傾城友三味線五 其自 碩笑 同  
 ○大蛇解脫物語一 同 碩 同  
 ○風俗遊仙窟四 克齋主人 同  
 ○三浦大助節分壽五 其自 碩笑 同十九年  
 ○野澤名物燒蛤五 同 碩 同  
 ○平かな御伽厚化粧五 筆 天 齋 同  
 ○都鳥妻戀笛五 其自 碩笑 同  
 ○梅若丸一代記五 同 作 同

天明八年再掲

○略平家都遷六 其 碩 享保廿年  
 ○咲分五人媳五 同 作 同  
 ○愛護初冠女筆始五 其自 碩笑 同  
 ○風流西海硯五 同 作 同  
 ○風流連理戀五 同 作 同  
 ○英雄軍談五 伏齋櫻山 同  
 ○渡世身持談義五 其 碩 元文元年  
 ○商人世帯形氣六 同 作 同  
 ○諸譯名女たば粉五 華 亭 同  
 ○武道近江八景五 其 碩 同  
 ○浮世親仁氣質五 其自 碩笑 同  
 ○兼好一代記五 同 作 同 二年  
 ○風流東海硯五 其 碩 同  
 ○渡世傳授車五 都 塵 舍 同  
 ○其碩置土産五 其 跡 序 同 三年  
 ○寬濶大盡氣質五 一 洞 同

○善惡兩面常盤染五 其自 碩笑 元文三年  
 ○御伽名代紙衣六 其 碩 同  
 ○武遊双級巴五 自 笑 同 四年  
 ○花標巖柳島五 同 作 同  
 ○丹波除作無間鐘五 同 作 同  
 ○忠盛祇園櫻五 其自 碩笑 同 五年  
 ○龍都伎系圖五 同 作 同  
 ○怪談御伽空穗猿五 同 碩 同  
 ○逆澤瀉鎧鑑五 其自 碩笑 寬保元年  
 ○善光倭丹前五 同 作 同  
 ○宇治川 魁對盃五 同 作 同  
 ○磯戸海 刈萱二面鑑五 同 作 同 二年  
 ○夫乞獅子 東なまり 風流返魂香五 同 作 同  
 ○名玉女舞鶴五 其自 笑 同  
 ○薄雪三日羽瀧五 同 作 同 三年  
 ○敵討笈華蔓五 偏齋堂東虹 同  
 ○鎌倉諸藝袖日記五 其自 笑 同

○女非人綴錦五其白 笑笑 寛保三年

右二書は多田南嶺の作なりといふ

○入雷神不動櫻五 同 作 同

○面影莊子四 同 作 同

○弓張月曙櫻五其白 笑笑 延享元年

○傾城太平記五 同 作 同

○傾城情の手枕五 同 作 同

野傾城葛籠(其原作)を改題再刻せるもの

○大系圖蝦夷嘶五其白 笑笑 同

○其跡諸國物語五 同 笑笑 同

○阿漕浦三巴五其白 笑笑 同 二年

○賢女心化粧五 同 笑笑 同

○今昔出世扇五其白 笑笑 同 三年

○和國小性氣質六鱗 長 同 三年

元祿の男色子窓の改題再刻

○勸進能舞臺櫻五其白 笑笑 同

○御伽夜話四 安勝子 同

一名盛合戰物語

○會根崎情鶴五其白 笑笑 延享元年

○自笑樂日記五 同 作 同 四年

○勞四 狂一自墮落先生 同

寓意的小話を集めたるもの滑稽本中寓意ものゝ祖なり

○彩色哥相撲五其白 笑笑 同

○盛かへ側柏葉五 同 作 寛延元年

○昔女化粧櫻五 同 作 同

○小野篁璣釣船五 同 作 同

○義貞艶軍記五 同 作 同

○花楓劍本地五 同 作 同

○頼信戀軍記五 同 作 同

○優源平歌麩五 同 作 寶曆元年

○道成寺岐柳五 同 作 同

○百合稚錦邊五 同 作 同 二年

○夕霧有馬松五其白 笑笑 同

○世間母親容氣五南圭梅嶺 寶曆二年

○歲德五葉松五其瑞 笑笑 同 三年

○壇浦女見臺五 同 作 同 四年

呼世親仁世間長者容氣五

○風流川中島五 同 作 同

○赤染衛門綾笠五一瓢 軒 同

○世間旗本形氣五升 瓢 同

○諸國諺種初庚申五硯田舎記逸 同

○風流粲花形五 同

○菜花金夢合五其白 笑笑 同 五年

○御伽太平記五其瑞 笑笑 同 六年

○地獄樂日記五 同 笑笑 同

○中將姫管糸遊五其瑞 笑笑 同 七年

○花色紙襲詞五 同 作 同 七年

○謠曲百萬車五十歩齋一口 同

○八棟大島臺六三先道春 同

○契情蓬萊山五自季 笑笑 同 八年

○陽炎日高川五季玉改自 寶曆八年

○今昔九重櫻五自季 笑笑 同 十年

○當世行次第五自凌 笑笑 同

此年八文字屋断絶せしが、三升屋彦太郎八文字屋の蔵版一切を

○珍説花の名殘五玉江山人 同

○哥行脚懷硯四自白 笑笑 同 十一年

○柿本人麿誕生記五自 笑笑 同 十二年

○呼千里新話五 同

○風流菊水卷五其樂 齋 同 十三年

○風流庭訓往來五自 笑笑 同

○今昔諸國はなし五 同 明和元年

○禁短氣二編五 同 同 二年

○諸藝世間聞耳猿五和譯太郎 同 三年

○世間妾形氣四 同 作 同

○契情文反古四 同

○世間學者氣質五無跡散人 同 五年

- 當世法談出家氣質五 自 笑 明和六年
- 世間化物氣質五 增 半 谷 大 梁 同 七年
- 新近代百物語五 同
- 風流茶人氣質五 永井堂飛友 同
- 孝行娘袖日記五 同 作 同
- 倭織錦船幕五 同
- 世間侍婢氣質五 蛙 文 臺 同 八年
- 當世傾城氣質五 增 谷 大 梁 同
- 傾城戰國策五 太 樂 子 同
- 風流酒吹噓五 永井堂龜友 同
- 赤鳥帽子都氣質五 同 作 安永元年
- 福徳過報噺九 同 作 同
- 媚魔大王日記蝶五 其 鳳 同
- 敵討會稽錦五 同 作 同
- 女武者修行五 萩 坊 奥 路 同
- 遺放三番續五 自 笑 同

- 武道真砂記五 文 會 堂 安永元年
- 世間用心記五 同 作 同 二年
- 世間姑氣質五 永井堂龜友 同
- 三千世界色修行五 同
- 榮花世繼男五 同
- 小兒養育氣質四 永井堂龜友 同
- 小兒養育氣質五 同 作 同
- 本朝墓物語五 黑 鶴 散 人 同 三年
- 町家世間旦那氣質五 永井堂龜友 同
- 笑談醫者氣質五 同 作 同
- 當世銀持氣質五 同 作 同
- 珍術器粟散圍五 其 風 同 四年
- 世間仲人氣質五 永井堂龜友 同 五年
- 浮世一分五厘五 自 笑 同
- 當世芝居氣質四 金 井 半 陵 同 六年
- 立身銀野蔓卷五 永井堂龜友 同

右二書再版本なり、原書の年號詳ならざるが故にこゝに載す

- 月華通鑑五 其 鳳 安永七年
- 實話東雲鳥五 同 八年
- 當世宗匠氣質五 其 鳳 天明元年
- 太平記秘説五 同 作 同 二年
- 當世諸藝獨自慢五 福 岡 軒 同 三年
- 諸國武道容氣四 寛政八年
- 戀の中宿四 一 慰 軒
- 諸國色里案内三 一 夢 序
- 好色伊勢物語四
- 好色年男四
- 好色後家話五
- 好色産毛五 雲 風 子
- 好色夢之助二

- 好色仕合揃五
- 姥 揃 五
- 八助飛鳥川二
- 好色扶桑鹿子五
- 好色十二人男六
- 好色今美人五
- 新伊勢物語ひら百葉二 紀 暫 什
- 好色連理松五 俳 隣 堂
- 機嫌なをし一
- ひとり笑一
- 好色ます鑑五
- 好色大鑑
- 色道大つゝみ五
- 好色日本名所鑑五
- 好色覺帳六
- 好色重寶記五
- 好色京紅四

- 好色八人藝三
- 好色六日飛脚
- 好色一本すゝき
- 好色甘露丸
- 好色日用食性五
- 好色邯鄲枕五
- 好色たからふね四
- 好色つねく草二

新吉原常々草と同じ物歟

師 宣書

- 好色首尾そろへ四
- 好色えんの品定二
- 好色道志るべ四
- 好色みだれ髪一
- 好色源氏色争二
- 今古若女郎衆一
- 好色祝言揃六
- 好色二河白道五
- 好色由來揃五
- 好色名代娘五
- 好色艶虚無僧五
- 好色花の落合一
- 好色伊勢暦
- 吉原一言艶談五

以上の好色本は貞享、元禄の頃に出たものなり、是等は多く作者及び版行年月を記さず、且當時改題再刻して新版と偽ること行はれ、一書にして四の題目を有するものあり而して改題毎に原書の年月を削除し冊数を變ずるが故にさなきだに傳本

稀なる今、誤記定めて多かるべし、識者の是正を俟つ

- 武道一覽八團水
- 正月揃五白眼居士
- 武道張合大鑑五同作
- 武道繼穂の梅五石川流宣
- 寛濶會我西澤よし
- 子孫大黒柱六月尋堂
- 玉櫛笥七文會堂
- 近代御伽百物語同作
- 武家堪忍記八同作
- 丹前艶男鷲水
- 芭蕉翁諸國物語六同作
- 風流吉日會我八同八文字作
- 當世御伽會我八八文字笑
- 愛敬昔色好三同作
- 當世會我高名松五同作
- 和遊女容氣五同作

- 赤松圓心綠陣幕五自笑
- 諸國武道容氣五同作
- 寛濶役者氣質二同作
- 眞盛曲輪錦五同作
- 風流畧雛形五同作
- 顔野情雛形五同作
- 染分女會我兄弟鑑五同作
- 富士淺間裾野櫻五同作
- 伊勢風流六同作
- 御伽平家同作
- 七代長者同作
- 長者右衛門の一代記同作
- 世帯樂同作
- 壽門松同作
- 野傾せんや同作
- 三津扇同作

享保二年版といふ説あれど原書には年月を記さず

○住吉高砂對の盃 自 笑

以上八部は自笑樂日記の序に自作として記せし六十部の内年  
月、冊数の判明せざるものなり

○互先恭盤忠信五 其 白 破 笑

○傾白ぬり團三 其 破

○諸分床軍談五 同 作

○忠義太平記六 同 作

一名 武道播磨石

○當世貞女容氣七

○世之助歸朝物語

○傾城風流杉盃五

○廻國一夜宿六

○夫婦氣質五

○世間義理櫻五

○本朝藤陰比事七

○一休諸國物語五

○金玉ねぢふくさ八

○潤色榮花娘五

○怪談御伽櫻五 雲 峰

○觀樂一時勝負三 貫 玉

○傾城手管三味線五

○風流友三味線五

○傾城二挺三味線

○傾城繼三味線

○傾城歌三味線

○色 競 馬

○好色一代會我

○雲州松江の鱧三

○賭女時色道胸の要六

○世の色道胸算盤五

○西 海 奇 談五

○最明寺諸國物語五

○天神利生記五

○歎討浮田物語五

○讀 本 附實錄

○寛延年間

○古今英草紙五 近路行者 寛延二年

○奇談 近世讀本の祖と稱せらるゝものなり

○虛實雜談集五 恕 翁 同

○怪談登志男五 靜 觀 坊 同 三年

○寶曆年間

○萬世百物語五 鳥 有 庵 寶曆元年

○故實世語五 同 二年

○著聞雜々集五 醉 雅 子 同

○新板 桃太郎物語五 布袋室主人 同 三年

○和 非人敵討實錄五 多田一芳 同 四年

○西播怪談實記五 岡 靖 軒 同

○古今 奇談 茅屋夜話五 隱 几 子 同 五年

○化物判取帳五 敬 阿 同

○榮下雜談五 陳 珍 齋 同

○新撰百物語五

○眞實偽虛實五

○此而話別世界五

○名槌古今說五

○名玉天地說五

○俊徳丸一代記五

○愛護若一代記五

○繪 補軍物語十

○鐘由來 狹夜中山敵討五

○通俗唐太宗軍談

○俄仙人戲言日記五 秀 信 書

○大和 風流俳人氣貫五 永井堂龜友

○四人比丘尼

一名 花の情

- 諸國怪談帳五 寶曆七年
- 齋諧俗談五大冊東華同八年
- 豐年珍話談五靜觀坊同十年
- 通隋煬帝外史十同
- 辨惑實物語四北尾雪坑齋同十二年
- 明和年間
- 懺懸話錄三麟戲屈主人明和元年
- 怪談實錄五紀常因同二年
- 古實今物語五清涼井同
- 後英京紙繁々夜話五近路行者同三年
- 當世操車五蘇來同
- 新說百物語五高古堂主人同四年
- 西山物語三建部綾足同五年
- 湘中八雄傳五北川益信遊同
- 兩空譚五雷梭同六年

中古文體を以て綴りしものにして此種のもの、濫觴なり

文政七月再摺

- 新板近代百物語五鳥飼醉雅明和七年
- 操草紙五淡海子同八年
- 安永年間
- 怪談記野狐五谷川琴生系安永元年
- 古今怪談御伽童五同
- 本朝水滸傳十建部綾足同二年
- 怪談名香富貴玉五翠紫同
- 中世二奇傳二同
- 太平國恩俚譚五加藤在止同三年
- 今古雨月物語五上田秋成同五年
- 奇事烟花清談五葦原守中安永五年
- 日本水滸傳十仇鼎散人同六年
- 狩野友正給合六不杉五青江友耕同七年

一名 芳野物語といひ、江戸に於いては讀本の濫觴といはる、後に流行せし水滸傳もの、始めなり

享和元年再摺

- 坂東忠義傳十三木成久安永七年
- 奇翁草五椿園主人同
- 奇談清誠談四大江文坡同
- 雪窓夜話四金蛇觀主同八年
- 實話東雲鳥五麗白主人同
- 女教不取敢夫人話四不醉同
- 怪談見聞實記五如環子同九年
- 古朽木五喜三町番同
- 天明年間
- 敵討連理橋一容楊黛天明元年
- 勤化彌田川鏡池傳五西白庵春張同
- 今古唐錦四伊丹椿園同
- 怪異談叢五同作同
- 臥遊奇談五一夕散人同二年
- 奇傳新話六蟬蛸子同
- 忠孝人龍傳五秋里湘夕同
- 今古深山草五椿園主人同

- 孝子善之丞感得錄二天明二年
- 女水滸傳四伊丹椿園同三年
- 近古唐土の吉野五同
- 奇談閑栖劇話五東隨舍同
- 近聞善惡業報因緣集五一蕨軒露宿同六年
- 昭代著聞集四寧儉堂主人同七年
- 丸面壬生謝天傳五江文坡同八年
- 諸國怪談實記五同
- 英京紙秀句冊五同年代未詳
- 寛政年間
- 通俗大聖傳五山東京極寛政元年
- 泉信田白狐傳五釋誓譽同二年
- 怪前席夜話五文榮堂同
- 通俗醒世恒言五宿屋主人譯同
- 坂田金平太平記八同三年

再版の時孔子一代記と改題す、京極讀本の初作なり、この書讀本とはいへど外形のみにして内容は孔子の一代記を堅くろしく譯せしなれば小説とはいひ難きものなり

- 怪談旅 硯五 紅葉園主人 寛政三年
- 通俗白狐通四 同
- 菟道園五 桑楊庵光 同 四年
- 風俗遊仙窟四 淺井由易 同
- 拍掌こがらし双紙五 阿 同
- 近世靈魂得脱物語二 傳 同
- 新板 星兜鎌倉山六 同
- 古今 紫草紙五 白塵洞主人 同 五年
- 古今 垣根草五 草官散人 同
- 四方義草五 其窓子 同 五年
- いろは水滸傳一 振 驚 享 同
- 菫 董五 源 温 故 同 七年
- 覺世 洛の藻屑四 一彫道人 同
- 高尾千字文五 曲亭馬琴 同
- 寒温 一二草五 振 驚 享 同
- 通者茶話太郎五 鐵 格子 同 八年

- 怪談旅の曙四 波天奈志小浮彌 寛政八年
- 袈裟物語五 同 九年
- 返遊物語五 天 步 子 同
- 繪本太閤記全四 石田尙友 同
- 諸國北遊記四 勢州山人 同
- 怪夜半鐘四 耳 學 齋 同
- 怪談願草紙五 源 温 故 同
- 怪談東雲草紙五 東山仙人 同
- 忠臣水滸傳十 山 東 勝 子 同 十年
- 島崎淺茅草三 安 勝 子 同
- 棧橋物語五 雲府館天步 同
- 月下清讀五 森 羅 子 同
- 越路の雪五 魚 麻 呂 同
- 漫遊記五 建部綾足 同
- 繪本大江山物語五 北 尾 重 政 齋 同 十一年

- 古今 警世通語五 鈴木敬道 寛政十二年
- 繪本 宇多源氏三 竹馬比頼 同
- 新編 秋雨物語四 流霞窓主人 同
- 繪本 武王軍談五 北 尾 重 政 齋 同 十二年
- 繪本 膽太郎夢物語五 楮齋主人 同
- 艶廊通 覽五 洞 羅 子 同
- 怪談 辨妄錄五 挑溪山人 同
- 百草 破 几 帳五 流霞窓主人 同
- 繪本 忠臣藏三 同

○享和年間

- 古今 旅行集話五 享和元年
- 怪談 藻鹽草五 速水春曉齋 同
- 繪本 東遊奇談五 同
- 繪本 漢楚軍談十 曲亭馬琴 同
- 保元平治闘争圖會十 秋里舜福 同
- 遠山奇談四 花誘散人 同

- 繪本 楠公記 山田得翁 享和元年
- 盤下 玉の枝五 森 羅 子 同 二年
- 小野小町一代記六 堀田里席 同
- 中古 双葉草五 東 九 校 同
- 繪本 伊賀越孝勇傳七 同
- 通俗 平妖傳三 西本維 芳 譯 同
- 深窓 奇談五 十返舎一九 同
- 繪本 龜山譚十 同
- 小説 比翼文二 北 尾 重 政 齋 同 三年
- 曲亭傳奇花劍兒二 同 作 同
- 後學 月水奇縁五 同 作 同
- 奇環 雙紙五 成三樓主人 同
- 怪物 輿論五 自 十 返 舎 一 九 同
- 復學 安積沼五 北 尾 重 政 齋 同



- 一名 小幡小平次死靈物語
- 古今 蚤捨草六 山家人廣住 享和三年
- 怪談 雨夜鐘六 十返舎一九 同
- 繪本 信長記三 同
- 繪本 山烈女傳五 川關樓惟光 同
- 繪本 箱根山靈應傳六 同
- 繪本 彦山靈驗記十 同
- 繪本 宮本武勇傳十 一名 二島英雄記 同
- 繪本 曾我物語十 同
- 文化年間
- 繪本 三國妖婦傳五 高井蘭山 文化元年
- 繪本 敵討待山話六 談州樓焉馬 同
- 優曇華物語七 山東京傳 同
- 繪本 奇實今物語五 喜多武治 同
- 繪本 國姓爺忠義傳三 石田玉山 同

- 古今 一閑人四 生々瑞馬 文化元年
- 東海道松の白浪十 春水亭元 同
- 繪本 合邦辻十 歌川豊國 同
- 櫻姫全傳曙草紙五 歌川豊國 同
- 復讐稚枝鳩五 山東京傳 同
- 四天王剽盜異録十 同 同
- 小夜中山石言遣響五 葛飾北齋 同
- 後世 繪本東嶽錦五 小枝繁 同
- 古今 聞書雨夜友五 東隨舎 同
- 古今 奇談 聞書雨夜友五 東隨舎 同
- 今古 奇談 五 煙波山人 同
- 競奇 遺聞五 梅翁 同
- 繪本 義勇傳十 速水春曉齋 同
- 繪本 雪鏡談三 同 同
- 梅花 氷裂三 山東京傳 同
- 復讐 天橋立五 十返舎一九 同

附書海記、天保年中完結

- 前編二册、後編二册、續編一册、文化五年完結す
- 昔語 稻妻表紙六 山東京傳 文化三年
- 椿説弓張月前編六 葛飾北齋 同
- 新編 三國一夜物語六 歌川豊國 同
- 新編 水滸書傳六 葛飾北齋 同
- 盆石皿山の記四 歌川豊國 同
- 敵討 誰也行燈二 歌川豊國 同
- 勸善 常世物語五 同 同
- 墨田川梅柳新書六 同 同
- 敵討 枕石夜話三 同 同
- 敵討 裏見葛葉五 同 同
- 泉親 衝物語五 福内鬼外 同
- 繪本 孝婦傳五 合川珉和 同

- 復讐 小説月華惟孝六 烟水散人 文化三年
- 親子 瑠璃の章三 手塚月丸 同
- 奇談 古志路の章三 谷本丸 同
- 春夏秋冬 四季物語卷の巻四 歌川豊國 同
- 繪本 沈香亭十 三宅匡 同
- 坂東 濡衣草紙五 葛飾北齋 同
- 奇聞 放家僧談四 葛飾北齋 同
- 復讐 義經磐石傳六 葛飾北齋 同
- 周遊 奇談五 昌東舎東風 同
- 西遊 全記四 口木山人 同
- 神口 繪本新田功臣録十 歌川豊國 同
- 石堂 丸刈萱物語五 山東京傳 同
- 報仇 自來也說話三 葛飾北齋 同
- 國字 鴉物語五 葛飾北齋 同
- 繪本 誠忠傳十 同 同
- 繪本 金花談五 速水春曉齋 同

○擊冠 勿來 關五	長和亭 喜武	文化四年
○善知鳥安方忠義傳 六	山東京 喜武	同
○椿説弓張月後編 六	山東京 喜武	同
○雲妙間雨夜月 五	山東京 喜武	同
○賴豪阿閩梨鼠傳 十	山東京 喜武	同
○括頭巾縮緬紙衣 三	山東京 喜武	同
○三七金傳南柯夢 六	山東京 喜武	同
○新累解脫物語 五	山東京 喜武	同
○標註園の雪 五	山東京 喜武	同
○松浦佐用媛石魂錄 十	山東京 喜武	同
初名唐蓮大和百葉といひしを出版の際改めしなり後編七巻は文化十一年梓行す		
○敵討紀念長船 二	山東京 喜武	同
○遊君操運理餅花	山東京 喜武	同
○松久柳巷話説 五	山東京 喜武	同
○阿波の鳴門 五	山東京 喜武	同
○奴の小萬物語 四	山東京 喜武	同

○江戸紫三人兄弟 八	山東京 喜武	文化四年
初編より四編に至る文化八年完結す天保十四年再版原本は中形本再版は半紙形本なり		
○怪談霜夜星 五	山東京 喜武	同
○怪談繪本浪花男 五	山東京 喜武	同
○夜話翁丸物語 二	山東京 喜武	同
○咄蟹猿奇談 五	山東京 喜武	同
○敵討孝列傳 三	山東京 喜武	同
○奇怪完義武逸談 三	山東京 喜武	同
○小説東都紫 六	山東京 喜武	同
○八百屋繪本胡蝶夢 五	山東京 喜武	同
○因縁柳かみ三	山東京 喜武	同
○倭琴高誌 五	山東京 喜武	同
○新編陽炎卷 五	山東京 喜武	同
○千代姫七変化物語 五	山東京 喜武	同
○崇徳寺繪本會稽松露 七	山東京 喜武	同
○復久智野石文 五	山東京 喜武	同

○淺草靈驗記 六	山東京 喜武	文化四年
○敵討朝妻舟 三	山東京 喜武	同
○繪本安達原 六	山東京 喜武	同
○驛路春鈴菜物語 二	山東京 喜武	同
○高水龍孫曼玉 二	山東京 喜武	同
○小栗列官熊野利生記 五	山東京 喜武	同
○主其羅雙仇討 五	山東京 喜武	同
○伯父高田雙仇討 五	山東京 喜武	同
○細妻表紙本初附菩提 十	山東京 喜武	同
○椿説弓張月續編 六	山東京 喜武	同
○俊寛島物語 十	山東京 喜武	同
○旬殿實々紀 六	山東京 喜武	同
○情史秋の七草 六	山東京 喜武	同
○巷談坡隄庵 三	山東京 喜武	同
○淺間嶽面影草紙 三	山東京 喜武	同
○小春異本椿生譚 五	山東京 喜武	同
○紙治信夫摺在原京紙 五	山東京 喜武	同
○近江縣物語 五	山東京 喜武	同

○天羽衣 二	山東京 喜武	文化五年
○石井物語 五	山東京 喜武	同
○繪本孝威傳 十	山東京 喜武	同
○春奇繪本壁落穂 十	山東京 喜武	同
○新編蜻蛉卷 五	山東京 喜武	同
○繪本甲賀三郎敵帽話 五	山東京 喜武	同
○孝子嫩物語 五	山東京 喜武	同
○假名後日の文章 五	山東京 喜武	同
○巨勢名枝傳 六	山東京 喜武	同
○入給双名傳 五	山東京 喜武	同
○赤繩佐野の雪 五	山東京 喜武	同
○山縣聚義雜法談 六	山東京 喜武	同
○古實獨搖新話 五	山東京 喜武	同
後若葉榮と改題		
○復車僧轍物語 五	山東京 喜武	同
○袖物語仙家花 二	山東京 喜武	同
○百合若野居鷹 五	山東京 喜武	同

○念佛壇 則定仁勇傳八 此君亭仙山 文化五年  
 ○高砂松 則定仁勇傳八 五 和亭鬼武  
 ○報文七 彩結緒二 葛飾北馬 同  
 ○三郎 眞檀の爛六 手塚 兎月 同  
 ○物草 太郎十 合川 眠和 同  
 ○小説 夢裡往事四 手塚 兎月 同  
 ○敵討 猫俣屋舖一 北 鷺 馬 同  
 ○復讐 東雲草紙二 勝川 春亭 同  
 ○宮戸川 三社由來七 同  
 ○風川 小櫻 姫六 山東京山 同  
 嘉永二年再版  
 ○復讐 七里ヶ濱三 一 淡庵市井 同  
 ○七細 七難圖會五 生々 瑞馬 同  
 ○珍談 鶯の談傳記五 山東京山 同  
 一名 鶯傳奇桃花流水  
 ○繪本 倭書草紙五 同  
 ○繪本 忠臣藏十 速水 春曉齋 同  
 ○浪華 俠夫傳六 栗杖 亭鬼卵 同

○被草 紙五 津川 俗 文化五年  
 ○麒麟五 東男 龍糸筋五 北 和亭鬼武 同  
 ○補津の 國女夫池二 同 同 同  
 ○婦人 籠の花三 魚 屈北 溪 同  
 ○金比羅 神靈記十 速水 春曉齋 同  
 龜山源の文題再刻  
 ○俊徳 庶謠曲演義五 北 鷺 馬 同  
 ○詳解 圖會清正記六 同 同 同  
 ○復仇 女實語教二 北 返合一 同  
 ○安禱 多羅寶物語二 北 鷺 馬 同  
 ○函嶺 復讐談二 威和 亭鬼武 同  
 ○宿直 物語六 式亭 三馬 同  
 ○美談 白鷺塚四 十返 舍一九 同  
 ○復讐 浪花梅三 同  
 ○繪本 倉新話六 中 兎 和 同  
 ○月宵 鄆物語十 辰 方 馬 同  
 ○椿説 弓張月拾遺五 葛 山 北 馬 同 六年

○夢想 兵衛切蠅物語五 山 川 豐 馬 同  
 ○外傳 青葉 笛五 北 高 井 同  
 ○愛護 神猿傳四 葛 飾 北 陳 同  
 ○復讐 尼城 錦五 葛 飾 北 吉 同  
 ○忠孝 潮來府志五 淡 州 樓 同  
 ○小説 牡丹全傳四 山 東 京 同  
 ○復讐 繪本 襪樓錦五 山 東 京 同  
 ○山椒 大夫榮枯物語五 梅 葛 里 同  
 ○松井 僊窟 史三 北 赤 川 同  
 一名 松井民次郎物語  
 ○復讐 田村物語五 川 上 魚 同  
 ○報怨 十嘉榮利花五 北 眞 々 同  
 ○珍話 戀夢 艦五 葛 飾 北 桃 同  
 ○幸助 鬼情談三 乘心 堂主人 同  
 ○詳説 繪本 熊谷一代記七 同  
 ○唐金 茂繪本 金花夕映五 北 梅 葛 里 同  
 ○右衛門 柳の糸六 歌 齋 陳 人 同  
 ○棟材 奇傳 同

○辨天 利生 建久女敵討三 北 興 風 同  
 ○梅川 忠兵衛 草紙の花六 北 歌 齋 同  
 ○赤銅 奇談 草紙 五 北 歌 齋 同  
 ○鏡子 三本 大遊舞 卯始五 辰 式 川 同  
 一は 讀本と合巻とを折衷したる新案讀本なり 後に馬琴の後日怪  
 談もこれに倣へり  
 ○星月 夜顯 晦録 辛 高 井 蘭 山 同  
 ○妖術 嬾助 劍三 北 柳 花 同  
 ○敵討 氷上 霜六 文 芦 秀 同  
 ○繪本 菅原 實記六 巨 一 勢 秀 同  
 ○犬傳 竹篋 太郎五 栗杖 亭鬼卵 同  
 ○大敵 竹篋 太郎五 栗杖 亭鬼卵 同  
 ○臘月 夜物語五 柳 俊 同  
 ○繪本 不知 火草紙三 石 應 香 同  
 ○夢想 兵衛切蠅 物語 編後四 辰 川 豐 同  
 ○昔語 質屋 庫五 春 同 同  
 ○椿説 弓張月 殘編六 葛 同 同  
 ○常夏 草紙五 同 同 同  
 ○武者 合竹 馬駒二 同 同 同

○敵同志石與木枕二曲亭馬琴 文化七年  
 ○阿古義物語三式亭三馬 同

十二冊の中後編拾遺五冊は文政中爲永春水の初作なり

○復讐 葦牙雙紙十 玉殿 格 子 同  
 ○繪本夜船譚五 速水春曉齋 同  
 ○歌 妹背山六 振 飾 北 齋 同  
 ○歌 白絲冊子五 葛 飾 北 齋 同  
 ○繪本長會我部物語六 玉 塚 見 茶 月 同  
 ○小峯 農 吹雪五 合 川 野 文 和 齋 同  
 ○赤 ぼし草紙三 秋里湘夕 同  
 ○繪本長柄長者黃鳥塚六 玉 塚 亭 鬼 卯 同  
 ○繪本願勇録十 速水春曉齋 同  
 ○繪本催馬樂奇談六 歌 齋 陳 人 同  
 ○雙 忠 孝 二 見 浦 六 楠 里 亭 其 泉 齋 同  
 ○占 夢 南 柯 後 肥 八 葛 飾 北 齋 同  
 ○青 砥 藤 綱 摸 稜 案 五 曲 亭 馬 琴 同  
 ○加 之 久 香 籠 草 六 梅 暮 里 谷 峨 同

○繪本 松 蟲 墳 六 桂 雨 山 人 齋 同  
 ○昔 夕 霧 傳 記 五 歌 手 川 登 秀 齋 同  
 ○繪本甲越軍記壺 狂 齋 同  
 ○勇 給 本 更 科 草 紙 壺 玉 塚 亭 鬼 卯 同  
 ○大 念 佛 寺 連 理 雙 袖 五 十 返 舍 一 齋 同  
 ○朝 顔 日 記 十 春 柳 瀨 政 齋 同  
 ○初 夢 富 士 見 會 我 三 春 柳 瀨 政 齋 同  
 ○青 砥 藤 綱 摸 稜 案 後 編 五 曲 亭 馬 琴 同  
 ○絲 櫻 春 蝶 奇 緣 十 同 作 同  
 ○淺 間 繼 面 影 執 着 譚 三 柳 川 重 信 齋 同  
 ○草 紙 後 編 執 着 譚 三 柳 川 重 信 齋 同  
 ○緜 手 摺 昔 木 偶 五 同 同 同  
 ○天 保 十 二 年 再 版  
 ○阿 也 可 之 譚 十 白 石 田 玉 齋 同  
 ○報 夢 在 原 草 紙 六 馬 和 亭 鬼 武 同  
 ○奇 談 金 五 郎 全 傳 五 玉 金 太 樓 主 齋 同  
 ○櫻 木 物 語 五 玉 東 山 齋 同

○太 萬 廼 佐 志 玖 之 五 野 田 平 魚 齋 同  
 ○製 音 天 綠 奇 遇 三 自 神 屋 蓬 齋 同  
 ○細 像 雙 三 絃 五 同 同 同  
 ○經 島 松 王 物 語 六 葛 飾 北 齋 同  
 ○繪本淨瑠璃姫物語六 狂 蝶 亭 文 齋 同  
 ○繪本一休譚六 速水春曉齋 同  
 ○繪本玉搔頭五 同 同 同  
 ○忠 臣 東 鑑 操 物 語 五 馬 金 圓 文 同  
 ○烈 女 今 昔 庚 申 譚 五 栗 山 亭 鬼 卯 同  
 ○半 兵 衛 今 昔 庚 申 譚 五 淺 山 亭 鬼 卯 同  
 ○雙 蝶 記 十 歌 川 登 國 齋 同  
 ○皿 々 郷 談 六 曲 亭 馬 琴 同  
 ○安 政 五 年 再 摺  
 ○美 濃 八 丈 綺 談 六 同 作 同  
 ○古 相 勢 田 橋 龍 女 本 地 三 北 柳 亭 齋 同  
 ○は 讀 本 と 淨 瑠 璃 を 折 衷 せ ん と せ し も の 新 式 淨 瑠 璃 讀 本 と し も い  
 ○矢 口 繪 話 忠 孝 貞 婦 傳 六 濱 松 歌 國 同  
 ○新 田 神 靈 忠 孝 貞 婦 傳 六 濱 松 歌 國 同

○登 狩 宇 治 奇 聞 六 五 島 清 齋 同  
 ○通 俗 巫 山 夢 五 十 返 舍 一 九 同  
 ○復 讐 初 瀨 物 語 六 北 栗 枝 亭 鬼 卯 同  
 ○伊 達 和 漢 の 染 分 五 五 島 清 齋 同  
 ○南 總 里 見 八 火 傳 初 輯 五 柳 川 重 信 齋 同  
 ○初 輯 上 九 輯 迄 百 六 冊 出 版 年 代 は 一 々 後 に 載 す  
 ○朝 夷 巡 島 記 初 輯 五 歌 川 登 國 齋 同  
 ○初 輯 上 九 輯 迄 百 六 冊 出 版 年 代 は 一 々 後 に 載 す  
 ○繪 本 草 紙 六 玉 泉 堂 齋 同  
 ○本 質 後 日 文 章 五 狂 蝶 亭 文 齋 同  
 ○力 大 後 日 文 章 五 馬 山 齋 同  
 ○奇 談 將 復 讐 手 引 糸 七 淺 山 亭 鬼 卯 同  
 ○門 外 記 復 讐 手 引 糸 七 淺 山 亭 鬼 卯 同  
 ○全 二 駿 河 舞 六 濱 松 歌 國 齋 同  
 ○全 二 駿 河 舞 六 濱 松 歌 國 齋 同  
 ○北 野 二 葉 の 梅 六 栗 山 亭 鬼 卯 同  
 ○繪 本 花 標 因 緣 車 五 萬 壽 亭 正 齋 同  
 ○新 話 花 標 因 緣 車 五 萬 壽 亭 正 齋 同  
 ○身 延 山 利 生 記 五 十 返 舍 一 九 同  
 ○河 内 木 綿 團 七 島 五 栗 枝 亭 鬼 卯 同  
 ○假 粧 水 中 貫 精 筧 六 濱 松 歌 國 齋 同

○日本廻國勸懲記五 濱松歌國 文化三年  
 ○草摺五月雨三 昇亭岐山 同  
 ○奇談松風村雨物語十 英文東國直書 同  
 ○發心記橋供養五 小枝峰山 同  
 ○景清外傳壹 同  
 ○南越里見八犬傳三輯五 柳川重馬信書 同  
 ○朝夷巡島記二輯五 同  
 ○再榮花川譚三 同  
 ○賈油郎五 同  
 ○天津羽衣譚六 同  
 ○一休譚薄紫五 同  
 ○鎗權三累慘六 同  
 ○夕霧書替文章五 同  
 ○仇竹の伏見六 同  
 ○丹州鬼娘傳五 同  
 ○無雙相鬚語五 同  
 ○七初窓螢餘談六 同

○小野塞八十鳥かげ十 富士谷御杖序 文化十四年  
 ○おはん 染揚桂川水五 栗枝亭鬼卵 同  
 ○繪入玉藻譚五 白石田玉 同  
 ○文政年間  
 ○南越里見八犬傳三輯五 柳川重馬信書 文政元年  
 ○朝夷巡島記三輯五 同  
 ○奇談幸物語六 同  
 ○春夏秋冬四季物語夏の巻五 同  
 ○昔打出の濱五 同  
 ○謡曲春榮物語五 栗枝亭鬼卵 同  
 ○新編女水滸傳六 好花堂野亭 同  
 ○今昔二枝繪草紙六 濱松歌國 同  
 ○薄雪傳奇廓物語五 狐廓亭主人 同  
 ○高麗若全傳逆櫓松六 南里亭其樂 同  
 ○繪本輪廻物語五 島山保躬 同  
 ○繪本泉實記三 同  
 ○福家玉照物語五 同

○斯波遠説七長臣六 梅暮里谷峨 文政三年  
 ○南越里見八犬傳四輯五 柳川重馬信書 同  
 ○朝夷巡島記四輯五 同  
 ○小櫻姫風月後記六 同  
 ○夜美鳥林六 同  
 ○昔語羨の露六 同  
 ○太田道灌雄飛録六 同  
 ○朝夷巡島記五輯五 同  
 ○春宵園の梅五 同  
 ○刀筆青砥石文六 同  
 ○拾本道成寺鐘聲肥六 小枝絳山 同  
 ○南越里見八犬傳五輯五 同  
 ○頓々表紙三 同  
 ○木曾鼎臣録三 同  
 ○源平外記染分草五 同

○復嵐山故郷錦五 山照月 文政五年  
 ○以呂波草紙五 曉鐘成書作 同  
 ○書本室の八島六 同  
 ○夢の白壁草紙六 同  
 ○奇情の二筋道四 同  
 ○日向 寄生木草紙十 同  
 ○梅精 繪本魁草紙六 同  
 ○不動 現過思廼柵五 同  
 ○繪像名月夜話五 同  
 ○砂笥 根篠雪六 同  
 ○梅園 雜話五 同  
 ○梅家 彌生櫻六 同  
 ○繪本重編應仁記壹 同  
 ○殺生石後日怪談十 同  
 ○初篇登國、國貞書、二編英泉書、三、四編英泉書、五編國安書  
 にて天保四年完結す、こは三馬の大盤舞開始と同じく讀本と合  
 巻とを折衷したる新形讀本なり

○おは人月桂新話 三 梁 伏 存 鬼 卯 文政八年  
 ○長右衛門 月桂新話 三 北 齊 重 信 齋 同  
 ○忠孝比玉傳 六 英 齋 拙 泉 齋 同  
 一名 法花七里道  
 ○五人振袖 六 東 南 四 北 雲 齋 同  
 ○鳥邊山調の棧 五 一 鶴 鳴 堂 主 人 同  
 ○繪本双忠錄 十 東 重 齋 正 信 齋 同  
 ○近世 雲晴間 双玉傳 五 宮 田 南 北 同  
 ○新話 雲井物語 五 桃 華 山 人 同  
 ○繪本梅花春水 四 南 仙 笑 楚 滿 人 同  
 二世  
 京傳の梅花水裂の後を續きたるもの  
 ○筑紫 松蔭草紙 五 桃 華 山 人 同  
 ○消息 忠臣山賤傳 六 北 同 泉 齋 同  
 ○劍助 淨慈里見 八犬傳 六 重 曲 信 英 泉 齋 同  
 ○朝夷巡島記 六 同 川 登 廣 齋 同  
 ○新柳髮物語 三 鐘 柳 國 種 成 齋 同  
 ○賢女 千代物語 十 英 鼻 山 泉 齋 同  
 ○復讐 東物語 六 一 金 揚 齋 正 信 齋 同

○遊生法師壁の露 五 英 小 枝 綠 山 文政十年  
 ○行脚日記 壁の露 五 英 小 枝 綠 山 同  
 ○足代 鎌倉小双紙 十 東 里 山 人 同  
 ○持氏 繪本天下茶屋 十 同 作 同  
 一名 茶店繪給草紙  
 ○鶴籬遠山日記 五 如 山 路 獵 雄 同  
 ○皎月 大和物語 白 森 川 保 齋 同  
 ○菊花 俊傑神稻水滸傳 五 岳 知 足 館 松 旭 同  
 ○近世 說美少年錄 初集 五 曲 亨 馬 琴 同  
 初集より五集に至る毎集五冊天保五年完結す其出版年代は毎集の下に載す  
 ○通俗排悶錄 三 英 石 川 雅 望 齋 同  
 ○秋葉 金石譚 十 山 田 案 山 子 同  
 ○名勇 發功譚 五 英 十 返 會 一 笑 齋 同  
 ○皎月 戀情穿語 六 南 仙 笑 楚 滿 人 同  
 ○復讐 千丈松 七 柳 園 種 春 同  
 ○繪本 忠孝善美錄 十 東 籬 亨 菊 人 同  
 ○江戸 自慢綱町育 五 東 西 庵 南 北 同

一名 二人藝者一對男  
 ○武藏坊辨慶異傳 十 白 頭 子 柳 泉 齋 文政十二年  
 ○近世 說美少年錄 二集 五 曲 亨 馬 琴 同十二年  
 ○繪本 淡楚軍談 六 同 作 同  
 天保三年完結  
 ○三所 檀風物語 五 東 籬 亨 補 正 同  
 ○忠孝 伊吹物語 五 白 曉 鐘 齋 成 同  
 ○都 鄙 物語 十 英 鼻 山 泉 齋 同  
 ○金鈴 橘草紙 五 英 全 亨 正 泉 齋 同  
 ○田家 茶話 五 大 藏 永 常 同  
 ○平家 物語圖會 三 高 井 關 山 同  
 ○土佐 忠孝顯名錄 六 英 文 東 泉 齋 同  
 同年代不詳  
 ○天保年間  
 ○近世 說美少年錄 三集 五 曲 亨 馬 琴 天保元年  
 ○開卷 豐奇狹客傳 初集 五 英 同 泉 齋 同  
 全部二十冊天保四年完結す  
 ○瀬髮 蛇物語 五 英 全 亨 主 泉 齋 同

○復琴 松 譚 六 重 柳 國 種 春 齋 天保元年  
 ○南總里見 八犬傳 七 柳 川 重 信 齋 同  
 ○總 猿 僧 語 五 英 瀨 川 如 泉 齋 同  
 初編より三編に至る、二編より白頭子柳魚代りて作る齋工丘山  
 ○傳九 半月夜話 十 白 頭 子 柳 泉 齋 同  
 ○本朝 惡狐傳 十 岳 亨 丘 山 齋 同  
 ○六々 水滸太平記 五 英 岳 亨 丘 山 齋 同  
 ○大内 十 杉 傳 五 國 安 國 芳 齋 同  
 ○小松 仁行錄 五 溪 齋 英 泉 同  
 ○野將 出雲物語 五 重 曲 保 齋 同  
 ○外傳 南總里見 八犬傳 八 重 曲 保 齋 同  
 ○南總里見 八犬傳 八 重 曲 保 齋 同  
 ○俠客 傳二集 五 同 作 同  
 ○孝子 津摩加佐彌 六 小 枝 綠 山 齋 同  
 ○美談 南總里見 八犬傳 八 重 曲 保 齋 同  
 ○南總里見 八犬傳 八 重 曲 保 齋 同  
 ○俠客 傳三四集 十 英 同 泉 齋 同  
 ○玉村 新兵衛復讐越女傳 十 柳 川 種 春 同  
 ○出村 新兵衛復讐越女傳 十 重 曲 保 齋 同  
 ○尼子 七國士傳 五 重 曲 保 齋 同

○金雞新話十 岳亭丘山 天保四年  
 ○復世奇談五 龜 仙 同  
 ○弘法大師一代靈蹟六 同  
 ○近世說美少年錄四集五 曲亭馬琴 同 五年  
 ○嵐映花月奇譚十 瀨川清春 同  
 ○繪本和田軍記十 春曉齋書作 同  
 ○爲朝琉球軍記十 石田玉山 同  
 ○外傳今古奇談五 桑楊庵光 同  
 ○小説今古奇談五 桑楊庵光 同  
 ○里見八犬傳九輯上 六 二世重信 同 六年  
 ○能登守政四海返問月 五 保之書作 同  
 ○復讐梅菊新話六 好華堂主人 同  
 ○屏風四谷怪談十 山月庵主人 同  
 ○怨靈四谷怪談十 山月庵主人 同  
 ○濡燕栖傘雨談十 重信 同  
 ○里見八犬傳九輯中 七 重信 同 七年  
 ○草話風狸傳五 英一口泉老人 同  
 ○繪本通俗三國誌 池田東離亭 同  
 ○敵野路の玉川九 滄海堂主人 同

○里見八犬傳九輯下 五 重信 同  
 ○繪本内多々羅軍記 六 重信 同  
 ○里見八犬傳九輯下 五 重信 同 九年  
 ○孔子一代記 四 同  
 ○八犬傳九輯下 五 重信 同 十年  
 ○和漢犬農草紙 六 曉鐘成書作 同  
 ○今昔犬農草紙 六 曉鐘成書作 同  
 ○去分のもつか物語 二 石川雅望 同  
 ○源氏一統志 十 松亭金水 同  
 ○繪本曾我物語 十 一笑居士 同  
 ○八犬傳九輯下 五 重信 同 十一年  
 ○復讐雨夜傘 十 嘯月堂重孝 同  
 ○芳齋好文士傳 五 英永春 同  
 ○功話好文士傳 五 英永春 同  
 ○八犬傳九輯下 五 重信 同  
 ○同九輯下 五 重信 同 十二年  
 ○同九輯下 五 重信 同  
 ○同九輯下 五 重信 同  
 ○斐彈匠物語 六 北樹 同  
 ○重扇五十三驛 五 川影 同

○復世三傑奇譚五 重東 同 天保十三年  
 ○八犬傳九輯下 十 重信 同 十三年  
 ○海川仙家月五 自八島岳亭 同 十四年  
 ○鎌倉年代記五 重高 井蘭山 同  
 ○報高尾外傳六 二世梵滿泉齋 同  
 ○弘化年間  
 ○繪本岩見英雄錄 五 川山梅齋 弘化元年  
 ○本朝讀史餘談三 高井蘭山 同 二年  
 ○同 五編五 同 同 三年  
 ○同 六編五 同 同 四年  
 ○同 同 同 同 四年  
 ○同 同 同 同 四年  
 ○同 同 同 同 四年  
 ○同 同 同 同 四年  
 ○同 同 同 同 四年  
 ○同 同 同 同 四年

○嘉永年間  
 ○春雨譚五 高井蘭山 嘉永元年  
 ○外傳左刀奇談五 手塚兎月遺稿 同 二年  
 ○俠客傳五集五 蒜園主人 同  
 ○善知島安方忠義傳 十 重松 同  
 ○繪本烈戰功記 五 靜齋山 同 三年  
 ○繪本大樹家譜 五 花笠京英 同 四年  
 ○繪本阿佐倉日記 五 櫻亭花成 同  
 ○繪本阿佐倉日記 五 松亭金水 同 五年  
 ○中將姬物語 五 一言堂義親 同  
 ○好話高木殖實傳 十 松亭金水 同

二編は安政四年出版完結

- 柳家 木石餘譚六 齊藤湖南 嘉永六年
- 勸善夜話二 大藏龜琳 同
- 繪本吳越軍談三 東籬亭主人 同
- 白井權八一代葉那志五 杉亭金升 同
- 小邑吹一代葉那志五 永樂合一水 同
- 義經蝦夷勳功記三 永樂合一水 同
- 安政年間
- 英智計雜談三 笠亭仙果 安政元年
- 朝鮮征伐記四 同
- 八宗釋迦實錄五 鈴亭谷峨 同
- 起原 仙蛙奇錄五 永春信水 同
- 天竺 大川仁政錄三 松川芳梅 同
- 近世 武勇傳五 松川芳梅 同
- 南朝 武勇傳五 松川芳梅 同
- 外史 武勇傳五 松川芳梅 同
- 新笠松鬼神傳十 松川芳梅 同
- 扇笠松鬼神傳十 松川芳梅 同
- 扇月千葉軍記五 松川芳梅 同
- 光輝 千葉軍記五 松川芳梅 同
- 和漢宿直譚四 三宅嘯山 同

- 觀音守護實錄五 柳亭種彦 萬延元年
- 文久年間
- 新野 鹿傳五 松岡主人 文久元年
- 佐野報義錄共 知足館松旭 同
- 新說二熊傳九 松岡主人 同
- 元治年間
- 清正一代記三 芳為永春 元治元年
- 年代不明の部
- 全交通鑑五芝 全交
- 春雨物語十 上田秋成
- おらく物語一 明誠堂喜三
- 欲討女夫似我蜂三 山東京廣
- 利生 甲州賦澤報難五 十返舎一九
- 近世說大川美談五 山東一貞

七十

- 再咬高臺梅六 栗杖亭鬼卯
- 小栗外傳大 北杖齋
- 繪本報仇安達原六 文亭主
- おさん 大經師宗像曆六 馬亭平
- 給玉すだれ七 石川一船
- 復仇武藏鑑五 石川一船
- 宮城野敵討白石話六 信夫
- 百二十石四 山岡恭安
- 古今 深雪草四 壺董子
- 繪本日吉九十 貞秀書作
- 貧福奇妙譚五
- 見聞西遊雜記五
- 川童一代嘶五 後穿窟序
- 夕霧一代記三 振鷲亭
- 山掛太今調錄六 梅暮里谷峨
- 夫後編
- 繪本荒川仁勇傳十 二世楚滿人序
- 和漢宿直譚四 三宅嘯山

日本小説年表 讀本

- 百福奇談五
- 中山夢物語五
- 繪本松井實記五
- 繪本堀川請談十
- 譽通箭七
- 蝶の夢花の曙六
- 三山草紙五
- 女熊坂朧夜草紙五
- 二個管笛摺五
- 繪本奇縁傳十
- 平井妹背語五
- 旭立帶五
- 繪本賢女鑑五
- しかまのかち染五
- 繪本菅原實記十
- 本朝錦傳五
- 小夜あらし五

七十一



- 北越奇談六
- 繪本平八一代記五
- 繪本金刀仇討十
- 東雄操物語五
- 三島女耶來麓の花五
- 新編熊坂物語五
- 自鳥奇縁六
- 筒井清水六
- 金鱗化粧櫻六
- 會稽三浦譽六
- 梅の山兵衛一代記六
- 秋津島十
- 薄衣草紙五
- 繪本萬力奇談五
- 繪本祐天記五
- 和歌葉の跡五
- 繪本霜の花五

- 蛭少女玉取草紙七
- 浦島一代記五
- 日本廿四孝子傳五
- 繪本俊徳丸五
- 伊勢新九郎大志傳五
- 繪本伊賀越七
- 花若丸一代記四
- 繪本月景物語十
- 繪本芳野の雪六
- 教訓御伽草紙一
- 大伴金道十
- 世繼會我十
- 世話麒麟談四
- 仙家明月清譚五
- 奇縁復讐北條美談八
- 中古雜話雉鼎會談五
- 繪本漢楚軍談五
- 松亭金水
- 鳥醉
- 東籬亭菊人
- 木五
- 秀
- 真
- 高

- 豪傑勳功錄十
- 前太平記圖會六
- 保元平治圖會十
- 源平盛衰記圖會六
- 義經勳功圖會十
- 義仲勳功圖會十
- 楠正行戰功圖會十
- 太平記圖會八
- 扶桑泉統記圖會三
- 北條時頼記圖會十
- 繪本豊臣勳功記卒
- 源頼光勳功記六
- 時頼勳功記十
- 鎌倉太平記三
- 陰徳太平記全
- 北國太平記三
- 北條九代記三
- 好華堂野亭
- 池田東齋亭
- 石川半山齋
- 入功舎徳水
- 養拙散人

- 南北太平記六
- 東國太平記五
- 武田三代記三
- 頼朝三代軍記四
- 繪本和田軍記三
- 繪本甲越軍記三
- 繪本菊池軍記十
- 南總里見軍記十
- 朝鮮軍記三
- 三韓退治五
- 楠三代實錄三
- 本朝武家評林三
- 武將威狀記三
- 甲陽軍鑑十
- 楠二代軍物語五
- 周武王軍談五
- 十二朝軍談五

- 吳越軍談六
- 東西漢記事廿
- 續三國史廿
- 續後三國史廿
- 續後々三國史廿
- 南北朝軍記五
- 北魏南梁軍談五
- 唐太宗軍談五
- 玄宗軍談五
- 宗史軍談廿
- 兩國志五
- 元明軍談廿
- 臺灣軍談五
- 五代史軍談五
- 通俗明皇后宮傳五
- 聖德太子傳圖會六
- 圓光大師御傳記六

- 弘法大師御傳記五
  - 親鸞上人繪詞傳三
  - 日蓮上人御一代記圖會三 寬
  - 釋迦八相記五
  - 釋尊御一代圖會六 北
  - 西行法師一代記六
  - 日蓮上人御傳記五
  - 廿四輩順圖會十五
- 雪書  
齋書  
山書

附錄

○寫本軍記實錄類目錄

これ等の軍記、實錄類は徳川時代の末葉、所謂寫本屋物として、我等の祖先に愛蔵せられしものにして、悉く寫本なり、維新以來活版本出てより、これ等の寫本は世に顧みられず、現今これを有する貸本屋は東京市中僅に二軒をとりむるのみ、しかも日々紙魚をこやし漸次湮滅に歸しつつあり、この目錄は右二店の維新の際調査せし貸本目錄により後日の參考にもとて寫し置けるを、こゝに附録とせらるなり、

- 真書太閤記三〇
- 源平盛衰記一〇
- 鎌倉見聞誌二〇
- 箕笠解義傳一〇
- 本邦統々史記五
- 天明水滸傳五
- 慶元難城變五
- 義士銘々傳五
- 石山軍記五
- 校合雜記一〇
- 伊達大政錄五
- 真田三代實錄二五
- 番訓清正實記五
- 朝鮮征伐記五
- 勢力強膽傳一〇
- 慶長中外傳一〇
- 佐賀の夜櫻五
- 奥州征伐記五

- 黒田大雄志五
- 寛永南島變五
- 後藤強勇傳五
- 英雄美談五
- 川中島軍記五
- 國定忠次傳五
- 元正聞記五
- 敵討雲水錄五
- 月龜夜話五
- 若松敵討五
- 怪談大和話五
- 早川武勇傳五
- 福井敵討五
- 貞女敵討五
- 宇津谷雜談五
- 貞烈女敵討五
- 松山實記五
- 大岡昇進錄五
- 佐倉義勇傳五
- 太平樂記五
- 岩見武勇傳五
- 鈴木榮枯錄五
- 武道白石英五
- 朝貌奇談五
- 鷲宮利生記五
- 宇都宮公綱傳五
- 氷雪澤志錄五
- 佐久間孝子傳五
- 浪花美談五
- 信陽白浪談五
- 近代化明談五
- 谷室延名錄五
- 桃園實錄五
- 秋田杉森記五

- 綱宮美明談
- 佐州太平記
- 良繁興運記
- 備前久良毛
- 大和新錄
- 三都勇劍記
- 四海太平記
- 鷹操異本
- 關ヶ原軍記
- 赤穂内侍所
- 大久保武藏鑑
- 柳巷美談
- 西國太平記
- 武德武篇談
- 天滿水滸傳
- 豐臣鎮西軍記
- 但馬細見錄
- 都流の毛衣
- 小栗一代記
- 一刀又六傳
- 河淡明安錄
- 東國太平記
- 高橋義勇傳
- 鷹操諺記
- 聚樂真字白浪
- 大岡美談
- 難波戰記
- 關東府幕全書
- 菊池忠勇傳
- 大河内英雄全書
- 小野小町一代記
- 石井明道士
- 明石剛勇記
- 義經蝦夷軍記
- 敵討慶披錄
- 思出艸紙
- 越後新潟敵討
- 小倉色紙
- 竹我物語
- 中興奇賤選
- 神保女敵討
- 女太平記
- 北野實記
- 箕輪宿六物語
- 重櫛名士傳
- 天下茶屋敵討
- 西豐孝子傳
- 坂東忠義傳
- 慶安太平記
- 齋藤盛行傳
- 信州仙人床
- 祐天上人一代記
- 北長家亂騷記
- 越後記大全
- 三國太平記
- 敵討烈孝傳
- 敵討武幸實錄
- 明智軍記
- 義公仁德錄
- 敵討東錦繪
- 長兵衛一代記
- 武陽田條志
- 安明夢物語
- 松井兄弟敵討
- 近代見聞錄
- 天竺德兵衛
- 耳
- 三都統記事

- 怪談扶桑記
- 怪談百物語
- 本郷怪談實錄
- 神武權衡錄
- 小堀名家撰
- 名殘廣記
- 金龍小柄智袋
- 敵討貞鏡錄
- 三道論
- 繼橋孝梯傳
- 麻野實記
- 青海浪
- 苅萱道心行狀記
- 唐崎傳記
- 爲朝一代記
- 前原實記
- 本朝三國誌
- 慶天開記
- 女盜賊雷勇記
- 文覺上人一代記
- 自來也物語
- 敵討孝女傳
- 小夜中山敵討
- 頼光一代記
- 岩城實錄
- 明君德光錄
- 陸奥太郎
- 鴻巢生肝
- 妙術ふん
- 文政秘鑑
- 金勢靈夢傳
- 皿屋鋪
- 敵討釜川錄
- 太平記秘鑿
- 珍說太閤記
- 慶元開戰記
- 薩球軍精記
- 東國戰記
- 豪傑功名記
- 川中島五戰記
- 濃關雄雄
- 關八州古戰錄
- 續々史記
- 異本朝鮮征伐
- 楠廷尉秘鑿
- 三河文庫
- 前九年記
- 織出蝦夷錦
- 板倉政談
- 武藏夜話
- 河田傳記
- 重修太閤記
- 石田軍記
- 南島變記
- 清正實記
- 和田軍記
- 厭他太平樂記
- 御先祖記
- 武家盛衰記
- 本多忠勝勇猛傳
- 諸家上書
- 武者物語
- 武者閑談
- 後三年記
- 小堀政談
- 金花天草
- 岩井實記
- 千代田問答記

○武林隱見錄二	○德本御說法記一	○上州沼田仇討一	○武道小倉荷一五
○德本勝佛行狀記一	○袖錦岸柳島一〇	○肥後地倉記二	○珍說應甲稻田一〇
○義士傳五	○柳荒美談吾	○臨時客應接三	○青海波黃金湖一五
○宮本佐々木英雄記六	○勇婦兩國仇討三	○祐天記六	○水滸傳一〇
○敵討實花日記五	○天保水滸傳三〇	○東西太平論一〇	○異本慶安太平記一〇
○松井兄弟報警記五	○四家忠臣鑿三	○小夜中山雪鏡五	○湖田開運記一〇
○義士無双記六	○三都勇健傳三	○攝津茨木仇討一〇	○宇都宮金清水一〇
○浮世車實記五	○空政談六	○荒川武勇傳一〇	○仙石實記三〇
○四谷雜談實錄三〇	○女勇傳五	○信州更科日記一〇	○賊禁秘談三七
○敵討伊佐實記一〇	○芭蕉脚袋五	○賊禁秘談異本一〇	○三孝皿屋舖三〇
○明君享保錄一〇	○寬永箱崎文庫吾	○皿屋舖嚴秘錄五	○太平箱文庫三〇
○寬永太平記三	○崇禎寺敵討一〇	○敵討貞享筆記一〇	○淺山源秘錄一〇
○護國女太平記三〇	○護國女太平記異本一五	○孝威冥祥錄一〇	○田宮物語一〇
○敵討小女怪力一五	○伊達騷動記三〇	○田宮物語異本一〇	○白井權八一代記一五
○佐倉義民傳三〇	○佐倉義民傳異本一〇	○幡隨院長兵衛一代記一〇	○松前屋勇力傳一〇
○妖魔犬勇錄一〇	○名木不朽傳一五	○義公黃門記三〇	○正說國貞實記三〇
○明和風土記一〇	○盤船仇討一〇	○敵討青木實記一〇	○鏡山實錄五

○積沼實記三〇	○敵討嫁厨谷一〇	○昨倉政談五	○報怨奇談一〇
○敵討合邦ヶ辻一〇	○火車乘行記一〇	○大岡忠相政要實記三	○大岡名譽政談三
○慶安前秘錄三	○鍋島猫變化一五	○大岡名譽政談後編一五	○大成嚴集錄六
○釋迦御一代記四〇	○梅花後榮記一五	○鈴木主水一〇	○京都巡見記四
○小幡小平次大和新聞一〇	○敵討霞の濱萩一〇	○大阪東海道筋一	○大岡皇紅毛傳一〇
○敵討柳の落葉一〇	○豫松義曲錄一〇	○敵討信夫文字摺一五	○安明元記一五
○森鏡邪正錄一〇	○敵討白川根笹雪一〇	○元治夢物語八	○小田原女敵討一〇
○柳坡舌料錄一五	○觀延命談一六	○老婆茶話一〇	○敵討廣島記一五
○泉洲信田白狐傳八	○難波一夜夢八	○殺法輪轉一〇	○稻生怪談三
○天一坊一代記三〇	○大岡仁政錄四〇	○近代烈女傳一五	○近代公寬前秘錄一〇
○享保仁政錄一五	○越後傳吉一〇	○安明聞記一	○小松物語一〇
○村井長庵一〇	○金比羅靈驗記一〇	○博多細傳實錄一〇	○細倉實記一
○嘉川政談一〇	○敵討名淺黃記三	○閑談雜章錄一〇	○祐天記後編一五
○尾畑山吹猫物語五	○新宿新怪實記三	○武篇咄一五	○三國誌一五
○慶應太平記八	○上野下野阜月曙一五	○小栗實記一〇	○英雄全書一〇
○生人形武田操四	○不動尊角力の仇討三	○村越傳記一〇	○高島日記一〇
○神明角力一五	○見聞藏鼠錄一六	○安淡明錄一〇	○孝子仇討一〇

- 金澤文庫三
- 名古屋元結三
- 天明大政録五
- 山川太平記五
- 加州仇討五
- 仇討美前録五
- 貞夫仇討五
- 仇討神代杉三
- 近代嚴秘録三
- 岩淵夜話三
- 目佐間志夜話三
- 富士隨劔録三
- 松前夜話三
- 九六長榮記三
- 大橋後藤昇進録三
- 和州郡山見聞録三
- 安部仲九入唐記三
- 武藏夜話三
- 北條名士政談三
- 敵討黃鳥塚五
- 神寶實記五
- 山中實記五
- 彦根仇討五
- 粟田口仇討五
- 越後高田仇討三
- 近代深秘録三
- 官論秘鑿三
- 見語大噺撰三
- 親子塚五
- 天貞實記三
- 龍野寶玉傳五
- 依田評定記三
- 川越伊藤盛衰記三
- 仇討透順香三

- 藤戸平井兩家仇討三
- 牛込神樂坂仇討三
- 高田馬場仇討三
- 千島玉川三
- 宇市敵討二葉孝記三
- 中興木録山三
- 紀文實傳三
- 笹野權三物語三
- 但石實記三
- 新編餅酒太平記三
- 越後安永鑿三
- 常盤松仇討三
- 陽柳文庫三
- 九州武勇敵討三
- 成平塚念力石三
- 諸士實傳武林叢話三
- 淺田三代記
- 笠森實記三
- 燕臺奇言三
- 明君德光線三七

○滑稽本

○寶曆年間

- 當世下手談義五 靜觀坊好阿 寶曆二年
- 教訓雜長持五 伊藤單朴 同
- 風姿紀文三 竹徑蟻局 同三年
- 當風辻談義五 嫌阿 同
- 教訓不辯舌五 一應亭染子 同四年
- 無而七辯三 同
- 八景聞取法問五 梅 隔 同
- 里番錢湯新話五 伊藤單朴 同
- 教談當世花街談義五 止藏坊 同
- 不埒物語七 南啓堂梅翁 同五年
- 花菖蒲待乳問答五 柳堤居皆阿 同
- 禁現大福帳五 墮落助 同
- 風俗八色談五 卜々齋 同六年
- 續百化鳥三 古面堂 同

○名水染分綾一

寶曆六年

- 人間善惡道中獨案内一 同
- 新板送處邪正案内五 無々道人 同
- 繪本深名帳三 同七年
- 雜篇田舎莊子六 伏齋榜山 同九年
- 滑稽雌黃四 桂井芥八 同
- 養生醫者談義五 蕪得齋 同
- 教訓評判龍美野子三 泉山坊 同十年
- 風流准仙人三 鶴步道人 同
- 古文鐵炮前後集一 桂井芥八 同十一年
- 銀杏茶常盤八景四 寄牛道 同十二年
- 教訓差出口五 伊藤單朴 同
- 俗談唐詩選五 風物 同十三年
- 根なし草五 風來山人 同

俳優八重桐病死の事を、戯作せるものにして、題目は志道軒の元なし草よりとれり、此書大に行はれ三千部賣れたりといふ

○風流志道軒傳五 風來山人 寶曆三年

○明和年間

○新撰小夜時雨五 若夢坊 明和二年

○風初咲梅のこよひ一 好譚相傳 街談 同 三年

○當世坐持話五 西村吾叟 同

○根なし草後編五 風來山人 同

○楚古良探五 單朴遺稿 同 五年

○一子極秘卷五 牛田山 政盛 同 六年

文化十四年笑巖自知録と改題二冊に合本再摺せり

○當世穴さがし五 同

○龍都朧夜話五 大道寺宜布 朝齋 同 七年

○蕩子筌枉解一 峯釜散人 同

○赤本智恵鑑五 臍齋主人 同

○興言浮世袋五 齋能樂 同

○當世會古左賀志五 醉石翁 同

○銀杏當世滑稽談義五 伽藍堂 同 八年

○八尾地蔵通夜物語五 一樂子 明和八年

○當世穴さがし後編五 鄰松齋 同

○虛寶馬鹿物語五 同

○當世穴嘶四 同

○教訓乗合船五 無頼散人 同

○世間萬病回春五 世北山人 同

○何でも十九論一 同

○安永年間

○新板 繪入當世囁吐談五 其月庵鳥川 安永元年

○今様滑稽衣五 井口帶雨 蝶齋 同

○片假名世醉記一 銅脈先生 同

○伊勢志那戸の風五 池田遊鶴 同

○土産 志那戸の風五 池田遊鶴 同

○反古佐羅部四 愚鈍齋 同 二年

○當世氣轉車一金々先生 同

○當世作の種一兵百 同

○放庇 繪一風來山人 同 三年

○針の供養五 銅脈先生 同

○風流陣談義五 安永三年

○相生玉手箱五 池田遊鶴 同

○評判茶臼藝一 寐惚先生 同 四年

○夢物語 遊霧都行脚五 同

○天狗獨健鑿定縁起一 風來山人 同 五年

○風俗つれ草四 池田遊鶴 同

○無論里問答三 一尺亭竿頭 同

○同 後編三 同

○當世こゝかしこ一 同

○當世杜撰商一 幸慶子 同 六年

○放屁論後編一 風來山人 同

○中草 白露一 同

○偏鐵挺論五 柳橋先生 同

○心の鬼五 鈍通子 同 七年

○飛だ噺の評一 風來山人 同

○獸太平記五 木容堂 同

○異國和莊兵衛八游谷子 同 八年

志道軒傳の異國廻りの趣向にならひたるもの、馬野の夢想兵衛  
胡蝶物語はこれによりて作れるものなり

○時勢世話談義五 梅 扇 安永八年

○風流金石さゝれ石一 虚呂利山人 同

○大通人好記一 持麻呂 同 九年

○當世阿多福面一 粥腹得心 同

これは平秩東作匿名の作なり

○大通 一騎直行五 志水燕十 同

○金のなる木一 風來山人 同

○寒山拾得二幅對四 同

○風姿 戯言五 和氣茂内 同

○吳服 時代三國史三 同

○天明年間

○無陀物語一 雲樂山人 天明元年

○笑註 烈子五 笑止亭 同

○風來紅葉金唐草一 同 二年

○當世導通記一 風來山人の事を戯作せるもの 天竺浪人 萬象亭 同

- 通 點 興一 春佐 町 天明二年
- 陰陽玉 虛空談五 關山正之 同
- 大通 紀山寺一 南免羅法師 同 三年
- 東唐 細見嘶四 同
- 繪 見立假譬盡三 竹杖爲輕 同
- つれく 陣が川五 陣 川子 同
- 木心 一ツ 鐵炮三 甘 涎 齋 同 四年
- 開眼 現 金 論 一 百 馬 同 五年
- 野島 通夜物語一 美足齋象水 同
- 成仙玉 一口玄海五 江 文 坡 同
- 陣が川 一の川四 陣 川子 同
- 指 面 草一 政のよは京傳の書名なり 山 東 京 傳 同 六年
- 人 遠茶懸物一 一 拂 齋 同
- 好 言 草五 蘆 橋 庵 同
- 百人 和歌始衣抄一 山 東 京 傳 同 七年
- 當世 粹の水上五 前 川 來 太 同

- 無 駄 砂 子 一 天明八年
  - つれく 雀三 寛政元年
  - 萬更 大師異圖本一 十九才 信 普 同 二年
  - 破 紙 衣四 同
  - 書本 纂怪興二 政 森 萬 象 同 三年
  - 鈍通 禪學咄五 太 鼓 堂 泥 築 同 四年
  - 狂言 津打治兵衛の假號なり
  - 三國 松魚智慧袋一 京 傳 書 作 同 五年
  - 三國 登瓜芫莢一 振 鷲 亭 同
  - 花實 都夜話五 狼 狽 散 人 同
  - 教訓 繪兄弟一 山 東 京 傳 同 六年
  - 養裸 百 貫五 詳 川 子 同 八年
  - 戲言 浮世瓢箪五 吳 句 堂 主 人 同 九年
  - 草木 芝居化物退治一 三 蝶 同
  - 書本 不盡泉三 石 田 玉 山 同
- これは酒客の癖をいろ／＼おかしく記したるもの三馬の七癖上

戸階耐氣質等の先驅をなせるものなり

- 下界 乾坤三國誌七 沖 の 白 信 寛政九年
- 百化 帖準擬本草二 京 傳 書 作 同 十年
- 怪 談 愚 草 一 内 新 好 同
- 戲男 伊勢物語五 頭 少 々 禿 麿 同 十一年
- 三十 見てきた語五 峨 嶺 二 丸 丸 同
- 世界 枝折四 耳 若 非 時 齋 齋 同
- 野暮 の 枝 折 四 耳 若 非 時 齋 齋 同
- 見て 咄 濡 手 粟 五 峨 眉 九 齋 同
- 五色 の 糸 屑 五 峨 眉 山 人 同
- 身體 山吹色五 都 翁 舍 千 代 見 同
- 戲子 名所圖會三 曲 川 琴 馬 國 書 同 十二年
- 杜撰 泥 帚 四 約 泰 享和元年
- 田 舍 芝 居 四 万 象 亭 同
- 東海 陸栗毛初篇一 十 返 會 一 水 口 齋 同 二年

原版中の外題には浮世道中陸栗毛とあり、初篇より八篇迄文化六年完結す、其中發端一卷は文化十一年出版せり

- 同 後編二 同 作 自書 享和三年
- 送 麻疹神表一式 亭 三 馬 同
- 麻疹 與海鹿之辨 一 同 作 同
- 戲場 訓蒙圖彙三 同 作 同
- 滑稽 素人芝居一 慈 悲 成 同
- 奇妙 圖 彙 一 京 傳 書 作 同
- 文化 年間
- 東海 陸栗毛三編二 十 返 會 一 九 同 文化元年
- 道中 五百崎虫の評判一 馬 合 作 同
- 繪本 酌縁起一 同
- 風流 田舎草紙六 十 返 會 一 九 同
- 樂 屋 方 言 四 鐵 砲 堂 主 人 同
- 狂 言 綺 語 一 式 亭 三 馬 同
- 假名 穿 鑿 抄 一 蘇 田 橋 々 齋 同

○東海 藤栗毛四編二 十返舎一九 享和二年  
 ○道中 藤栗毛六編二 白 同  
 ○古鳥圖賀比三 松屋耳鳥齋 同  
 ○浮世物 觀帖九 威和亭鬼武 同  
 ○文化六年に至り完結す  
 ○浮世風呂前編二 式亭三馬 同 三年  
前編男湯、二編女湯、三編同上、四編男湯再編文化九年完結す  
 ○酩 丁 氣質二 同 作 同  
 ○戲場粹言幕の外二 同 作 同  
 ○癡漢三人傳一 威和亭鬼武 同  
 ○東海 藤栗毛五編二 十返舎一九 同  
 ○道中 追加一 同 書作 同  
 ○道外 小野蓋藏字盤一 式亭三馬 同  
 ○見通鄙戲場一 柳陽舍齒雞 同  
 ○民間口八丁二 神楽 自刻 同 四年  
 ○癡漢三人傳後篇一 威和亭鬼武 同  
 ○夷國滑稽羽栗毛一 嬉多樂處 九 同  
 ○播州 藤栗毛八 監彦 川玉 同

一名 旅枕夢奇海、文政七年再招  
 ○東海 藤栗毛六編二 白 十返舎一九 文化四年  
 ○道中 藤栗毛七編二 白 同  
 ○見通鄙戲場後編一 柳陽舍齒雞 同  
 ○田舎 樂屋雜談二 鬼 笑 同 五年  
 ○紙子頭巾遊久助咄一 百瀬又兵衛 同  
 ○櫻樹腰掛咄一 竹 有 軒 同  
 ○諸國無茶修行一 山 赤 同  
 ○勸善田舎相撲一 米花散人 同  
 ○孤花初物語一 式亭三馬 同  
 ○土産 藤栗毛七編二 十返舎一九 同  
 ○東海 藤栗毛七編二 白 同  
 ○道中 八編三 同 書作 同 六年  
 ○浮世風呂二篇二 式亭三馬 同  
 ○早替胸機關一 同 作 同  
 ○滑江の島土産一 十返舎一九 同  
白初編至三編五冊、文化七年完結す  
 ○道中 華 鹿 毛 三 河間亭主人 同  
 ○客者評判記三 式亭三馬 同

○七癖 上戸三式亭三馬 文化六年

一名 新水鳥記  
 ○春宵 煙草二抄一 山東京山 同 七年  
 ○伊 吾物語一 北梅暮里谷 同  
 ○下恩 鄙通辭二 棟歌亭真棋 同  
 ○續藤栗毛初編(金比羅)二 十返舎一九 同  
初編より十二編に至る二十五冊文政五年完結す  
 ○滑江の島土産二編二 十返舎一九 同  
 ○同 三編二 同 作 同  
 ○滑稽 大師めぐり上編三 十返舎一九 同 八年  
 ○滑稽 二日酔二 同 作 同  
 ○忠臣藏偏癡氣論二 式亭三馬 同  
 ○中戲 六阿彌陀詣前編二 十返舎一九 同  
 ○三十三 己が聲色一 春 青 同  
 ○道中 黄金駒一 赤頂賀米 同  
 ○浮世風呂三編二 式亭三馬 同

○柳髮 浮世床初編三式亭三馬 文化八年

初編より三編に至る文政六年完結す  
 ○四十八癖八 同 作 同  
 ○狂言田舎操四 歌樂亭馬丸 同  
 ○田舎 驛路の鈴一 東里山 同  
 ○續藤栗毛二編(宮島)二 北十返舎一九 同  
初編より三編に至る文政六年完結す  
 ○道中 六阿彌陀詣後編二 同 作 同  
 ○客者評判記殘篇三 式亭三馬 同  
 ○臺 所 譚一 山東京山 同  
 ○妙伍天連都一 白十返舎一九 同  
 ○王子 土産一 長二樓乳足 同  
 ○浮世風呂四編三 式亭三馬 同  
 ○浮世床二編二 同 作 同  
 ○古今百馬鹿一 同 作 同  
 ○素人狂言紋切形三 同 作 同  
 ○四季日待 内廿三夜待三 岡 山 鳥 同



夏、庚申待三、秋甲子待三、冬己巳待三、と豫告にあれど出版せしや否や不明なり

- 綴栗栗毛三編(木竹) 二 十返舎一 九 文化九年
  - 昔模様梅若松 二 談州樓馬 同
  - 人間萬事虚誕計 一 式亭三馬 同 十年
  - 小説 六阿彌作詣三編 一 十返舎一 九 同
  - 教諭 假名 藏 意 抄 一 葛葉山 馬補綴 同
  - 手本 酒一 盃綺言 一 式亭三馬 同
  - 綴栗栗毛四編(木竹) 二 十返舎一 九 同
  - 同 五編(同) 二 月磨、式磨 同 十一年
  - 東海 膝栗毛發端 一 同 作 同
- この發端は彌次、喜太の出處分明ならずと讀者よりの注文によりあつたり書加へたるものなり
- 竹莖 旅芝居田舎正木 一 萬壽亭正二 同
  - 滑稽 身振姿八景 三 笑亭可丸 同
  - 芝罘 眞器加賀美東傳 二 南笠亭房丸 同 十二年
  - 綴栗栗毛六編(木竹) 二 十返舎一 九 同
  - 同 七編(木竹) 二 十返舎一 九 同 十三年

- 同八編(從木竹) 二 十返舎一 九 文化十三年
  - 滑稽 堀の内詣三 同 作 同
  - 大千世界樂屋探三 式亭三馬 同
  - 大山栗毛後驥馬初編 二 瀧亭鯉丈 同 十四年
  - 忠臣藏縁起式 二 同
- 初編より三編に至る文政四年完結
- 文政年間
- 大山栗毛後驥馬二編 二 瀧亭鯉丈 文政元年
  - 綴栗栗毛九編(善光寺) 二 十返舎一 九 同 二年
  - 水中 魚論 丘 釣 話 二 鳴山 同 同
  - 芝罘 滑稽道中雲助噺 三 自曉 鐘 同 三年
  - 花曆 八笑人士 三 瀧亭鯉丈 同
- 初編二冊、二編二冊、三編二冊、同追加二冊、四編二冊、同追加二冊天保五年完結
- 雜談紙屑籠六 十返舎一 九 同
  - 綴栗栗毛十編(上州) 二 春同 同 同
  - 同十一編(同上) 二 同 同 同 四年

- 大山 栗毛後驥馬三編 二 瀧亭鯉丈 文政四年
  - 堀の内 雜司ヶ谷紀行 三 十返舎一 九 同
  - 茶番 早合點 二 式亭三馬 同
  - 綴栗栗毛十三編(上州) 三 十返舎一 九 同 五年
- 享和二年東海道の新編發行してより廿一年ぶりにて滿尾の祝とし彌次喜太の土産と稱し國貞畫の景色美人の繪を添呈せり
- 村に致さ 世の中賣魚圖 三 十返舎一 九 同 五年
  - の金が飲 粹郎聊榮花の現 四 魚 麻 呂 同
  - 浮世床 三編 三 瀧亭鯉丈 同 六年
  - 太平樂卷物 一 鳥亭焉馬 同
  - 揚弓一面大當利 三 英岡山 泉畫 同 七年
  - 滑稽 牛島土産 三 英 亨 泉畫 同
  - 白 癡 物 語 二 石川雅望 同 八年
  - 滑稽 煙器蛇話 二 愚癡探齋 同 九年
  - 雞が啼東都曉 三 盛田小 秀畫 同
  - 滑稽 有馬紀行 三 大根土成 同 十年
  - 梨園 其儘草紙 二 國 陽 陳安畫 同

- 樂屋 芝罘栗毛 二 濱松歌國 文政十二年
  - 道中 肥後 三 笑 三 文 東 陳 信 同
  - 滑稽 稽 三 笑 三 文 東 陳 信 同
  - 浮世名所圖會 二 奥山四娟 同 十二年
  - 道 役者 三 外栗毛 二 重 濱 村 春 同
  - 妙々 奇談 辨正 二 同 同
  - 妙々 奇談 四 周 滑 平 同
  - 甲 子 待五 國 立 川 馬 直 同
  - 滑稽 寶色安木丹前編 三 十返舎一 九 同
- 天保年間
- 國 恩 湊のさかえ 二 曉 鐘 成 天保二年
  - 辛卯 蝠 蝠 考 一 白 笠 亭 仙 同
  - 温泉 箱根草初二編 六 瀧亭鯉丈 同 三年
  - 土産 箱根草初二編 六 瀧亭鯉丈 同 三年
  - 人間萬事 虚誕計後篇 一 同 作 同 四年
  - 役者必讀 妙々痴談 二 三 芝 居 士 同
  - 同 後の正夢 二 同 作 同
  - 妙々痴談 返註録 一 鳥亭焉馬 同

○虚なるべし二木 府 庵 天保五年  
 ○神佛 妙々奇談三 夢 月 庵 同 六年  
 ○浮世酒屋喜言上戸三 鼻 山 人 同 七年  
 ○徴、瘡軍談五船 越 晋 同 九年  
 ○湖來 婦志六三 馬遺稿 同 十一年  
 ○滑稽和合人十瀧亭鯉丈 同 十二年  
 初編三、二編二、同追加二、三編三、四編より為永春水作

○弘化年間  
 ○漫稽繪姿合一 柳下亭種良 弘化元年  
 ○滑稽和合人四編三 為永春水 同  
 ○魂膽夢輔譚初編三 一笠庵主人 同 二年  
 初編より五編に至る十五冊弘化三年完結、八文字屋本の立右衛門の趣向を模せしものなり

○温泉箱根草三、四編六 為永春水 同  
 ○勤善 稽古三味線三 一筆庵主人 同  
 ○魂膽夢輔譚(三編) 七 同 三年  
 ○下戸 勸善飯初編二 貞十返舎一 秀齋 同

一名上戸下戸講釋園會といふ、二編より竹葉舎作安政四年完結  
 この二世一九は米井風助の事に非ず、三亭春馬が風助没後更に  
 二世一九の號を譲受しものにして實は三世一九なり奥羽膝栗毛  
 もこの春馬の作なり

○安本丹後篇三 為永春水 弘化三年  
 ○嘉永年間  
 ○奥羽道中膝栗毛 五 二世一 信齋 嘉永元年  
 初編弘化二年稿成嘉永元年版、二編同年版、三編嘉永二年版、  
 四編嘉永二年版、五編嘉永三年版

○忠臣藏皮肉論二 一 章庵 英口 同  
 ○人間善惡道中記 三 自 同  
 ○同四編迷所一覽一 同 書作 同  
 ○同五編善惡二筋話一 樂亭西馬 同 二年  
 ○同六編善惡浮世奇看一 同 作 同  
 ○無他三才圖繪六 曉 鐘 成 同 三年  
 ○滑稽宮島土産六 自 十方舎一 齋丸 同 四年

○安政年間  
 ○松竹五偏人 五 梅 亭 金 齋 安政四年

○下戸 勸善飯二、三編四 竹葉舎金瓶 安政四年  
 ○氣貫 萬延年間  
 ○滑稽富士詣 志 假名川 魯文 萬延年  
 ○質 屋 雀四 荏窓貞雄 同  
 ○文久年間  
 ○人四一生傳記 善惡迷蹤志 一 景齋英壽 文久二年  
 ○樂屋 鳴々者評判記 一 惡文舎他笑 慶應元年  
 ○新編膝栗毛 廿 狗々山人 同 二年  
 ○出版年代不詳部  
 ○くせ 物 語 二 上田秋成  
 ○京傳工夫小紋帳 一 山 東 京 傳  
 ○御坐敷藝忠臣藏 一 豐 同 國 畫 作  
 ○伊賀家鼻負氣貫 一 式 亭 三 馬  
 ○人心 祝 機關 一 同 作  
 ○滑稽水掛論 三 十返舎一九  
 ○滑稽躰栗毛 五 同 作

○談合膝栗毛 三 十方舎一 齋丸  
 ○菩提樹の辨一 風來山人  
 ○力 婦 傳 一 同 作  
 ○里 鶴 風 話 一 同 作  
 ○痠陰隱逸傳 一 同 作  
 ○南合羽大御略縁起 一 司馬全交  
 ○北里十二時二 魚 屋 北 齋 齋丸  
 ○増口 八 丁 二 英 齋 齋丸  
 一名 浮世長屋、蓬州作の口八丁をつぎたるもの

○春笑能樂奇談三 清川山住  
 ○浪花 街 の 噂 四 畑 銀 雞  
 ○御蔭手本抽神藏 二 珍々亭 齋丸  
 ○東海 栗毛ノ綱次島 二 芳 齋 齋丸  
 ○道中 芝 瓶 膝 栗 毛 二 藤 山 人  
 ○奇 白 痴 聞 集 一 威和亭鬼武  
 ○新版 誠七百物語 四 高 古 堂  
 ○茶 番 樂 屋 二 櫻川慈悲成

- 叶福助略縁記一 振鷺亭
- 穿常珍話一
- 近郷道中膝栗毛九 狂訓亭主人
- 心學穴さがし二 五返舎牛 泉齋
- 源女物語一 芳内新主 好序人
- 源中脚栗毛六 翠川子
- 瓶雀死出の旅立三 保一夜庵 貞齋
- 女膝栗毛三
- 松山道中膝栗毛六
- 千社參八 梅亭 金齋
- 滑稽田舎言葉三
- 勤善益身鏡二
- 滑稽三寶荒神六
- 戯貧福太平記三
- 滑稽水滸傳三
- 怪化百物語二
- 滑稽勝の綱六

- 滑稽出放題三
- 維司ヶ谷紀行後編王子紀行三 梅亭金齋
- 遊里教一 紫菊子
- 新形紺名紋帳一 木屑坊
- 秘事傳授爽一 寐言夢輔
- 忠臣藏道化縁起四 林至止 齋
- 貧窮合戦一
- 魚貝英記餅酒合戦一 芳房書
- 笑談貧福軍記七 一 荷堂半水
- 雜具魚讀切大合戦一
- 遊子娛言二 鶯蛙樓
- 滑稽五穀合戦記二 戲作舍鬼笑
- 至昔今惡滑稽酒取物語二 平亭銀鷄

○洒落本 一名こんにやく本

○寶曆年間

- 北異素六帖二 無々道人 寶曆七年
- 遊子方言一 田舎老人 多田齋 明和
- 聖遊廊一 同

○明和年間

この書洒落本の備をつくれりとの事は古來の諸書に散見する所なれど今傳はるものは再刊本にして出版の年月なし、予數年搜求せしも遂に徒勞に歸しぬ、今は諸説明和の刊行といふに一致すればこゝに載す、幸野若賦には此作者を丹波屋利兵衛なりといへど如何にや、因云此書以前既に異素六帖等あれど此書出て、大に世に行はれ

○惣己先生夜話一

明和五年

其趣味を發揮せしものなれば備をつくれりといひしものなるべし、洒落本に會話體と會話なきものあり、此書會話なきもの、庶幾人傳といふべし、因云此以前に會話なき洒落本めけるもの、庶幾人傳、感路醉裡等あれど皆半紙形にして八文字屋の流を汲めるものなればこゝに載せず

- 廊中奇譚一 珉白 岡先生 同 六年

- 辰巳の園一 夢中山人 同 七年

- 遊ふ多壽寄三 放蕩山人 同 八年

○安永年間

- 南閨雜話一 夢中散人 安永二年
- 婦美車紫麩一 蓬萊山人 同 三年
- 里の芋環評一 風來山人 同

- 寸南破良意一 南鏡堂一片 安永四年
- 青樓樂種一 同
- 甲釋新話一 風鈴山人 同
- 風流裸人形一 同 五年
- 聖遊傳は大阪洒落本の盗贗なるべしといへども、何處となく風俗、會話に江戸式の所あり、此書に至りては會話其他純粹の上  
方百葉にして上方趣味の冊中にあふるばかりなり
- 瓢金窟一 烏有先生 同
- 當世左様茶一 同
- 風俗問答一 隨羅山人 同
- 契國策一 同
- 廓中掃除一 福輪道人 同 六年
- 大通傳一 高慢齋 同
- 中洲雀一 道樂山人 同
- 娼妃地理記一 道他樓麻阿 同
- 明誠堂喜三二の假號なり
- 妓者呼子鳥一 田螺金魚 同
- 天明七年再刻版文題して妓者虎の巻といふ

- 極穴知鳥一 松壽軒東朝 安永六年
- 當世虎の巻一 田螺金魚 同 七年
- この書普通の洒落本と趣を異にし頗る後の人情本に類せり、よ  
りて思ふに後の人情本作家はこの書を標準とし、模倣せしもの  
か、因云此書は當時金貨島山檢校が瀬川を金にあかして無理根  
引にせし風説を綴りしものとて非常に行はれたりといふ
- 十八大通百千枕一 田水金魚 同
- 一名 契情買指所といふ、此作者田水、あれど、田螺の一時  
かく名乗りしものなるべし
- 一事千金一 田螺金魚 同
- 妓女皮肉論一 同 作同
- 廣街一寸間遊一 戲 笑同
- 大通秘密論一 夢中散人 同
- 伊賀越合羽籠一 蓬萊山人 同 八年
- 長命 ○四季物語一 同 作同
- 龍虎問答一 同 作同
- 花委花名寄一 柿本勝九 同
- 雜文穿袋一 朱樂管江 同
- 大低御覽一 同 作同

- 百安楚飛一時 雨庵 安永八年
- 品川八景一 同
- 女鬼産一 同
- 深川新話一 山手馬鹿人 同
- 無頼通説法一 杜選和尚 同
- 瀬川春町の假號にして殆も同筆なり
- 客者評判記一 談洲樓馬馬 同 九年
- 風俗砂拂傳一 隨松子 同
- 擲錢青樓占一 金ひら山人 同
- 初魚 京 同
- 芳深交話一 穴 好 同
- この書はめづらしくも芳町の野良の世界を寫せるものなり
- 色事指南所一 吉田錦江 同
- 美地の蠣殻一 蓬萊山人 同
- 玉菊燈籠辨一 南陀伽紫蘭 同
- 粹のたもと一 同

- 天明年間
- 舌講油通汚一 南陀伽紫蘭 天明元年
- 惠世物語一 止動堂馬吞 同
- 通仁枕言葉一 蓬萊山人 同
- にやんの事だ一 止動堂馬吞 同
- 眞女意題一 森羅萬象 同
- 通ふ神の講釋一 通野意氣 同
- 起原情語一 行 過 同
- 世界の幕なし一 本膳亭坪平 同
- 通人の寝言一 桃栗山人 同
- 馬馬の假號なり
- 世紙歌舞妓の華一 容陽 黛 同
- 富賀川拜見一 蓬萊山人 同
- こんたん手引草一 同
- 愚人居續借金一 蓬萊山人 同 三年
- 傾城智惠鏡一 雲樂山人 同
- 卯地臭意一 鐘木庵 同

○濟都酒美撰一 志水燕十 天明三年

○棠帆本紀一 島田金谷同

○通神三教色一 唐來三 慶和同

三和の傑作にして其初作なり、此書いたく行はれて再摺、三摺あり、又書名は空海の三教指歸をもちりたるものにして、當時の流行と見え、棠帆本紀の史記本紀よりとれる、和唐珍解の和銅珍開、古契三娘の虎溪三笑等其類多し

○遊婦里會談一 蓬萊山人 同

○殘坐訓一 鈍九齋章丸 同

○和唐珍解一 唐來三和 同 五年

○客衆水面鏡一 山東京傳

息子部屋巻末の廣告に先日出来とあり、又肝照子の序に先に水面鏡を著しとあれば京傳作洒落本の初作と思はるれど傳本稀にして捜索せしも遂に得ずよりて暫くここに候す

○息子部屋一 山東京傳 同

○客衆肝照子一 同 書作 同 六年

○福神粹語録一 萬象亭 同

○内所圖會一 小金あつ丸 同

○通言總離一 山東京傳 同 七年

京傳の傑作にして此作より洒落本作家として名高くなれり

○古契三娘一 山東京傳 天明七年

○田舎芝居一 萬象亭 同

○吉原楊枝一 山東京傳 同 八年

○一目土堤一 山東京傳 同

○浮世假宅夕口舌一 赤とんぼ 同

○北國五ッ雁金一 梅月堂棍人 同

○一向不通替善通一 甘露庵蜂滿 同

○傾城鱗二 山東京傳 同

○白川夜船一 山東京傳 同

○新造圖彙一 同 書作 同

○中洲の華美一 内田新好 同

○狂中廓の大帳一 山東京傳 同

○通義粹語傳一 同 書作 同

○南極驛路雀一 逸 同

○南極驛路雀一 逸 同

○南極驛路雀一 逸 同

○南極驛路雀一 逸 同

○假里擇一 蔦鳥堂 寛政元年

○雙床滿久羅一 山左手山人 同

○自惚鏡一 振鷺亭 同

○田舎談義一 竹京傳 同 二年

○繁千話一 山東京傳 同

○傾城買四十八手一 同 書作 同

○京傳豫誌一 同 書作 同

○格子戲語一 振鷺亭 同

○大磯風俗通一 松風亭如琴 同

○新話風俗通一 梅月堂棍人 同

○五ッ雁染枝五所敷一 同 同

○大通契語一 笹葉鈴成 同

○文選臥座一 狂糸、湖洲 同

○學通三客一 新秋、冬、好齋 同

○傾城眞の心一 同 同

○娼妓絹飾一 山東京傳 同 三年

○の世錦の裏一 同 書作 同

○仕懸文庫一 同 書作 同

寛政二年風致に書ありとて洒落本を禁せられしに、萬十のす、めにより以上三書を教訓讀本と稱し賣出せしに忽發覺し作者は手銀五十日板元行司等も夫々罰せられ三書は申に及ばず從來版行の洒落本悉く絶版を命せらる

○南品傀儡一 青海舍 寛政三年

○倡賣往來一 十返舎一九 同 五年

○北華通帖一 花 九 同 六年

○遊里不調法記一 礎音成 同

○三度うかれ草紙一 莊 鹿 同 九年

○來芝一代記三 同

○廓通遊子一 青松亭籃江 同

○十界和尚話五 酒屋橋子 同

○辰巳婦言一 式亭三馬 同 十年

○傾城買二筋道一 梅暮里谷峨 同

○傾城客物語一 式亭三馬 同 十一年

○手引 廓節用一 樂亭馬笑 寛政十二年  
 ○仲街 艶談一 三多樓 同  
 ○品川 楊枝一 芝晋交 同  
 ○筋道二編 廓の癖一 梅暮里谷峨 同  
 ○同 三編宵の程一 同 作 同  
 ○通 俗子一 昌平庵波橋 同十二年  
 ○松の 登妓話一 野鴨年 同  
 ○白 狐通一 梅暮里谷峨 同  
 ○鄭數可佳妓一 成三 丸 同  
 ○享和年間  
 ○惠比良之梅一 十返舎一九 享和元年  
 ○假廓 比翼紫一 宇田樂庵 丸 同  
 ○野郎 玉子一 自十返舎一 丸 同  
 ○夜話 色講釋一 同 作 同  
 ○甲子 夜話一 梅暮里谷峨 同  
 ○廓 の 櫻一 同 作 同  
 ○契情買中夢の汗一 同 作 同

○鶴岡花撰帳一 梅暮里谷峨 享和元年  
 ○句 五大力一 同 鹽屋艶二 同  
 ○狂言 狐竅入一 自十返舎一 丸 同 二年  
 ○奇談 内神一 同 書作 同  
 ○商 原談話一 同 作 同  
 ○青樓 松の裡一 同 書作 同  
 ○俗客其話 廓の意氣地 傳授の巻 同 書作 同  
 ○起 承轉合一 同 作 同  
 ○同 後編遊治郎一 同 作 同  
 ○吉原談 誰也行燈一 同 作 同  
 ○娼客 竅學問一 同 作 同  
 ○素見 數の子一 同 作 同  
 ○狐竅入 青樓日照雨一 同 作 同  
 ○後編 句囊一 鹽屋艶二 同  
 ○婦 足 臨一 子成三 同  
 ○青樓 日記一 白陽東漁 同

○夢の汗 妓情返夢解一 梅暮里谷峨 享和二年  
 ○甲子夜 話二編 意妃一 同 作 同  
 ○獨 稽古一 富人亭 同  
 ○魂膽 胡蝶枕一 著々樂山人 同  
 ○青樓 俟言解一 蘭奢亭薫 同  
 ○祇園 台焼燈藏一 同 作 同  
 ○青樓 玉子四角一 馬櫻庵 同 三年  
 ○文化年間  
 ○教訓 角力取草一 自十返舎一 丸 文化元年  
 ○傾城 買花角力一 自菊黄舎雲 同  
 ○花街 一文塊一金 太樓 同 四年  
 ○世廓 中掃持一 玉水館 同  
 ○寒紅梅 丑の日待二 振鷺亭 同 十三年  
 ○胡枝 離の花一 北鼻山 同 十四年  
 以上二書外形こそ洒落本なれ、内容は既に人情本の性質を帯び一轉して文政に至り人情本となりたるものなり

○離の花 廓の鶯一 白鼻山 文政元年  
 ○情のちまた一 道々亭馬鏡 同 三年  
 ○青樓 玉語言一 花山亭笑馬 同 五年  
 ○出版年代不詳部  
 ○太平 樂卷物一 天竺浪人 作  
 ○蛇脱 青大通一 同 作  
 ○柳巷 訛言一 明誠堂喜三三 作  
 ○浮世 四時一 紫蘭 作  
 ○月花 餘情一 戲笑 作  
 ○月花餘 陽臺遺編一 同 作  
 ○粹町 甲 閨一 山手馬鹿人 作  
 ○南樓 丸一 銅樂散人 作  
 ○華里 通商考一 遊里軒 作  
 ○大通店 於呂志一 閑言樂山人 作  
 ○世新 語茶一 馬鹿人 作  
 ○驛者 三友一 紀南子 作  
 ○馬糞 夜話一 同 作

○山下珍作一馬鹿人  
 ○道中粹語録一卷向 草菫作  
一名 變通輕井茶話  
 ○南客先生文集一卷春路 草菫  
 ○夜半夜濱一山東京傳  
 ○地者八景一同作  
 ○傾城買早學問一同作  
 ○青樓ほたて貝一同作  
 ○肥後財ます一同作  
 ○傾城友人の眞辭一同作  
以上の五種傳本ありやなしや詳ならず  
 ○女肆三人生醉一式亭三馬  
 ○辰巳船頭深話二四季山人  
 ○辰巳船頭部屋一猪牙山人  
四季山人、猪牙山人とも三島の假號なり  
 ○飯學問青樓女庭訓一十返舎一九  
 ○夜半の冷酒一同作

○見通し占一十返舎一九  
 ○秘事眞告一普穿山人  
 ○妣間秘言一  
 ○本草妓要二承露庵  
 ○二日醉大入盡一萬象亭  
 ○手管智恵鏡一志水燕十  
白拍子 誰が袖日記 春寶 嘉 英菫  
 ○遊客年々考一望時齋時中  
 ○肉道秘鍵一品動堂馬乘  
 ○東山意妓の口一振鷲亭  
 ○品川八景一同作  
 ○翁會我一同作  
翁會我 見通三世相 後編  
 ○市が榮ゆる除夜一同作  
 ○傾城人相鑑一同作  
 ○白無垢芳町櫻一同作  
 ○教品川海苔一關東米

○玉の蝶一關東米  
 ○客衆一華表一同作  
 ○取組手鑑一同作  
 ○金の和良路一山旭亭  
 ○手管五藏眼一同作  
 ○見通孔雀染動記一同作  
 ○青樓小袖  
 ○南門鼠一北紫色淡菫主  
この書非常に好評を博せしも直に絶版を命ぜられ、ついでに南門鼠跡を出せしも此度は不評なりといふ  
 ○南門鼠蹄一同菫作  
 ○嫖客三昧誌一鹽屋艶二  
 ○寄手家語一同作  
 ○嗜昔の茶殻一艶示樓  
紫色主、鹽屋艶二、艶示樓は同人なり  
 ○傾城傳授一梅暮里谷峨  
 ○契情買言告鳥一同作  
 ○傾城買猶の巻一遊里山人

遊里山人は谷峨の假號なり  
 ○岡目八目佳好鏡一小金厚丸  
 ○青樓夜闇明月一同作  
 ○の世仇手本一同作  
 ○任無仇手本一同作  
 ○仇手本通人藏一同作  
 ○後編通人藏一同作  
 ○東都廓膽鏡一同作  
 ○東都廓膽鏡一同作  
 ○茶番安名手本執心藏一同作  
 ○狂言安名手本執心藏一同作  
 ○同後篇一同作  
 ○廓中間話一強異軒  
 ○實情夜櫻一梅庭松亭  
 ○別の鐘一同作  
 ○面和俱嘶一遠櫻亭  
 ○成子綱一同作  
 ○餘情由佳里の月二鼻山  
 ○超娘花街雀一同作  
 ○契情肝粒志一同作  
 ○不粹照明房情記一

一名 大門雜形

○猶射羅子正徳馬鹿輔 與齒

この書曲亭馬琴門人くわいらしの序あり、くわいらしは馬琴の假説なるを以て此書を馬琴の作といふものあれど如何にや

○山嵐一北柳亭種彦

○錦雞帳一正月堂

○俗談諺種一塵塚夢成

○奇假根草一紅月樓

○新話角雛卵一月亭可笑

○通言東至船一富樂亭

○夕志語言一樂山子

○雜野路の多和言一樂山子

○浮華川容氣一南朝山人

○面美知之煙一豊里舟

○富が遠佳一豊里舟

○相合傘一桃猿舎犬雉

○吉原夜郎行燈一桃猿舎犬雉

○其アシカ一中橋

○良夜静搔一藍川

○面美多通身一廓通

○玄々經一鎮西翁

○名寄短歌一臍丸

○四ッの谷一曾滿人

○異見規矩一吳綾軒

○名所かゝみ一名隣

○多荷論一茶にし

○根津見衣一伍面

○音羽瀧一アマイタアン

○山下新談一アマイタアン

○公大無多言一春大公

○東四突當富魂短一西奴

○富岡八幡鐘一柿發齋

○契情實の巻一楚登美津

○同後編一滅法海

○百花評林一探花

○士橋嘉和美多理一擔柴樵夫

○奇談我糖袋一山東唐慶齋

○會我糖袋一松葉亭

○青樓眞廓誌一宇治茶筌

○甲驛夜の錦一醉醒水吉

○婦多津婦とん一醉醒水吉

○新話驛路花一玉川常水

○買花新驛一玉川常水

○吉原朝子一煙花浪子

○部屋三味線一

○奇談深淵情一

○讚極史一北三ほ齋彩齋

○喜夜來大根一春梨白散期齋

○遊仙窟烟の花一薄悻先生

○桃子戲語一大飯喰

○見番大平記一ナカキチ

再版本は中形二冊なり

○中洲花火一鳶鳥堂

○深川手習草紙一十方茂内

○品川呼子鳥一鷺馬

○鯉池全盛嘶一雲樂山人

○契情徳嘶一魚京

○南江驛話一比左古

○通人講釋一強異軒

○金錦三調傳一五猿

○新土地來毛布一辰狂

○多佳余宇辭一不埒

○當世貉の子一

○傾城極秘卷一無茶

○契情畫の世界一放蕩

○樂女好子一山蝶

○胡蝶夢一犬莊子

○廊中契語一朱樂管江

○飛美佳女顔一豊里舟



- 深彌滿於呂志一可鳴
- 傾城初嘯一百馬
- 柳巷三關笑一金箔
- 奇書繁禿筆一狂喋亭文丸
- 於見なめし一
- 酒の徒雅一ふいじ
- つゝれの錦一華山
- 論語丁一虛來先生
- 陽臺三略一錦華子
- 起原情語一蓬蕩
- 一目千軒一
- 雲井雙紙一
- 當世氣轉車一
- 南園新話三
- 傾城三部集三
- なまけもの一花月坊

京傳の繁千話、角鶴卵等を集めたるものなり

- 雨夜の嘯一鐘下亭一狐
- 奴通一堂駮
- 野夫鑑一東湖山人
- 通俗雲談一春鷹
- に丸山きどり一猿捨山人
- もみぢがり一南廓山人
- 花街風流解一大眼子作  
栗本いが丸補
- 夜慶話一嬉丸
- 魂膽情深川一
- 異夢卒爾屋一
- 新藝子洒戲一
- 北川蜆殼二二斗庵幸雄
- 秘事眞告一普穿山人

以上の三種は大阪の洒落本なり

### ○人情本

#### ○文政年間

- 清談峯、初花六十返舎一九文政二年
- 人世松操物語六一筆庵主人  
漢齋英泉齋同三年
- 玉散袖六鼻山人同四年
- 明烏發端三二世楚滿人  
漢齋英泉齋同五年
- 明烏後正夢初編三柳泉亭種正  
歌川廣重齋同五年
- 尾上契情意味張月六鼻山人同六年
- 明烏後正夢自二編三楚滿人、鯉文合作  
歌川直齋同七年
- 傾城蘭蝶記三鼻山人同
- 錦帶屋軒並娘八丈三二世楚滿人  
漢齋英泉齋同
- 契情七小町初三瀨齊英泉齋  
漢齋英泉齋同
- 櫻霜菊廼井草紙三楚滿人、國安齋  
英泉、國安齋同
- 於保呂月自三編九十返舎一九同

文政十二年完結初編より四編に至る

- 於保呂月四編三楚滿人 文政七年
- 早衣藤枝戀情、柵九楚滿人、駒人  
漢齋英泉齋同
- 拾妻雪古手屋初三楚滿人、泉齋  
漢齋英泉齋同
- 秋夕霧離物語三楚川亭調布作  
玉川亭調布作同
- 春宵三日月と仙六漢齋英泉齋  
漢齋英泉齋同八年
- 孝女時雨、袖九瀨齊英泉齋  
漢齋英泉齋同
- 風俗粹好傳六鼻山人同
- 契情肝粒志三鼻山人、政信齋  
鼻山人、政信齋同
- 蘆假寝物語九楚滿人、泉齋  
漢齋英泉齋同
- 當世虎之卷三金水校正  
魚作同九年
- 同後編六為水春水同
- 三人戀情穿語六楚滿人同
- 永明廓雜談九鼻山人同

洒落本の成の巻を中本となし其後を續けしものなり

○後傳立山 靈驗淨名瀧水三 勝川 春 齋 齋 文政九年  
 ○後傳花街雀六 鼻 山 人 同  
 ○後傳女今川十 泉 鼻 春 英 齋 齋 同  
 文政十一年終る、自初編至三編、初二は三冊、三は四冊  
 ○傾城胸中極秘傳三 葵 川 山 政 信 齋 同 十年  
 ○後傳紫草子三 同 作 同  
 ○後傳赤の繩三 英文 亨 綾 齋 齋 同  
 ○後傳珍說豹之卷六 葵 川 山 政 信 齋 齋 同  
 ○後傳磯訓松八 岩 井 桑 三 耶 同 十一年  
 ○後傳當世虎の尾櫻前三 葵 川 山 政 信 齋 齋 同  
 ○後傳谷中の月四 十字亭主人 同  
 ○後傳孝女二筋道初編六 葵 川 山 政 信 齋 齋 同 十二年  
 ○後傳教訓二筋道三 為 永 春 水 同  
 孝女二筋道は洒落本の契情三筋道初編を中本なせしものにし  
 て教訓二筋道は其後を續けしものなり、一名孝女二葉錦といふ

○後傳明島 靈覺經百二編六 柳 川 重 齋 齋 同  
 ○後傳松操物貞烈竹節談三 英 齋 齋 齋 同  
 ○後傳明島 靈覺經百三編六 柳 川 重 齋 齋 同  
 ○後傳昔語土手ノ編笠三 浮 世 山 芳 齋 齋 同  
 ○後傳人情女大學六 自 司 馬 山 齋 齋 同  
 ○後傳同 女小學六 泉 齋 齋 齋 同  
 ○後傳庭訓塵劫記九 花街櫻山人 同  
 ○後傳清談常盤色香四 笠 亭 仙 果 同 二年  
 ○後傳水縁奇遇三 管 垣 琴 彦 同  
 ○後傳小三 假名文章類節用九 曲 山 人 齋 齋 同  
 ○後傳春色梅曆三 狂 訓 亭 主 人 同 三年  
 ○後傳奇和可紫初編三 喜 久 平 山 人 齋 齋 同  
 ○後傳同 自 二 編 九 葵 川 山 政 信 齋 齋 同  
 ○後傳戀花染九 泉 齋 齋 齋 同  
 ○後傳春色辰巳園三 葵 川 山 政 信 齋 齋 同 四年  
 天保四年完結

○後傳戀若竹初編三 十 字 亭 三 九 合 作 天保四年  
 ○後傳人同心意氣三 鼻 山 人 同  
 ○後傳春色惠之花六 狂 訓 亭 主 人 同 五年  
 天保六年終  
 ○後傳貞操婦女八賢誌 自 初 編 三 國 直 永 春 水 同  
 天保十年に至る全部廿九冊、五編より弘化二年二世春水作  
 ○後傳言澤 春色合鏡九 鼻 山 人 同  
 天保八年終  
 ○後傳操形黃楊ノ小櫛九 十 返 舍 一 九 同  
 ○後傳いろの花物語六 同  
 ○後傳妙 塵 記 六 鼻 山 人 同  
 ○後傳奇談 浪花夢五 平 齋 齋 齋 同 六年  
 ○後傳伊達 錦 迺 桂 三 泉 齋 齋 齋 同  
 天保八年完結す  
 ○後傳貞孝 出世娘九 狂 訓 亭 主 人 同  
 ○後傳貞烈 園の花六 英 齋 齋 齋 同  
 天保十一年完結

○後傳秋色處女七種 自 初 編 三 國 直 永 春 水 同  
 ○後傳同 六 七 編 六 梅 齋 齋 齋 同  
 六七編は出版年代不詳なれば茲に附記す  
 ○後傳清談花可都美八 二 世 一 齋 齋 同  
 ○後傳春曉八幡鐘大 國 直 永 春 水 同  
 天保九年完結  
 ○後傳花廻志滿臺三 國 直 永 春 水 同  
 ○後傳戀若竹三編六 國 直 永 春 水 同  
 ○後傳正史 いろは文庫 五 齋 齋 齋 同  
 此冊子春水の名を署せど悉く二世春水の作なり自初編至十八  
 編、完結の年は申の年とあるのみにて、明ならず今書てを譽く  
 れば初編英泉、二編英一、三編英泉、四編英泉、五六七八編不  
 明、九十編無署名、十一編芳茂、十二編芳茂、十三編同上、十四、  
 五編不明、十六編芳茂、十七編不明、十八編芳茂、  
 ○後傳相見 其小唄戀紫三 英 齋 齋 齋 同  
 天保十年完結  
 ○後傳兩個 郭の花笠三 國 直 永 春 水 同  
 ○後傳名所 懷中曆九 狂 訓 亭 主 人 同  
 ○後傳春色 黃金菊三 國 直 永 春 水 同 八年

○梅曆 英對暖語 五 爲永春水 天保八年  
 ○拾遺 辰巳の月三 山東京傳作春水初 一編  
 ○新語 三 三文舍自樂 同  
 ○娘太平記操早引初編 三 同  
 ○同 二編 三 同 遺稿 同  
 ○春宵多佳年、花 三 松 亨 金 貞 水 同  
 ○後編 春色離、梅 五 國 爲 永 春 貞 水 同  
 ○春色戀志良波三 爲永春水 同  
 ○外傳 春色園、梅 三 同 作 同  
 ○春色 雪、梅 二 貞 爲 永 春 秀 雅 同  
 ○一刻 梅、 春 三 國 爲 永 春 直 水 同  
 ○千金 梅、 春 三 國 爲 永 春 直 水 同  
 ○祝井風呂時雨傘 九 英 同 泉 齋 同  
 ○春色物旭迺出 三 英 爲 永 春 一 齋 同  
 ○娛 色 の 糸 五 國 松 亨 金 直 水 同  
 ○末 摘 花 五 國 松 亨 金 直 水 同  
 天保十二年完結

○敦外 娘消息 初編 六 三文舍自樂 柳川 直 信 齋  
 此冊子原本年月を記さず  
 ○同 三四編 六 英 爲 永 春 一 齋 水 天保十年  
 ○同 柳 三 國 爲 永 春 貞 水 同  
 ○同 柳 三 國 爲 永 春 貞 水 同  
 ○清談 松之調 三 同 作 同  
 ○春色初若那 初編 六 英 狂 文 亨 春 一 齋 江 同  
 ○同 三篇 三 爲永春笑 同  
 ○同 四五篇 六 梅 亨 金 齋 同  
 右二書刊本の年代不明なりよりてこゝに附記す  
 ○春色 鶯日記 三 英 爲 永 春 一 齋 友 同十二年  
 ○錦 の 魚 九 貞 松 亨 金 直 水 同  
 天保十二年完結、一名風月花情錦魚傳貞秀齋  
 ○花 筐 五 國 松 亨 金 直 水 同十二年  
 ○餘情 由佳里、梅初編 三 爲永春水 同  
 ○同 二三編 六 泉 山 人 同  
 ○梅曆再開 春色花見舟 五 爲永春水 同  
 ○弘化年間

○貞操婦女八賢語 編 三 爲永春水 弘化二年  
 ○臘 月 花、 采 九 白 一 筆 庵 主 人 齋  
 ○嘉永年間  
 ○春花いろは藏 五 芳 松 亨 金 晴 齋 水 嘉永六年  
 ○安政年間  
 ○怪談 五十路譚 五 芳 松 國 梅 晴 齋 安政元年  
 ○天下 春、住 吉 九 芳 松 川 如 晴 齋 同 三年  
 ○茶屋 會我、昔語 三 松 亨 金 水 同 四年  
 ○文章 多滿智留袖 三 英 東 里 山 泉 齋 同  
 ○生死 女教訓 麗色俱 俱 其 倍 九 梅 國 梅 齋 同  
 ○女教訓 麗色俱 俱 其 倍 九 梅 國 梅 齋 同  
 ○同 四五編 六 芳 松 亨 金 晴 齋 同 五年  
 ○自糸 安矢女艸 三 芳 松 亨 金 晴 齋 同  
 ○主水 青樓心得草 一 蓬 萊 山 人 同  
 ○京傳作息子部屋其まゝの中本に改題せしのみ  
 ○所 緣 藤 波 六 英 二 世 一 九 泉 齋 同 六年  
 ○慶應年間  
 ○吉三 ふうじ文 三 芳 松 亨 金 晴 齋 同 慶應二年

○出版年代不詳部  
 ○吾妻 婦女八景 三 爲永春蝶 靜 齋 英 一  
 ○風流 小田春 三 爲永春水 歌川 國 直  
 天保六年版出世額を改題増補せしもの  
 ○春色袖の梅 五 同 作 溪 齋 英 泉  
 ○春色田家、花 五 同 作 歌川 國 直  
 ○春色初可須美 五 同 作 歌川 國 直  
 ○珍説 千代礎 三 同 作 歌川 芳 藤  
 ○春色淡の花 三 同 作 歌川 國 直  
 ○拾遺 港 の 月 九 松 亨 金 水 同 齋  
 ○花 籠 女 風 濤 賀 多 美 九 同 作 同 齋  
 ○同 庭 訓 女 風 濤 賀 多 美 九 同 作 同 齋  
 ○春色戀 浮身 九 同 作 歌川 芳 虎  
 ○黃鳥 探千代、初聲 二 六 同 作 歌川 芳 虎  
 三四編は山々亭有又作明治二年刊定結  
 ○秋色 絞朝顔 六 同 作 歌川 芳 藤  
 ○春色 小金、花 三 爲永春水 同  
 此冊子三編迄は山山人の題節用を其まゝ翻刻し三編より其續き  
 を加へたるものなり、安政四年に完結す

○田家 春雨日記三 爲永春水 溪齋英泉  
 ○光緒 玉うさぎ三 同 作 歌川國直  
 ○新話 春色霞紫三 同 作 同 畫  
 ○芳藻 丁子風呂三 同 作 同  
 ○玉川 日記五 同 作 同  
 ○拾遺 玉川六 同 作 同  
 ○風情 都秋雨六 同 作 同  
 ○奇選 花兄比翼三 同 作 同  
 ○拾遺 別傳 今様姿六 同 作 同  
 ○風月 難波三雨六 同 作 同  
 ○但百 田家時雨六 同 作 同  
 ○江月 鹿子湯鳥類六 同 作 同  
 ○看官 好六櫛六 同 作 同  
 ○花情 春の月六 同 作 同  
 ○深情 辰巳雪六 同 作 同  
 ○玉都 葉喜三 狂訓亭主人 歌川國直  
 ○八幡 遠春色辰巳梅九 爲永春水 歌川貞重

○梅野 春若草三 狂訓亭主人 歌川國直  
 ○遊山 錦の里五 同 作 同  
 ○戀の 柳枝若葉添竹六 爲永春水 歌川國直  
 ○文治 紅葉伊達染六 二世楚滿人 溪齋英泉  
 ○戀情 夜半雪六 同 作 同  
 ○園の 雪三勝艸紙六 同 作 同  
 ○松竹 梅三重盃六 同 作 同  
 ○同 拾遺六 爲永春水  
 ○花鳥 風月三編六 狂訓亭主人 國窩  
 ○同 三四編六 梅亭金鷲  
 ○かりの 婦美 爲永春水 龍齋鶯谷  
 ○春色 梅辻占九 爲永春水 龍齋鶯谷  
 ○女實 語敷六 爲永春水 龍齋鶯谷  
 ○秋雨 夜話九 丸屋かく子  
 ○春色 吾嬬春雨六 金龍山人 歌川國直  
 爲永春水已の寄進を多く賣らんが爲に婦女の名を用ひしといふ

○貞操 松の花五 松亭金水  
 ○春色 淀曙五 同 作 歌川芳盛  
 ○風情 嵯峨假寐三 同 作 歌川芳藤  
 ○伊賀 古述豪傑譚三 同 作 同 畫  
 ○廓か びみ六 鼻山人  
 ○孝婦 實花九 同 作 同  
 ○春色 廓鶯六 同 作 歌川國種  
 ○廓意 氣地二 同 作 同  
 ○恐 可誌六 東里山人 歌川國貞  
 ○おそめ 艶の油屋六 東里山人 丈  
 ○清談 若緑三 曲山人  
 ○手越 三人娘五 驛亭駒人  
 ○露月 妹背鳥六 爲永春雅 歌川芳綱  
 ○春色 月の梅初三 爲永春鶯 英一  
 ○同 二編三 爲永春笑 貞重  
 ○同 三編六 爲永春水 同 畫

○春色 月の梅五編六 爲永春水 英一  
 ○風流 色新粉三 爲永春笑 歌川國直  
 ○傾城 腹の巻六 東里山人 菱川政信  
 ○松竹 梅たけくらへ三 三亭春馬 歌川國貞  
 ○春秋 二季種三 同 作 同 畫  
 ○閑談 春の鶯九 墨川亭雪麿  
 ○の夜 三柳の横櫛五 梅亭金鷲  
 ○春色 野咲の花六 同 作 同  
 ○春宵 風見車九 同 作 同  
 ○歌舞 妓織糸の調九 葉亭行成  
 ○春色 連理の梅五 梅暮里谷 歌川貞秀  
 ○小栗 綱手車九 鶴亭秀賀 歌川芳春  
 ○増 春色江戶紫九 山々亭有人 綴 歌川芳虎  
 ○春情 濡小袖 談壽樓白園 歌川國景  
 ○貞操 津多加津羅 醉亭佳馬  
 ○好談 ふたもの松三 越路浦人

- 雅情 雪、夜鳥六狂 剛亭 歌川國直
- 葛蔓戀、花菱三平亭銀雞
- 仇競今様櫛九二世一九
- 春色濡乙鳥三旭亭鯉升英一
- 沖津白浪三鶴屋南北歌川國貞
- 假名手本擔、梅九
- 永代かゝみ六
- 尾花草紙六
- 春色桐一葉六
- 戀のなれ衣六
- 吾妻しぼり九
- 春色翁草六
- 春色美操車九
- 春色まゆみの花九
- 春色千代、初戀三
- 春色梅、隱家九
- 春色千代、石摺三

- 春色松の月六
- 戀の浮草七
- 春雨夜話六
- 娘かゝみ六
- 吾妻物語六
- 當世假名衣九
- 同更沙染九
- 露、尾花三
- 花の江戸櫛三
- 江戸紫十
- 神田雜談九
- かしく八重霞三
- 霞の紫十
- 人情松の魚十

○草雙紙

○行成表紙本

- 初庚申樂遊一 延寶七年
- 鼠年中行事一 同九年
- たからねずみ一 天和二年
- 桃太郎物語一
- 猿蟹物語一
- 赤小本
- 初春のいわひ 師 宜書 延寶六年
- 本手むぢなの殿時一
- 兔の手柄一
- たゝとる山のほしぎす
- 新龜 萬歳
- 京ひが ばけぎつね
- 大福長者富貴物語
- 古今名物寶づくし

○赤本

- 四季の 鬼遊
- 由來 鬼遊
- 日本 名人そろへ一
- 開山 名人そろへ一
- 枯木に めいよの翁三
- 花さく めいよの翁三
- 神大 ふるまい
- 三寶 船始
- 唐人のみかり
- 仙人づくし
- 日本馬ぞろへ
- 桃太郎一 藤田秀素書
- 金平武者修行一
- 猿蟹合戦一 西村重長書
- 花さき 爺おれの榮華二 奥村政信書
- 聖徳太子一 近藤清春書
- 化物合戦二 羽川珍重稿
- 目附 猿蟹合戦一
- 舌切雀一

- 花見鼠一
- 豆まき男一 奥村政信書
- 鼠嫁入二
- 鼠のゑんぐみ二 西村重信書
- 夕霧阿波鳴門一
- 鹽賣文太物語三
- 花さかせ爺一
- 黒木
- やすなものがたり一 鳥居清信書
- 蟹は金猿は茶一 鳥居清倍書
- 煙草戀中立二 同 書
- 狸々酒屋三 同 書
- 新男色鑑二 同 書
- 大峰櫻三 同 作
- 妖物十番斬三 同 作
- 伊達染重棲二 同 書

- 卯花重奥州合戦三 柳川桂子作
- 大昔新田磯貞屋十 鳥居清滿書
- 王子長者三 清山郡我作
- 助六二代政宗三 文調書
- 鬼熊退治二 山本義信書
- 諸願連理斬二 宮川房信書
- 鷹塚村二 同 書
- つものまる名劍二 同 書
- つわもの屋鋪二 同 書
- 富貴草三 同 書
- 蓬萊山二 同 書
- もりりつく松二 同 書
- 若惠比須吉例之釣初二 同 書
- 二面からどき草刈鎌二 同 書
- いさ不動三 同 書
- 坂田金平三 同 書

- 金の長者三 富川房信書
- 白井貞光二 同 書
- かすみの松三 同 書
- 堅田の龜二 同 書
- 鎌倉三代記二 同 書
- 鎌田又八二 同 書
- 鬼女物語三 同 書
- 熊阪こせきの松二 同 書
- 長範
- 源平はちかつき姫三 同 書
- 三本刀二 同 書
- 天目山一 富川吟雪書

吟雪は房信の改名なり

- 軍法伊澤硯二 同 書
- 其浦前懸渡月張月二 鳥居清經書
- 兵物語二 同 書
- 二ツ鷹の葉三 同 書
- 桃と酒二 同 書

- 新紫式部二
- 山入桃太郎二
- ゆりわが軍紀二
- 義興矢口の社三
- 吉野内裏三
- しゝろ谷物語二
- 島原傾城枕軍談三
- しわんぼら道無二
- 新仁心蟹物語二
- 雪中の竹の子二
- 曾我の矢の根二
- 大辨才天ととと二
- 武田信玄初軍二
- 中將姫物語二
- 妻戀稻荷物語二
- 七色保命丸二
- 化物三ツ目大ほうい二

- 風流采女物語三
- 渡邊綱物語二
- 朝比奈勇力鑑二
- 伊勢三郎物見松二
- あだ敵打出の小娘二
- 雨請小町名歌榮二
- 一 對 男二
- うはらの淵二
- 英勇物語三
- 繪本太平記十
- 大磯地藏咄二
- 大野長者二
- 増甲 陽 軍三
- 景清一代記三
- 敵打美女窟二
- 五たゝいそ二
- 醒の鳴神たへ海川水魚交二

- 小夜の中山二
- さよ姫望夫石二
- 猿 成 出 入二
- 執着胸緋櫻二
- 青本
- 作奴化物退治三 奥村利信書
- 盛景兩面鏡三 奥村政房書
- 忠臣節分儼二 觀水堂丈阿作
- 都鳥物語五 同 作
- 嵯峨物語二 同 作
- 獅子大王二 甚 四作
- 京橋戀の紅染二 和 居 清 滿書
- 楠末葉軍談三 同 作
- 四天王昔扇二 桂 子書作
- 浦島七世孫三 鳥居清重書
- 振袖 對面の琵琶三 鳥居清滿書
- 湯尾崎 男色太平記三 同 書

- 秀さと龍宮巡二 鳥居清滿書
- 天女 娜二代鉢木五 同 書
- 市原 臥夜黒牡丹三 同 書
- 鬼童 陰陽十二支記噺二 同 書
- 遠霞平安城三 同 書
- 朝比奈草摺實記二 宮川房信書
- 妖怪雪の段二 同 書
- 鶴の丸元服朝比奈二 同 書
- 化物とんだ茶釜二 同 書
- 蛭川新左衛門三 同 書
- 壇浦二人教經三 同 書
- 大磯虎車塚物語二 同 書
- 風流鬼に瘤二 同 書
- 化物見越入道始二 同 書
- 桃栗三平柿八兵衛二 同 書
- 猿廻春花婿三 同 書
- 化物一家髭女二 同 書

- 風流相生の盃二 宮川房信書
- 化物車ひき二 宮川吟雪書
- さのく 金比羅よし二 同 書
- 伊勢物語榮花枕二 同 書
- 振袖 辨 慶二 同 書
- くつかかけ峠三 同 書
- 角磨 威徳物語二 同 書
- 東邊木捺刀作三 同 房信書
- 妖物山人剛屋敷二 同 吟雪書
- 房信、吟雪は同人なり
- 玄敷 遠目鏡茂右衛門三 鳥居清經書
- 踏式 雪女瀬川結綿二 同 書
- 鉢かつき瀬振袖三 同 書
- 本草 春霞清玄風三 同 書
- 浮世宿替女將門三 同 書
- 大塔宮物語二 同 書
- 名將智勇の鋒二 鳥居清滿書

- 曲音妖物道成寺二
- 今やうばなし三
- 義經新高館二
- 今昔浦島噺三
- 阿部晴明一代記五
- 五百八十七曲二
- 香ひ袋二
- 京水染櫻五
- 源五平於瀬嫁納諏訪湖三
- おなつ清十郎契約石寶殿三
- 近江國大神物語三
- 野間内海古跡長田貝三
- 雛討女筆雲龍三
- 眞妻夫那都羅詮三
- 酒田金平備二
- 奥州山州潮籠川原院三
- 昔爺婆雀展二

- 白髮髮華婿二
- 見物左衛門二
- 殺生石水晶物語二
- 金胎仁王門礎三
- 風流女山岡三
- くさの枕二
- 源家重代友切九三
- 三千三百三
- 大内眞鳥二
- 四季土用干三
- 模紋自異怪談三
- 義經千本櫻二
- 太平春駒二
- 義經一代記十
- 源頼朝源義經古戰場盤懸松二
- 君臣鑑一
- 辨慶の誕生二

- 倭語會稽山五
- 鼠嫁入雛形二 富川吟雪書
- 惡魔除鐘馗勢三 同 書
- 上總木綿二 同 書
- 周防内侍二 鳥居清滿書

- 黄表紙
- 安永四年出版
- 艶道富士袴二 柳川桂子 鳥居清經
- 若緑色會我二 同 作 同 書
- 風流瀬川咄二 同 作 同 書
- 金々先生榮華夢二 戀川春町 自 書
- 春遊機嫌話二 同 作 自 書
- 一休和尙 悟乳柑子三 鳥居清滿
- 光明千矢前二 同 書
- 鞠祭望機腹鼓二 同 書
- 源氏重代劍宮居二 同 書
- 足柄山子持山姥 鳥居清經

從來の青本は主として妖怪、實録、合戦の趣を綴りしが、此書  
 いて、那那の趣向、當世標の滑稽的描寫いたく世に行はれ、  
 爾來趣向一變して滑稽を盡す事行はれたり、三馬の腹鼓年代記  
 に此書を名作二十三部の巻頭に置けり、世に黄表紙の祖といふ  
 も溢美の言にあらず



○佐藤鈴木 天晴梅武士 二	鳥居清經
○對兄弟	
○三人頑者直敵討 三	同 書
○新兒女智恵の海 二	同 書
○大福富突始 三	同 書
○武運 萬代矢口渡 二	同 書
○長之	
○初戀松竹梅 二	同 書
○六水車智恵筈 三	同 書
○義貞智仁勇 二	同 書
○養老 唐文章三笠の月 三	同 書
○名君矢口社 二	同 書
○朝比奈島渡 三	富川房信
○高名太平記 二	富川吟雪
○軍法伊澤硯 二	同 書
○多武峯爪黒笛 三	同 書
○木竹登こた交軍談 二	同 書

當時古版を再掲し、新版として發布する事行はる、この書も黒本を直せしものなり

○晴宗有明琵琶 二	富川吟雪
○風流はなし龜 二	同 書
○風流はなし鳥 二	同 書
○源家小鳥九三	
○再榮	
○鉦金紙 厨二	
○本朝世帯道具 二	
○四十七 忠臣風の穴蔵 二	
○七正	
○名月 吉原饅頭 二	
○外 善知鳥物語 二	
○富士淺間物語 五	
○風流物者附 二	
○安永五年出版	
○福笑惣領甚六 二	柳川桂子 鳥居清經
○今様女景清 三	同 書
○豊歳錢塚山來 二	同 書
○高慢齋行脚日記 三	戀川春町 自 書
三馬所撰名作二十三部の一なり	

○うとん 怪物大江山 二	戀川春町 自 書
○唐倭書傳鑑 三	同 書
○古今 其返報怪談 二	同 書
○新奥州古戦物語 三	米山鼎我 鳥居清經
○浮世風俠女敵討 三	同 書
○後三年松島八景 三	同 書
○風流友世車 二	同 書
○小兒 石部金吉 二	同 書
○木曾海道从義仲 三	同 書
○京土産五色唐織 二	同 書
○今 後家氣質 二	同 書
○流 上下の番附 二	同 書
○船軍源氏勝鬨 三	同 書
○本朝盆踊濫觴 三	同 書
○往古 桃と酒雀道成寺 二	同 書
○新今	
○江戸白使からくり屏風 二	同 書
○於としばなし 二	同 書

○御伽百物語 三	鳥居清經
○書集津盛話 二	同 書
○佐夜中山我身鐘 二	同 書
○菅原傳授手習鑑 五	同 書
○初笑福徳ばなし 二	同 書
○風流桃太郎手柄咄 二	同 書
○萬福長者玉 二	同 書
○名玉西海浪 二	同 書
○夜明茶吞嚙 二	同 書
○駿河伊達紙子笈捨松 三	同 書
○五郎 忠臣矢口渡 三	同 書
○石川五右衛門物語 二	同 書
○孝心女子鑑 二	同 書
○流 四角四面兵衛 三	同 書
○新田系圖梅 二	同 書
○風流化物鳴神 二	同 書
○天狗初庚申 二	北尾政美

○酒花鳥確蓮坊二

目錄には春町作とあり

○今吉原たんか二

○安永六年出版

○太平樂出世鉢木三 柳川桂子 鳥居清經

○蹄花十八公の英三 同 作同 書

○俗茂其後自髮公時三 同 作同 書

○往古昔猿の仇討 同 作同 書

○後日菅原鑑三 同 作同 書

○三升増鱗祖三 戀川春町 自 書

名作二十三部の内

○觀音三寶利生初竹三 米山鼎我 鳥居清經

○新板桃太郎一 袋入 明誠堂喜三二

藍摺表紙五丁物紫系綴にて黄表紙袋入の初なるべし

○親敵討腹鼓二 同 作戀川春町

○鼻峯高慢男二 同 作同 書

右二部も名作二十三部の内なり

○雙胎壽春袋三 明誠堂喜三二 鳥居清經

○南陀羅法師柿種二 同 作戀川春町

○珍献立會我二 同 作同 書

○桃太郎後日嘸二 同 作同 書

名作二十三部の内なり

○女嫌變豆男二 同 作同 書

○花見蹄鳴呼怪哉二 深川錦鱗 同 書

○下總國月屋千葉功三 鈴木吉洛 同 書

○妙見寺 同 遊自 書

○江戸鼻頁八百八丁二 蓬萊山人 同 書

○於竹大日利生記 同 作 書

喜左三門人婦人遊作とあれど實は喜三二の匿名なり

○妖怪代内評判記二 戀川春町

此書目錄には喜三二作春町書とあれど原本には二者の名なし、されど春町の筆意なるが故に假に春町書として載す

○附惡七總七兵衛 鳥居清滿

○伊藤館優美源氏冠羅形三 鳥居清經

○童子金父母三 同 書

○祝昆布君を松前二

○持遊太平記二 鳥居清經

○八百屋戀櫻操芝居 同 書

○四天王勇力傳二 同 書

○鎌討芭蕉花三 同 書

○龍源氏頼朝七騎落三 同 書

○其浦前戀濃月張月三 同 書

黒本直し

○甲子待座舖狂言三 同 書

○敵討嗚呼孝哉二 同 書

○孝人敵討垣衣摺二 同 書

嗚呼孝哉と同じ物なり再摺改題せしものなるべし

○上五つと二人の糸 同 書

○朝日山木會棧二 同 書

○花粧對兄弟三 同 書

○桃太郎かんの島三 富川吟雪

○大銀御存知荒事三

○手鞠色模倣三人娘 富川吟雪

○野末扇源氏二 同 書

○金平娘 同 書

○日待御利生此頃背話三 同 書

○三保狸の齋藥二 同 書

○猿利考浮世咄 鳥居清經

○出世名古屋 同 書

○新雨夜友二 同 書

○狐の馬乗出世壽三 同 書

○絹川堤請田の鏡三 同 書

○三徳源家長久三 同 書

○子寶勇士のみはへ三 同 書

○魚精里家夜位太平樂三 同 書

○相洲白旗社三 同 書

○風流なぞつくし一 同 書

○紅血缺血往古嘸二 同 書

○四天王石熊退治二  
○新買言葉二

當時落語非常に流行せしかば、黄表紙も其影響を受けて、それ等の趣向多く出てたり

○安永七年出版

○戀歌於萬紅二 柳川桂子 鳥居清經  
 ○筆累絹川堤 同 作同 書  
 ○三幅對紫會我三 戀川春町 自 書  
名作廿三部の内

○辭闘戰新根二 同 作自 書  
 ○芋太郎尻日記咄二 同 作自 書  
 ○間遠曲輪遊三 同 作自 書  
 ○蛭子大黒壯年過二 明誠堂喜三二 戀川春町 書  
 ○安永七郎犬福帳二 物忌齋於蓮 蘭徳齋春童 書  
 ○其數々酒の湊三 芳川友幸 自 書  
 ○大豆の助 松井實親方二 薪 菜湖龍齋

○黄金山福藏實記三 林 生 鳥居清經  
○七つの人似小武似 金 中 齋 勝川春章

○日照雨狐の嫁入二 市場通笑 鳥居清長  
○通身寐子の美女二 窪田俊満 自 書

○本田夢中の御利益三 吳 増 左 鳥居清經  
○善光夢中の御利益三

○青樓吉原はなし二 黒 蝶 亭  
○鈴鹿山鬼丸物語三 幾 久 鳥居清經

○手鞠歌三人長兵衛三 金 中 齋 勝川春章  
○吉原大黒扇二 金 花 鳥居清經

○お花 半七開帳利益札遊合二 北尾政演  
○山東京傳十八歳の初作なれども未だ京傳の名を用ひず

○吉原藝者會我 勝川春章  
○藤澤 熊坂傳記三 鳥居清經

○雷 臍 喰 金二 同 書  
○酒呑寶易占三 同 書

○堀出天保皮三 同 書  
○酒屋娘 吐染黄八丈 同 書

○玉屋新 夢中海原三 鳥居清經  
○大内 柳夫婦命二 同 書

○忠臣四十七文字三 同 書  
○名代千菓子山殿三 鳥居清長

○化物箱根先二 同 書  
○神田與吉一代噺三 同 書

○敵討昔今川 同 書  
○通人爲真似二 同 書

○金銀先生夢中印咄二 勝川春章  
○皆速先生 夢中印咄二 勝川春章

○市川 追善記二 湖 龍 齋  
○五粒 追善記二 湖 龍 齋

○大いす 目出度春二 谷 久 和  
○薄化粧七人美女 同 書

○觀世音 織助風初 同 書  
○御利生 織助風初 同 書

○敵討目貫獅子 同 書  
○於長右工門桂川嫌嘶二 同 書

○清盛 歡樂の日記三 同 書  
○入道 歡樂の日記三 同 書

○善光寺 傳來記二 同 書  
○御本尊 傳來記二 同 書

○豆男榮花春 鳥居清長  
○新版 梅の恵 顔二 同 書

○名玉里人談 同 書  
○鹿御靈清和源氏三 同 書

○怪談 夜行三 鳥居清長  
○安永八年出版

○嗚呼男四人與市三 柳川桂子 鳥居清經  
○卯花重奥洲合戦三 同 書

○昔扇金平骨二 同 書  
○右三部古版直し

○壽渡海物語 同 書  
○皿 屋 舗三 同 書

○楠無益委記 袋入戀川春町 自 書  
○名作廿三部の内、未來記の趣向大に當り、長生見度記、夫從以來記等此作を摸せしものも出てたり

○金々先生再寐夢三 同 作 自 書  
○案内手本通人藏二 明誠堂喜三二 戀川春町 書

忠臣藏の趣向大に行はれ、後忠臣藏の異作は皆之に倣ふ

- 興津原旭起那須野傳三 明誠堂喜三二 戀川春町
- 彈的東風俗三 文溪堂鼎我 鳥居清經  
自拍子お豊の傳にして當時世に喧傳せしにや洒落木、黄表紙に四五種あり、文溪堂は米山鼎我の號なり
- 怪談豆人形二 同 作 同 書
- 毬唄雉の御山三 同 作 同 書
- とんだ 世界金平異國巡三 吳 増 左 同 書
- 御物好薄雪染三 同 作 同 書
- 初夢富士高根二 同 作 同 書
- 檜城繁陸 浮世者列官三 同 作 同 書
- 神力 蟻通本地三 文 溪 堂 同 書
- 親父否早學問二 物愚齋於蓮 勝川春童 作 同 書
- 敵討鞍馬天狗二 同 作 同 書
- 曲輪雀大通先生三 金 中 齋 同 書
- 虚百瀬次郎檜城誠三 市場通笑 鳥居清長 作 同 書
- 桃太郎元服姿二 同 作 同 書
- 懸直なし正直斬三 同 作 同 書

- かみく籠中鳥三 市場通笑
- 大通人穴扒三 同 作 鳥居清長
- 其數々酒癖二 同 作 同 書
- 今ハ昔曾我ノ面影三 伊庭可笑 戀川春町
- 姉ハ廿一妹ノ戀婿二 同 作 鳥居清長
- 東都見物左衛門二 松 壺 舍 北 川
- 大強化羅敷 白 馬 北尾政演
- 心の 鬼二
- 廓花扇ノ觀世水 袋入 明誠堂喜三二 北尾政演  
天明元年巡開扇花と改題して青本三冊として發兌す、當時袋入の冊子にして當りし者は翌年改題青本として再新版とす
- 東姫アベノカキゴ 四姫 天童若神子 三 鳥居清經
- 露 明顔姫物語三 同 同 書
- 隅田川梅若物語三 同 同 書
- 教訓 譬ノ幸二 同 同 書
- 七人藝浮世將門二 同 同 書

- 三歳縁珠數暫 袋入 湖 龍 齋
- ころは短歌一 袋入 鳥居清長
- 心能春雨嘶二 鳥居清長
- 青いきちよんく 北尾政演
- 歸咲後日花 同 同 書
- 日東國三曲鼎二 同 同 書
- 名取菊黄白長者三 同 同 書
- 安房ノ洲里見合戦三 右四部作者なし、恐らく改題諸作なるべし
- 仇競夢の浮橋二 新内節を草双紙にせし初めならんといふ
- 大中黒名香ノ勝凱二 同 同 書
- 御伽太平記十 同 同 書
- 廓嘶晦日月三 田鱈金魚の契情買戻の巻大に當りしかば、夫を模倣して草双紙になせしものなり
- 七福神親方三 同 同 書

- 腹京師食物合戦二
- 甚三紅絹由来三 袋入 藍工の名はしるさゞれと確に春町の號なり、
- 安永九年版
- 鎌倉山紅葉浮名三 文溪堂鼎我 鳥居清長
- 十二支桃太郎二 同 作 北尾三三郎
- 鐘入七人化粧 一 明誠堂喜三二 北尾重政  
名作廿三部の内、大當にて翌年流芝柳黒髪と改題青本三冊として出せり
- 龍ノ都四國ノ噂三 明誠堂喜三二
- 大通問違會我三 同 作 北尾重政
- 野黄の穴扒二 市場通美 鳥居清長
- 親父布子齋握三 同 作 同 書
- 浦島二度目ノ龍宮二 同 作 同 書
- 憎口返答返し二 同 作 同 書
- 傾城買三略卷三 同 作 同 書
- 三世左右大雜書 同 作 同 書
- 諸事米ノ飯三 同 作 鳥居清長

○大通人好記六市場通笑  
 ○近頃鳥巡リ三同 作鳥居清長  
 ○珍説女天狗二同 作同 書  
 ○津以會無弟<sup>ツインナ</sup>甚六三同 作同 書  
 ○借<sup>カ</sup>化<sup>カ</sup>狐<sup>カ</sup>通人二伊庭可笑同 書  
 ○胎<sup>タ</sup>天和<sup>タ</sup>尙<sup>タ</sup>精<sup>タ</sup>川<sup>タ</sup>物語三同 作同 書  
 ○念<sup>ネ</sup>佛<sup>ネ</sup>功<sup>ネ</sup>力<sup>ネ</sup>金<sup>ネ</sup>平<sup>ネ</sup>二一竹達竹自 書  
 ○大<sup>オ</sup>き<sup>オ</sup>に<sup>オ</sup>お<sup>オ</sup>せ<sup>オ</sup>わ<sup>オ</sup>た<sup>オ</sup>金<sup>オ</sup>々<sup>オ</sup>金<sup>オ</sup>平<sup>オ</sup>二松泉堂北川豊章 書  
 ○藝者呼子鳥二松泉堂北川豊章 書  
 ○娘敵討古郷錦三北尾政演 書  
 ○伊<sup>イ</sup>豆<sup>イ</sup>温泉縁起三鳥居清經 書  
 ○笑話<sup>ウタガハシ</sup>お<sup>ウ</sup>臍<sup>ウ</sup>茶<sup>ウ</sup>三<sup>ウ</sup>臍<sup>ウ</sup>下<sup>ウ</sup>逸人北尾政演 書  
 ○臍下逸人は政演(後に京傳)の匿名なりといふ  
 ○虚言八百萬八傳二四方屋本太郎鳥居清經 書  
 ○名作二十三部ノ内  
 ○時花<sup>トキハナ</sup>今<sup>イマ</sup>鶺鴒<sup>セセリ</sup>茶<sup>チヤ</sup>會<sup>カヒ</sup>我<sup>ガ</sup>三芝全交北尾重政 書  
 ○酒<sup>サケ</sup>腹<sup>ハラ</sup>中能同志二少嬪堂鳥居清長 書  
 ○大通其面影二常盤松同 書

○通路三國誌三四國子鳥居清長 書  
 ○飛間<sup>トビマ</sup>遠矢口噓二伊庭可笑同 書  
 ○銀世界豊年鉢木二物愚齋於運關牛齋秋童 書  
 ○<sup>彈多</sup>空音本調子三窪田俊滿北尾政美 書  
 ○夜野中狐物二王子風車北尾政演 書  
 ○<sup>洞山太</sup>龍宮卷三窪田春滿北尾三三郎 書  
 ○<sup>那兵衛</sup>龍宮卷三窪田春滿北尾三三郎 書  
 ○甚孝記二<sup>桃栗山人</sup>自 書  
 ○山能主我獨二木 鷄 北尾政美 書  
 ○通者云此事三北尾政演 書  
 ○遊人三幅對二同 書  
 ○菓物見立御世話二同 書  
 ○<sup>四五兵衛</sup>燒餅咄二同 書  
 ○<sup>おぼ</sup>い<sup>おぼ</sup>焼餅咄二同 書  
 ○<sup>扇屋かなめ</sup>米飯頭之始二同 書  
 ○<sup>傘屋六兵衛</sup>米飯頭之始二同 書  
 ○運附孫左衛門咄三同 書  
 ○顏而知勸善懲惡三勝川春章 書  
 ○桃太郎寶噺三北尾三三郎 書  
 ○頓作時雨月三鳥居清長 書

○東育<sup>トウイク</sup>江戶<sup>エド</sup>花<sup>ハナ</sup>三鳥居清長 書  
 ○千秋樂鼠嫁入二同 書  
 ○今様喜還城二同 書  
 ○新狂言梅姿三勝川春章 書  
 ○大通一寸廓茶番三同 書  
 ○<sup>落</sup>茶<sup>チヤ</sup>吞<sup>ツク</sup>友<sup>トモ</sup>達<sup>ダチ</sup>三北尾三三郎 書  
 ○<sup>落</sup>模<sup>モ</sup>樣<sup>ヤウ</sup>會<sup>カヒ</sup>我<sup>ガ</sup>雛<sup>ヒナ</sup>形<sup>カタル</sup>三北尾政演 書  
 ○通人三極志三勝川春旭 書  
 ○青樓<sup>アヲ</sup>三ッ<sup>アヲ</sup>蒲團<sup>アヲ</sup>五勝川春好 書  
 ○世の噂花師匠二勝川春旭 書  
 ○威氣<sup>イキ</sup>千代<sup>チヨ</sup>車<sup>クルマ</sup>物語<sup>モノガタリ</sup>二二  
 ○<sup>伊達</sup>見立<sup>ミダテ</sup>蓬<sup>フキ</sup>菜<sup>ナ</sup>二二  
 ○一<sup>伊達</sup>生<sup>ナマ</sup>德<sup>トク</sup>兵衛<sup>ヘイエイ</sup>三傳<sup>デン</sup>三三  
 ○い<sup>イ</sup>ろ<sup>イ</sup>は<sup>ハ</sup>歌<sup>カ</sup>  
 ○振袖近江八景三  
 ○口合はなし目貫三  
 ○夏祭其翌年三

○古今吉原嘶袋入  
 ○山谷通伏猪之床三  
 ○<sup>洒落</sup>模<sup>モ</sup>樣<sup>ヤウ</sup>飛<sup>トビ</sup>羽<sup>ハ</sup>衣<sup>イ</sup>三  
 ○<sup>白井</sup>比<sup>ヒ</sup>翼<sup>ツバ</sup>塚<sup>ツカ</sup>一  
 ○山入鼠桃太郎  
 ○天明元年出版  
 ○<sup>圓通</sup>花<sup>ハナ</sup>三<sup>明誠堂喜三三</sup>北尾政演 書  
 ○安永八年の噂花觀世水の改題新版なり  
 ○<sup>鳥子</sup>一粒<sup>イチリツ</sup>萬<sup>マン</sup>金<sup>キン</sup>丹<sup>タン</sup>二同 作同 書  
 ○<sup>鳥子</sup>渡<sup>ワタリ</sup>返<sup>ヘン</sup>青<sup>アヲ</sup>柳<sup>ヤナギ</sup>黒<sup>クロ</sup>髮<sup>ヘ</sup>三同 作北尾重政 書  
 ○安永九年版録入七人化粧の改題新版なり  
 ○<sup>安永</sup>見<sup>ミ</sup>立<sup>ダテ</sup>蓬<sup>フキ</sup>菜<sup>ナ</sup>三同 作同 書  
 ○異國封印の洗濯袋入市場通笑 作北尾政美 書  
 ○<sup>運附</sup>太<sup>タ</sup>郎<sup>ロウ</sup>左<sup>サ</sup>衛<sup>エイ</sup>門<sup>モン</sup>咄<sup>ダウト</sup>三同 作鳥居清長 書  
 ○<sup>那</sup>耶<sup>ヤ</sup>夢<sup>ユメ</sup>濃<sup>ノ</sup>枕<sup>マクら</sup>三同 作同 書  
 ○<sup>かみ</sup>内<sup>ウチ</sup>に<sup>ニ</sup>か<sup>カ</sup>盤<sup>イタ</sup>牛<sup>ウシ</sup>房<sup>フ</sup>狭<sup>ヒ</sup>多<sup>タ</sup>三同 作同 書  
 ○鳥行水滸種三同 作同 書

○おさな 敵討魚名御三 市場通笑 北尾政演  
 ○兄弟 敵討魚名御三 市場通笑 北尾政演  
 ○知多不 御代之御寶袋入 同 作 鳥居清長  
 ○狸諺もち は餅屋三 同 作 北尾政美  
 ○女郎買糖味噌汁三 同 作 同 畫  
 ○大通 狎の嫁入二 同 作 鳥居清長  
 ○鶴龜見向雨 同 作 同  
 ○常々 草三 同 作 鳥居清長  
 ○突渡最早惠來榮三 同 作 鳥居清長  
 ○化物 鼻挫二 同 作 同 畫  
 ○間違月夜鍋二 同 作 同 畫  
 ○朝北奈唐子遊三 伊庭可笑 同 畫  
 ○田鼠 鶴白拍子二 同 作 北尾政演  
 ○東都 大津名物二 同 作 同 畫  
 ○紙屑身上斬三 同 作 鳥居清長  
 ○敵討駿河花三 同 作 北尾政演  
 ○茶釜 毛生太郎月三 同 作 鳥居清長  
 ○古實家七加減三 同 作 同 畫

○おめて 古呂利山椒味噌三 伊庭可笑 鳥居清長  
 ○外には 極通人由來二 同 作 同 畫  
 ○七福人大通天 同 作 北尾政演  
 ○化物箱入娘二 同 作 鳥居清長  
 ○初夢寶山吹色三 同 作 北尾政美  
 ○紅皿缺血奥洲斬三 同 作 鳥居清長  
 ○福夢想大黒銀三 同 作 北尾政演  
 ○物世繼鉢木五 同 作 鳥居清長  
 ○交雜講釋五 同 作 北尾重政  
 ○南洲遊客故事附太平記三 南陀伽紫蘭 北尾政演  
 ○南出見世吉原三 同 作 北尾政美  
 ○南陀伽紫蘭は宿田俊満の戯説なり  
 ○針程事抄程目鏡二 同 作 自 畫  
 ○年始御禮帳二 四方屋本太郎 千代女  
 ○本姓有難通一字 是和 齋 北尾政演  
 ○是和齋は北齋の假説なりといふ  
 ○大違寶船三 芝 全 交 北尾重政  
 名作二十三部の内

○富士屋 煙籠夢原橋 三 芝 全 交 北尾政美  
 ○淺間屋 煙籠夢原橋 三 芝 全 交 北尾政美  
 ○當世大通佛開帳三 同 作 北尾重政  
 ○通一聲女暫三 同 作 同 畫  
 名作二十三部の内

○敵討壬生寺望月三 同 作 北尾政美  
 ○落菊 壽 盃二 同 作 同 畫  
 ○桃太郎一代記五 同 作 同 畫  
 ○山本喜内天狗囃二 同 作 同 畫  
 ○通増安宅關二 同 作 鳥居清長  
 ○振袖江戸紫三 同 作 勝川春常  
 ○目出九し粉尾鼠 同 作 鳥居清長  
 ○今様 走書淺草馬二 同 作 鳥居清長  
 ○縁起 走書淺草馬二 同 作 鳥居清長  
 ○久知免登里二 同 作 北尾政演  
 ○家内手本町人藏袋入 在原艶美 北尾政演  
 ○七笑顔當世姿三 同 作 同 畫  
 ○天明二年版

○交古世むかし噺二 同 作 鳥居清長  
 ○通人いろは短歌袋入 同 作 北尾政演  
 ○雀敵 冷水灰毛猫二 同 作 鳥居清長  
 ○一代記 吉原傳授仕習儀三 同 作 北尾重政  
 ○其後 瓢箪物二 王子風車 北尾政演  
 ○大通故事附會我 當 世 子 北尾政演  
 ○白拍子富民靜鼓二 南 道 笑 北尾政美  
 ○保邊登短歌三 同 作 北尾政美  
 ○化物二世物語二 志水燕十 作 喜多川歌麿  
 ○身親大通神事縁起袋入 同 作 喜多川歌麿  
 ○不慮 世之助はなし三 龜 遊 女 鳥居清長  
 ○縁組連理三 同 作 北尾政美  
 ○鬼の子たから三 同 作 鳥居清長

○何處の形 難形意氣真顔三 戀川春町 自 畫  
 ○染直飛色會我三 明誠堂喜三三 戀川春町 自 畫  
 ○春狂言 恒例問途會我三 同 作 同 畫  
 ○春狂言 恒例問途會我三 同 作 同 畫

- 家傳壽命藥袋入市場通笑 北尾重政
- 教訓蚊の咒三同 作北尾政演
- ない金時曾我袋入同 作鳥居清長
- 御代參牛の時詣三同 作同
- 舌切雀三の切二同 作同
- 花の上手談義四同 作同
- 當世菊壽の語 同 作同
- 長生虎之卷三同 作同
- しる御子繪 猫嫁入二同 作同
- 御忍に付 同 作同
- 豆男江戸見物三同 作同
- 阿部見通占三同 作同
- 昔々岡崎女郎衆三同 作同
- はんじ物や 蟲遊紋所二同 作北尾政美
- ら地口やら 同 作北尾政演
- 談芭 蕪譽詞三同 作北尾重政
- 十二支大通話袋入金 中 齊勝川春章
- 寫昔 通風伊勢物語三 窪田俊滿 鳥居清長
- 藝者五人娘二 伊庭可笑同 書

- 唐土魂石千屋繁昌三 伊庭可笑 鳥居清長
- 日本住 多敷寄砂三同 作同
- 樂和宮 同 作同
- 地獄沙汰金次第二同 作同
- 珍説雷婚禮二同 作同
- 昔嘶盧言桃太郎三同 作同
- 敵討染分手綱三同 作北尾重政
- 祝増福壽相三同 作北尾政美
- 七福神大通傳二同 作同
- 落 嘶袋入四方山人 作同
- 櫻のたり五郎兵衛商賈三 南陀伽紫蘭 北尾政演
- 花が見吉野山來三同 作同
- たぐは 同 作同
- 手前御存知商賈物三 山東京傳自 書
- 此冊子の外題に初めて京傳作と署名す、卷末は北尾政演書作とあり、四方山人の岡目八目(草雙紙評判記)に巻頭に擧げられ、れより名を發す
- 四天王大通仕立二 是和 齋勝川春朗
- 鎌倉通臣傳二 魚 佛同 書

是和齊、魚佛共に衝工北齊の假號なりといふ、春朗は北齊の前名なり

- 金涌物壬歳三 芝 全 交 北尾重政
- 風雷神天狗落種二 同 作北尾政美
- 竹原神歌再評判 在原 艶美 北尾政演
- 尾上梅幸 再評判 宇三 太 北尾重政
- 櫻川三升 同 櫻川杜芳 北尾政演
- 故事附千本花王 同 作同
- 擲打鼻上野三 同 作勝川國信
- 敵討梅と櫻三 豐里 舟鳥居清長
- 道樂 早出 來三 同 作同
- 世界 早出 來三 無 軒 北尾政美
- 通神九からふね三 瓢 露 露
- 都加茂川 佐夢想醒所 三 辛井山椒 勝川春章
- 天竺 花珍奴茶屋三 三 辛井山椒 勝川春章
- 息子株毛 鹿帽三 風 物鳥居清長
- 飯嫌女者同斷何二 古 風 北尾政美
- 岩井杜若 大阪土産 萬 象 亭 勝川春英

- 落福笑玉手箱袋入
- 下戸上戸いろは短歌同
- 助六利生はなま三
- 隅田川土手の背柳三
- 名響鐘、龍頭二
- 化物通言の寐言二
- 通人癖物語
- 蜀魂三津啼
- 化物會我物語
- 天明三年出版
- 悪板正直會我三 戀川春町 自 書
- 金山寺大黒傳記三 同 作自 書
- 廓、篋費字盡三 同 作自 書
- 八景の入りか 猿登遠昔三 同 作自 書
- 節季夜行三 同 作自 書
- 通言神代卷三 同 作自 書
- 吉原大通會三 同 作自 書
- 落福笑玉手箱袋入 北尾重政
- 下戸上戸いろは短歌同 北尾政美
- 助六利生はなま三 同 書
- 隅田川土手の背柳三 同 書
- 名響鐘、龍頭二 同 書
- 化物通言の寐言二 同 書
- 通人癖物語 鳥居清長
- 蜀魂三津啼 勝川春章
- 化物會我物語 勝川春章

- 大天正 野暮親王 撰歎大和切三 明誠堂喜三二 北尾重政
- 昔時通人 三太郎天上一 同 作同 書
- 長生見度記三 同 作戀川春町
- 野暮大臣南廓遊二 文 溪 堂 勝川春潮
- 龜屋萬年浦島ノ榮二 深川錦麟 戀川春町
- 戀名用文章二 同 作同 書
- 寶船福之正夢二 戀川春町 自 書
- 仇名草伊達を下谷三 南陀伽紫蘭 北尾政演
- 本所二十四孝三 市場通笑 同 書
- 富貴 牡丹餅棚有三 同 作北尾政美
- 新天 年 咄三 同 作同 書
- 願ほとさ小豆餅二 同 作同 書
- 大食壽命爲三 同 作同 書
- 七夕姫戀玉章 同 作同 書
- 文月さけ煙 同 作同 書

外題には春町作とせり、原本見れば知らず

- 間違狐の女郎買二 市場通笑 鳥居清長
- ないぞ金持曾我袋入 同 作同 書
- 縦筒放唐ノ嘶三 同 作同 書
- 教訓不仕候 同 作

通笑の作多く教訓的なるより教訓の通笑と譯名せしといふ、此作はそれを洒落たるなり

- 現金猿が餅二 同 作北尾重政
- 能息子内ノ榮三 同 作同 書
- 筑波 二人孝行三 同 作同 書
- 最々古和以嘶二 同 作北尾政美
- 諸事此様物三 同 作
- 千里走虎の子欲二 同 作鳥居清長
- 化物仲間別二 伊庭可笑 北尾重政
- 御先癖下手横好三 同 作北尾政美
- 早速具三右衛門三 同 作同 書
- 通人 寶 盡三 同 作
- 料理 頭天々口有 三四方山人 勝川春潮

- 種風小 野之助 角力二 四方山人 勝川春潮
- 返々目出度春參三 同 作同 書
- 壽鹽商婚禮二 同 作北尾政美
- 源平總勘定三 同 作北川歌麿
- 右通 啞多雁取帳三 奈蔭野馬鹿人 同 書
- 混雜武者くしゃ咄三 芝 全 交北尾政演
- 珍茶羅毛通人三 同 作鳥居清長
- 鐘は上野哉 山東京傳 自 書
- 客 人 女郎 同 作自 書
- 難波の通人 鴻の者雄二 芝 全 交北尾政演
- 江月の野暮 草双紙年代記二 櫻川杜芳 同 書
- 通 春 歳 且 開三 同 作同 書
- 新例矢口之渡三 同 作同 書
- 仲の町晝見草三 同 作北尾政美
- 放本 日本多左衛門三 同 作北尾政演

三馬作の神史歴代記はこれを撰せしものなり

- 年中故事附録三 櫻川杜芳
- 三升圓 能き、升二 同 作北尾政美
- 市川三升圓後編二 同 作北尾政演
- 飛田高慢はなし三 豐 里 舟 鳥居清長
- 舞詠草紙の曙三 同 作同 書
- かんなんの夢枕二 同 作同 書
- 讀と歌通の一字二 業平艶美 北尾政美
- 千歳 御舟の吉例二 與の東雲齋 同 書
- 萬歳 華都末廣扇 無中點作 勝川春道
- 遊君 是男度比女 鎌 好
- 敵討三味線由來三 南仙笑楚滿人 北尾政美
- 新錢戲樂通寶二 同 作同 書
- 櫻草野邊錦三 六樹園飯盛 勝川春林
- 客坊客寝取二 隣 生 戀川春町

岸田杜芳とあるも櫻川と同人なり

在平艶美と同人なり



○立歸猿人真似三 蝸牛坊屯卜  
 ○金平仕合奈孝行三 春 卯  
 ○紅葉雛形 雀千聲  
 ○能魂膽氣三 四方山人門人 杜 勝川春林  
 ○吾妻花妓女鑑  
 ○天の川  
 ○卯來夜の夢 北尾政美  
 ○落嘶玉の春二  
 ○化物山加羅佐登二 北尾政美  
 ○咸陽宮通約束二 勝川春朗  
 ○兄弟大通榮二 北尾政美  
 ○御無文字片齋嘶二 同 書  
 ○作意妖恐懼感心三 同 書  
 ○下總國八幡不知三  
 ○姿見淺茅原二  
 ○鶴千歲 雛長壽謂  
 ○通人講釋

○今開花の御帳三  
 ○天明四年出版  
 ○吉備能日本智惠三 戀川春町 自 書  
 ○其昔龍神嘶二 同 作 自 書  
 ○萬歲集狂歌來歷二 同 作 自 書  
 ○太平記萬八講釋三 明誠堂喜三二 北尾重政  
 ○飲中八人前三 市場通笑 鳥居清長  
 ○骨髓芝居好二 同 作 勝川春英  
 ○忠臣藏十二段目二 同 作 同 書  
 ○諸事世話無會我二 同 作 北尾政美  
 ○正說河童咒三 同 作 北尾重政  
 ○怪物晝夜厨二 同 作 鳥居清長  
 ○遊書草紙二 喜三 二種 喜多川歌麿  
 ○天慶和句文二 山東京傳 自 書  
 ○不案配即席料理三 同 作 自 書  
 ○惡癖莫言穴三 市場通笑

○料理献立頂邊香有二 四方山人 勝川春潮  
 ○堀原二度の賭三 同 作 喜多川歌麿  
 ○源平勘定の改題  
 ○漢國此奴和日本二 同 作 北尾政美  
 ○新親動性桃太郎三 芝 全 交 鳥居清長  
 ○閑羅三茶替三 同 作 北尾重政  
 ○跡目論嘘實記三 櫻川杜芳 北尾政演  
 ○狂言好野暮大名三 同 作 北尾政美  
 ○夫従以來肥三 竹杖爲輕 喜多川歌麿  
 ○名作二十三部の内爲輕に萬象亭の狂名なり  
 ○萬象亭戲作濫觴三 同 作 北尾政美  
 ○嘘無賊一卷二 同 作 北尾政演  
 ○全盛大通記三 櫻川杜芳 同 書  
 ○化物家、髭松明二 南仙笑楚滿人 北尾重政  
 ○大後智惠親玉三 古川三蝶 自 書  
 ○生中夢 齋御夢想妙樂二 同 作 自 書  
 ○天光地潛地探 同 作 自 書

○談々花似 當年秋而八代目橋太郎三 古川三蝶 自 書  
 ○混雜不通太傳記三 幾治茂内 勝川春旭  
 ○化物七段目二 同 作 鳥居清長  
 ○観伽羅久里義經出入三 同 作 勝川春朗  
 ○髮手本通人藏三 里 山 北尾政美  
 ○鞍馬天狗三略卷三 邦 杏 李 勝川春道  
 ○當世諺問答 同 作  
 ○末世雖不通太傳記二 同 作 勝川春朗  
 ○八橋調能流三 南仙笑楚滿人 北尾政美  
 ○三ヶ通金持容氣三 二本坊鶴志藝 同 書  
 ○馬鹿那水犬傳二 同 作 同 書  
 ○新米提薩業 同 作  
 ○花春出世十二支 同 作 勝川春道  
 ○天國三國一大通本地二 飛田琴太 古川三蝶  
 ○通世界二代浦島二 同 作 同 書  
 ○他不知思染井二 黒齋式部 喜多川歌麿

京傳の妹なり、戯作者撰集には此作の外三國一大通本地をも式部の作となせと誤にして此作一部なり

- 大千世界牆の外二 唐來三和 北尾重政
- 新田通戰記二 紀定九 喜多川歌麿
- 辰且さ惠方道 藤原仲實序 北尾政美
- 夜が晝星の世界二 忍岡常九 鎌好
- 大江山大通山入 袋入鍋 町春 童
- 一の富見得夢三 北尾政演
- 出雲皿屋舖 勝川春朗
- 運開扇花香二 北尾政美
- 江戸花名書巻 北尾政美
- 復讐二本松四 北尾政美
- 假名手本忠臣藏 蘭德齋春童
- 新作笑上戸 勝川春道
- 新建也龜藏三 同
- 小田館竹の地藏出世太平記五 同
- 徳本養老瀧三 同

○大黒工富來福神三 本朝蔵入始と改題 蘭德齋春童

- 本朝蔵入始三 同 書
- 桃太郎二度掛 親王鎌倉 燒飯の由來
- 卯會我實同姊妹 鳥居清長
- 金平一の富 千代女
- 嘘八百温故新知二 北尾政美
- 金平子供遊二 同
- 孤令安意 嗟鳴御開帳二 同
- 昔萬歳島臺三 黄山自惚 同
- 天明五年出版
- 大通箱入之疳癩 袋入戀川春町 自 書
- 常山草刈 鬼囃大通話三 明誠喜三二 喜多川行磨
- 築川洗滌 氣散次夢物語 袋入 同 書
- 鮎入道佃沖同 同 喜多川歌麿
- 新建立忠臣藏 天道大福帳三 同 北尾政美

京傳の假名なり 御手料理 大悲千録本 一 芝 全 交 北尾政演

- 向島佐々木久助 袋入明誠堂喜三二 喜多川行磨
- 魚と通和者交三 市場通笑 勝川春英
- 手毬歌古事來歴三 同 作 北尾政美
- 通り鴛奢半勘三 同 作 同
- 無物喰狐筆入三 同 作 同
- 二度生堀出物三 同 作 同
- 千秋樂下司囉二 同 作 勝川春英
- 全盛俠中俠惡言鮫骨 袋入山東京傳 自 書
- 全盛廓中丁子二 同 作 自 書
- 全盛江戸生艶氣蒲燒三 同 作 自 書

洒落本的の趣向大に當り、世人牛可通を呼ぶに巻中の主人公兼次郎の名を以てせり、又主人公の鼻を低く擡げるより京傳鼻の稱起り爾來京傳の作には自傳の鼻を低く擡げり、洒落本の通言總稱はこの續篇ともいふべきなり

- 種から種へ天地人三階圖繪 袋入 同 作 自 書
- 三國傳來無句線香三 同 作 自 書
- 八被般若角文字 袋入 同 作 自 書
- 勸進御富興行會我三 けいこら 北尾重政
- 傾城買流七福參三 四方山人 勝川春潮
- 千崎早野 效鏡地桃灯具箱 一 竹杖爲輕 北尾政演
- 間似合噓言會我三 蓬萊山人 鳥居清長
- 呼子鳥名彰祖三 與の東雲 北尾政美
- 平氣賴光邪魔入 一 唐來三和 同 書
- 種から種へ雙紙五牌夢 一 同 作 千代女

○親讓鼻高名三雀千聲群馬亭  
 ○金持容氣 二本坊鶴志藝 北尾政美  
 ○之利安賣鋸商内二戀川好町千代女  
好町は狂歌堂真顔の戯戯にして、これは其初作なり  
 ○四牒半飛分茶人一 同 作  
 ○寶山金銀敵討 同 作自 書  
この子と  
 ○梅花ちりは乞目一 同 作 喜多川歌麿  
金太郎 昔々斬問屋三  
 ○誕操當字清書一 同 作 北尾政美  
 ○嘘皮初音敷袋入櫻川杜芳  
 ○於津那事 二水山人柳 郊  
鎌倉  
 ○女相撲濫觴三 吉田魯芳 北尾政美  
 ○鬼通意嘘島物語三 録山人信紺 旭 光  
 ○星月夜坊主道行二 同 作 同 書  
胡歌 人真似道成寺三  
 ○鳴瀧山人北尾政美  
 ○大通成茲止二 二水山人 式上亭柳郊

○馬鹿道笑双六三 芝 全交門人  
等推カウリカンガリチヤチヤトセロワ  
 ○寶買平親々 桐性龍三  
 ○怨念宇治燈火二  
 ○新義經細見蝦夷一  
 ○其由來光德寺門二  
 ○爲朝飛鳥島巡二  
 ○七轉八起小町  
 ○百鬼夜講化物語  
 ○讀見三十一文字二  
故事附杜撰怪物語三  
 ○夢中夢助勝 花  
 ○天明六年出版  
 ○上洲七小町一 明誠堂喜三二 北尾政美  
 ○御物茶茶白藝三 市場通笑 勝川春英  
 ○大昔野暮人時分三 同 作 北尾政美  
 ○教訓持病痒袋入 同 作 勝川春英  
 ○心鞭走生孫三 同 作 北尾重政  
 ○御承知猫杓子二 同 作 同 書

○懐しわみの紐三 市場通笑 北尾政美  
 ○可然苦者樂種二 同 作 北尾重政  
 ○善惡正札所三 同 作 同 書  
 ○通人外仙人通三 同 作 同 書  
 ○鹿相千萬豕輕業三 同 作 勝川春英  
シゴロウロトモシゴロウ  
 ○人面疔膝共談合二 同 作 北尾政美  
 ○一ツ星大福長者三 同 作 同 書  
後太郎天上見物と改題  
 ○無據五人道行三 同 作 同 書  
契情誠 懐々晦日月三  
卯四角  
 ○二一天作二進二十三 同 作 勝川春朗  
 ○悪七變目景清三 山東京傳 自 書  
 ○江戸春一夜千兩三 同 作 自 書  
 ○御兩國信田染二 けいこ 北尾政演  
 ○東都銅訛天神記 伊庭可笑  
 ○手練偽なし袋入四方山人 北尾政美  
 ○阿房者寝待同竹杖爲輕

○大笑止老毛の鐘入二 竹杖爲輕 北尾政美  
此册子給其古し古版を再摺せしもの歟  
 ○景清塔の眠二 同 作 北尾政演  
 ○七福神伊達船遊三 萬象 亭 北尾政美  
 ○四天王荆棘鬼嘶一 同 作 作  
 ○無束話親玉一 同 作 歌川豊國  
断錦繪長時強飯と外題改  
 ○白木屋しんざい一 同 作  
おこま  
 ○假名本混會我一 同 作 北尾政美  
照と見た細見之御太刀三  
蓬萊山人  
 ○大江山二期榮三 飛田琴太 古川三蝶  
後見越丹波城跡と改題す  
 ○高砂屋尾上傘二 市場通笑 北尾重政  
首尾の松平假名盛通記二  
 ○櫻川杜芳 古川三蝶  
神の梅  
 ○片言指南所三 同 作 北尾政演  
古手  
 ○紺屋話化語三 古川三蝶 自 書  
古文  
 ○總角繪二 印籠二 同 作 自 書

- 西 事化草摸紋化話 古川三蝶自 書
- 腹中掃除五臟夢二同 作自 書
- 蒲山事 昔々相生松三同 作自 書
- 鳩八幡豆兼德利二戀川好町自 書
- 持來糠長目一同 作北尾政美
- 天狗八人自慢龍神錄 同 作
- 幾千代二十四五三半 片北尾重政
- 何某 愈高鼻皇都 邦杏 李蘭 德齋
- 落 咄 笑 男 伊之助
- 敵討浮木の龜山五薛 羅 館北尾政美
- さん 婦げんき一石山人
- 夢物語 去程 借其後三 唐來三和北尾政美
- 前々 太平記五 自惚黃山人 勝川春朗
- 大々 太平記五 芝 甘交
- 通言武者揃三芝 全交北尾重政
- 積孝雪振袖三雀 千聲 蘭 德齋
- 東産 通町御江戸鼻筋三 唐來三和北尾政演

- 又繰返麗示物語と改題
- 太印天上見物三半 片勝川春英
- 一ツ星大福長者の改題なり
- 蛇腹紋原の仲町二白 雪 紅 群 馬 亭
- 四人語律義八片三 榎雨露住北尾政美
- 我家樂之鎌倉山二群 馬 亭 自 書
- 大 佛 左 捻 袋入白 山人
- 袋入の表紙藍摺なりしが此頃より表紙に二袋入
- 噓實説故郷錦
- 奥若女意真雅話
- 化物一代記五 鳥居清長
- 天明七年出版
- 三筋線容植氣田三 山東京傳自 書
- 三千歳成云蛇蛇二同 作自 書
- 百文 寓 骨 牌 三 同 作自 書
- 見たき 化物樂屋異蝶二 雞 告北尾政美

- 葉手兼息子好々二 雞 告北尾政美
- 龜山人家妖三 明誠堂喜三二 北尾重政
- 此冊子に喜三二の肖像あり既にせまるといふ、當時作者自家の事を草紙につける事行はる萬象亭の戲作遊勝は此種の始なるべし
- 芝全交が智恵程二芝 全交北尾政演
- 艶男其處此處三 萬 象 亭 鳥居清長
- 斯錦給從長崎強飯一 森羅亭萬象 歌川豊國
- 川池門人とあり二世萬象歟
- 是 高 御 喰 争三 櫻川杜芳 北尾政美
- 色男十人三文三 同 作同 書
- 親分御目川太平樂二 同 作同 書
- 敵討南枝花二 同 作同 書
- 假名手木不通入殿二 同 作北尾政演
- 出世蜜茶太平記二 同 作同 書
- 面而 御 年 玉 二 萬 象 亭 式上亭柳郊
- 今昔萬歳の島臺三 與の東雲齋 北尾政美
- 現金青本通三 芝 甘交 同 書

- 宇治 古渡日記帳三 南仙笑楚滿人 北尾政美
- 茶かぶき茶、日傘二 芝 全交北尾政演
- 日本一阿房の鑑 戀川好町
- 陰徳兩方吉事計 袋入七珍萬寶 歌川豊國
- おとし 咄 同 三陀羅法師
- 今度唐織會我三 戀川行町 北尾政美
- 櫻錦 是氣儘作種二 物蒙堂禮 北尾政演
- 世の中諸事天文三 同 作同 書
- 島臺眼、正月三 社樂齋萬理 同 書
- 自笑暗合 正札附息貫三 唐來三和北尾政美
- 本八文字 太平記一 鶴一齋 萬千聲 勝川春道
- 是朽木 太平記一 鶴一齋 萬千聲 勝川春道
- 津宇那門成三 稻 坊
- 作習酒佐字 袋入萬 龜 歌川豊國
- 新作 德 治 傳二 泉 昌 有 自 書
- 古道具穴掃除三 虚空山人 龍 向 齋
- 昔咄稚種軍談四 井久治茂 丙
- 天明八年出版

○鎌倉大平序二 戀川春町自 畫  
 ○悅景負蝦夷押領三 同 作 北尾政美  
名作二十三部の内、當時幕府の秘事を密に綴りたるもの多し、此草紙も其類なり  
 ○文武二道萬石通 袋入 明誠堂喜三二 喜多川行磨  
名作二十三部の内、此册子幕府の秘事を描きたれば大に行はれ製本間に合はず、表紙と糸とをつけて摺れたるを其まゝ賣捌しも望の敷に足らず、三月頃迄市中を賣り歩きたりといふ此作を  
出せしより君命により戯作の筆を絶らしといふ  
 ○引歌 六玉川流茶二 同 作  
 ○昔々於麗ト云彌子三 市場通笑  
 ○二昔以前の洒落二 同 作 北尾政美  
 ○咄下司の智恵二 同 作 同 書  
 ○扇舞目 狂言末廣榮三 山東京傳 喜多川歌麿  
 ○眞名 義士の筆力三 同 作  
 ○會通己恍惚子三 同 作 北尾政美  
 ○小倉山時雨珍説二 同 作 自 書  
 ○將門 時代世話二挺鼓二 同 作 喜多川行磨  
 ○秀郷 時世話二挺鼓二 同 作 自 書  
 ○分身 扮接銀煙管三 同 作 自 書

○仁田富士人穴見物三 山東京傳自 畫  
 ○四郎富士人穴見物三 山東京傳自 畫  
 ○京鹿子 籠梅枝傳語三 同 作 自 畫  
 ○無間鐘 籠梅枝傳語三 同 作 自 畫  
 ○今日現金湯起請三 雞 告 自 畫  
 ○後營後祭禮三 山東京傳自 畫  
文化二年殘燈奇談机の座と改題再刻  
 ○一富士 添テ 茄 子三 櫻川杜芳 北尾政美  
 ○二富士 添テ 茄 子三 櫻川杜芳 北尾政美  
 ○塵劫記二正陸月二 道 笑  
 ○板垣三郎出世壽三 宮村杏李  
 ○無偽看板の立引二 同 作  
 ○蝦夷渡義經實記三 同 作  
宮村杏李は那杏李の事なるべし  
 ○昔雜春錦手三 雀 千 聲 北尾政美  
 ○姦顔取堪忍帯三 虚空山人 蘭德齋春重  
 ○大々太平記五 同 作  
 ○見可徳言門上下三 同 作 蘭德齋  
 ○蛤金八連里三 幾治茂内 同 書  
 ○今怪文化 怪談四更鐘 唐來三和 細田菜之

○齡長尺桃色壽主三 甲 龜細田菜之  
 ○海中箱入娘三 七珍萬寶 北尾政美  
 ○酒管卷太平記二 同 作 同 書  
 ○愚一心 苦者樂元ノ二 同 作 歌川豐國  
萬象門人  
 ○大願 下戸の藏開二 千差萬別 北尾政美  
 ○成就 餅酒合戰二 同 作 同 書  
物象常記  
 ○酒宴哉妖怪會合二 石山人 北尾政演  
 ○妹 退 治二 内 新 好勝川春英  
 ○戲作 天筆阿房樂二 親慈悲成 歌川豐國  
 ○書始 人事萬事二天作五 同 作 同 書  
 ○三藥 太平記二 笑 給 蘭德齋  
 ○首尾松 雪女郎八朔二 山東京傳 喜多川歌麿  
 ○見越松 狸ノ金毘羅三 蒂野横好 自 書  
 ○自在 一谷嫩軍記五  
 ○怪談小夜嵐五 勝川春英

○天怪着到蝶二 北尾政美  
 ○化物大通記 鳥居清長  
 ○和莊兵衛物語三  
 ○敵討雪月花三 蘭德齋  
 ○夫徳奢玉得三 北尾政美  
 ○三茶太平記二  
 ○寛政元年出版  
 ○鶺鴒返文武二道三 戀川春町 北尾政美  
万石通の續物といふべきもの大に行はれ市中を賣歩きしといふ、此草紙の事に付白川侯より召されしに病に臥して程なく逝り(名作二十三) (部の内)  
後編種笑門松と改題す  
 ○一百三升芋地獄二 同 作 自 書  
 ○一生入福兵衛ガ幸三 同 作  
 ○仙 延壽反魂談三 同 作 自 書  
 ○仙 延壽艶哉女僊人三 同 作 北尾政美  
 ○仙 延壽艶哉女僊人三 同 作 同 書

○孔子縞于時藍染三 山東京傳自 書  
 ○其句 眞實情文櫻三 同 作自 書  
 ○早道節用守三 同 作自 書  
早道守傳來ともあり  
 ○花ノ東頼朝公御入二 同 作自 書  
三條御碑文谷利生四竹節二  
 ○三河島御不動記二 山東京傳 北尾重政 書  
三國 面光不背釜三 鷄 告北尾政美  
傳來 交見世八人一坐三 同 作同 書  
利生 交見世八人一坐三 同 作同 書  
三升艾 江戸花俳優員三 同 作同 書  
路考 艾 江戸花俳優員三 同 作同 書  
蛤鳴呼辛氣樓二 一喜橋山二序蘭德齋 書  
二世喜三三の假號なり、三橋に住する故三橋喜三三といふ  
 ○大千世界變人藏二 三橋喜三三 春 泉  
地獄 二口ノ勸略縁起二 同 作蘭德齋  
 ○平治太平記三 市場通笑  
 ○冠言葉七目廷記三 唐來三和喜多川歌磨  
 ○天下一面鏡梅鉢三 同 作長喜

名作二十三部の内、これも大に當り文武二道といふに三月頃迄市中を賣あるきしといふ  
 ○カナン(山)引路の忍田三 芝 全 交北尾政美  
願解而拜海仁王委二 同 作同 書  
下紐哉  
名作二十三部の内、碑文谷開帳の戲作、京傳、琴好にも作あれど當りなとりしは仁王委なり  
 ○親之敵現歎夢也三 同 作式上亭柳郊  
 ○福來留笑顏門松二 市場通笑 戀川春町  
 ○十千萬兩貨殖金三 深川錦鱗 蘭德齋  
高字 芋 世中二内新好佐臨英之  
噓無箱根先二七珍萬寶 歌川豊國  
 ○大笑止浮氣鍾入三 同 作同 書  
 ○御最負他三升二 櫻川慈悲成 同 書  
 ○持來餅者餅屋二 同 作同 書  
 ○比文谷はなし袋入 心部琴好長 喜  
世直大明神 黑白水鏡二 同 作北尾政演  
金襴の由來  
此册子は佐野田沼の事を綴りしものなれば忍絶板となり作者は手鏡の上江戸拂となり、畫工其他過料申付らる  
 ○武者執行押強者三 櫻川杜芳 歌川豊國

○咄御躰之煮花二 莞津喜笑顔  
 ○大平権現鎮坐ノ初三 伐木丁々 蘭德齋  
水のめはる雨とよとみきき平らも切々二  
 ○臭氣靡旅倉榮三 錦森堂軒東 勝川春朗  
無垢 結黄金肌着八丈三 柿 發 齋北尾政美  
世界 結黄金肌着八丈三 柿 發 齋北尾政美  
 ○新米牽頭持三 清遊軒 同 書  
 ○新酒間上手二 千代女  
 ○流行謠混雜唱歌二 美足齋象睡 勝川春朗  
 ○眞似手本小人藏三 同 作  
 ○妙智力繁花鉢木二 傳樂山人 勝川春章  
 ○世中承知重忠二 和歌林泉 歌川豊國  
 ○落爐開嚙口切二 浮世伊之助 喜多川歌磨  
 ○繪本武者揃二  
かるかたいはなま二  
 ○敵討御花短冊二  
 ○源平英筆記三  
 ○百福茶大年嚙三

○桃太郎昔日記三 北尾政美  
 ○六歌仙虛實ノ添削三 勝川春朗  
 ○新建哉龜藏二 蘭德齋春童  
 ○大黒來福神三 勝川春英  
寛政二年出版  
 ○即席耳學問三 市場通笑 北屋重政  
 ○忠孝遊仕事三 同 作喜多川歌磨  
 ○一面照子淨顔梨三 山東京傳 自 書  
 ○京傳浮世の醉醒三 同 作龜毛  
京傳浮世の醉醒三 同 作同 書  
太平記 玉磨青砥鏡二 同 作喜多川歌磨  
吾妻鏡  
光時 花ノ芳野火ハ班二 同 作自 書  
怪談  
 ○冷哉汲立清水記三 同 作自 書  
 ○福種笑門松二 同 作喜多川歌磨  
奇々羅金雞の改題再摺なり  
 ○山鴉鴉蹴轉破瓜三 同 作北尾政美  
大極上 心學早染草三 同 作同 書

心學的の趣向大に當り後編續編を出せり、後心學何々と稱する  
草紙はこの題目よりとれるなり

- 俄藤太振出百藥三 芝 全 交 北尾政美
- 大森輕業本ノ能見世物三 同 作 式上亭柳郊
- 遊妓寔卵角文字三 同 作 北尾重政
- 意濃張智惠艶出二 櫻川慈悲成 歌川豐國
- つばもの二日替三 同 作 同 書
- 聽從淺黃陣二 二世喜三二 櫻井文橋
- 新吉原聖賢畫圖三 同 作 同 書
- 踏勘善富藏雀二 祿山人信鉞 北尾政美
- 染直大名稿一 同 作 同 書
- 五體總ノ而是程三 七珍萬寶 北尾政美
- 御存知夜討蕎麥三 同 作 歌川豐國
- 茶事加減役割番附三 同 作 同 書
- ひだり龍一 談三 同 作 北尾政美
- 大福長者 榮増眼鏡徳二 戀川行町 同 書

- 新作徳盛嘶三 物業堂禮 石山人
- 磁鐵頓智才兵衛三 虚空山人 北尾政美
- 何糊琥珀塵三 有 面 同 書
- 人事萬事西行猫三 樹下石上 同 書
- 世中豊年藏三 同 作 同 書
- 武道事雨ノ三四二 時鳥館主人 蘭徳齋
- 呼繼金成植二 同 作 櫻文橋
- 三人文珠ノ知恵二 同 作 同 書
- 本樹眞猿浮氣嘶三 葛 唐 九喜多川歌磨
- 雄長老壽話三 紀 定 九 同 書
- 見徳の路無語帖三 千差萬別 北尾政美
- 早學問 正一位職冠二 一瓢齋勝圃 蘭徳齋
- 大明神 根元角觥大全三 同 同 書
- 紅白勳功競二 同 同 書
- 蝶千鳥最負達紋三 同 同 書
- 春遊獸會我三 同 同 書

○文武二道重忠嘶一

○寛政三年出版

- 盧生夢其前日三 山東京傳 北尾重政
- 世上洒落見繪圖三 同 作 菊亭主人
- 人間一生算胸用三 同 作 自 書
- 箱人娘面屋人形三 同 作 歌川豐國
- 八百萬兩金神花三 同 作 北尾政美
- 語染廓ノ色揚三 同 作 歌川豐國
- 京鹿子娘泥漿汁三 芝 全 交 歌川豐國
- 壬生狂言直讀見齋萩三 同 作 式上亭柳郊
- 唐本癡言 名代振袖心中二 内 新 好 作 同 書
- 落腹筋問答二 同 作 同 書
- 教訓指相撲 同 作 同 書
- 石上三之助辛抱三 樹下石上 同 書
- 今昔綠氣白綾二 櫻川慈悲成 歌川豐國
- 鼻毛長大馬鹿ノ振目二 同 作 同 書

- 夫色事御存知高麗屋傳三 櫻川慈悲成 歌川豐國
- 是喰事御存知高麗屋傳三 櫻川慈悲成 歌川豐國
- 手遊張子ノ虎卷三 同 作 同 書
- 化物夜更顔見世二 同 作 同 書
- 馬鹿長命子氣物語二 同 作 同 書
- 壬生踊戲作面目二 同 作 同 書
- 至無我人鼻心神三 竹京 傳 東 子 校 北尾政美
- 御請合戲作安賣二 七珍萬寶 歌川豐國
- 枯木華作者誓願三 同 作 同 書
- 信田棲時代摸樣二 同 作 同 書
- 世蔭鳥混雜掌賦二 同 作 同 書
- 笑増厄質除講釋三 同 作 勝川春英
- 鎌倉山料理献立三 同 作 同 書
- 中野御評列高雄文苑二 同 作 北尾政美
- 福徳入紋三津引二 樹下石上 同 書
- 爲 朝ガ鳥 巡、三 千差萬別 同 書
- 擲交野郎之蒲鉾三 三橋喜三二 歌川豐國
- 二十日御用而二分狂言二 大榮山人 同 書

山本馬琴の初作なり

- 天満宮 敵討道々巡三 夜道久良記
- 純友 勢入船二 蘭 德 齋 自 書
- 有職 鎌倉山三 同 作 自 書
- 右衛門 眞頼院老仇返 二 芝 深 交 歌 川 豊 國
- 開運 十二支春之友 二 喜 玉
- 餅好 酒呑何之齋目附 二 北 尾 政 美
- 龍宮洗 宇増之由來 二 勝 川 春 朗
- 道 北條五代記 三 春 童
- 將門 冠初雪 三
- 宮柱 七福對 二
- 落笑 書 拔 二
- 金銀 太平記 二 荒 金 土 生 櫻 文 橋
- 財々 比來降涌金 三 秋 新 好 冬 祿 序
- 寛政四年出版
- 五子御生女將門七人化粧 二 山 東 京 傳 北 尾 政 美
- 霞之隅 春朝日奈 二 同 作 北 尾 重 政

- 實語 教幼稚講釋 三 山 東 京 傳 北 尾 政 美
- 天剛 垂楊柳 三 同 作 同 書
- 昔 桃太郎發端話 三 同 作 同 書
- 梁山 一步談 三 同 作 北 尾 重 政
- 怪物 徒々草 二 同 作 同 書
- 唯鬼 打 豆 三 同 作 蘭 德 齋
- 浮世 操九面十面 三 芝 全 交 歌 川 豊 國
- 形容 化鼻下長物語 三 同 作 北 尾 重 政
- 名作 二十三部の内
- 優長 源氏物語 三 唐 來 三 和 同 書
- 果報 物草太郎月 二 同 作
- 於 昔今南樓通臣 三 櫻 川 杜 芳 鳥 居 清 長
- 戀女 房染分茶番 三 櫻 川 慈 悲 成 歌 川 豊 國
- 御存 知化物 二 同 作 同 書
- 夏祭 團七稿 三 同 作 同 書
- 源平 軍物語 三 南 仙 笑 楚 滿 人 北 尾 政 美
- 鶴頼 政名歌 芝 三 同 作

○新春花作者の再咲 二 森羅亭萬寶 勝川春英

其返報豊年買袋入一冊の改題新版なり

- 軍略 深雪武田菱 三 樹 下 石 上
- 花春 風道行 馬 京 傳 門 人 琴
- 女莊子 胡蝶夢魂 一 黒 木
- 爲忍 肝心堪忍袋 三 見 得 坊
- 孝 蒲公英小徑 三 武 光 散 人
- 天神 七代記 前 三 同 作
- 眞 素民農鏡 後 三 信 夫 跡 彦
- 名木 二代鑑 三 井 上 勝 町 自 書
- 享和三年に色見草浮世頭木と改題
- 一心 土手紅葉 三 勝 川 春 常
- 假名 手本忠臣藏 五 勝 川 春 英
- 男怪 談話 三 菊 舟
- 山入 桃太郎昔話 三
- 阿部 晴明一代記 五
- 神傳 路考油二 氣 象 天 業 歌 川 豊 國

○天神川 鶴千兩懸萬兩 三

○寛政五年出版

- 心算 珠算袋結ノ善玉 三 山 東 京 傳 北 尾 重 政
- 小人 國殺櫻 二 同 作 同 書
- 阜下 句蟲干會我 三 同 作 同 書
- 安土 白濁會經 道中助 六 三 同 作 鳥 居 清 長
- 浦島 龍宮箱鉢木 三 同 作 北 尾 重 政
- 花笑 七福參詣 二 同 作 同 書
- 凡 諸國四人詰南品傀儡 三 同 作 同 書
- 福徳 果報兵衛傳 三 同 作 同 書
- おの 水先開梅之赤本 三 同 作 同 書
- 正 伊豆山カシガタリフシヤツツ 二 同 作 北 尾 政 美
- 宿 昔語筆操 二 同 作 交 歌 川 豊 國
- 胡麻 入海常盤仙米 二 芝 全 作 北 尾 重 政
- 十四 傾城腹之内 三 同 作 北 尾 重 政
- 名作 二十三部の内
- 皇 長持白髪大明神御波中 三 同 作 同 書
- 今日 尻探御用心 二 同 作 歌 川 豊 國



○染相性男女占袴三 芝 全 交 歌川豊國  
 ○年寄冷水會我三 同 作 同 書  
 ○刈萱染衣日記三 南仙笑楚滿人 勝川春英  
 ○二代大中黒二 同 作 同 書  
 ○文覺一代記五 同 作 歌川豊國  
忠臣蔵人唯一心命三 唐來三和 傲勝春英 櫻津優姿  
 ○再會親子錢獨樂三 同 作 北尾重政  
 ○猿の尻金平午房二 櫻川慈悲成 歌川豊國  
敵役 朝比奈茶番會我三 同 作 同 書  
酒の左の字は 七人上月二 同 作 同 書  
孟の左の字 同 作 同 書  
 ○變化物春遊二 同 作 同 書  
 ○絲瓜皮歌袋二 同 作 同 書  
 ○大仕掛三界會我三 鹿杖山人 同 書  
狂歌堂風韻の戯談なり  
 ○咄青樓育咄雀二 桃栗山人 歌川豊國  
美苗 天狗磯鼻江戸子三 同 作 同 書  
 ○將葵指揮太平記三 新羅亭萬寶 同 書

○茶成捧茶番狂言二 新羅亭萬寶 歌川豊國  
夫者七小町馬鹿功二 同 作 勝川春英  
是者鹿子町  
 ○日永話御伽古狀三 同 作 同 書  
 ○昔話銚子濱三 同 作 歌川豊國  
頓智 六通半畧卷三 同 作 勝川春英  
 ○市土産於多福神二 樹下石上 自 書  
 ○萬福長者傳三 同 作 同 書  
 ○鼠上婚禮座切記三 曲亭馬琴 歌川豊國  
 ○荒山水天狗鼻祖三 同 作 同 書  
浮世 御茶流十二因縁三 同 作 勝川春英  
街道 登坂寶山道三 無馬名琴 子序 北川政美  
徳越 作者無名子とあれど馬琴の匿名なり、楊柳一腰の後編なり  
 ○花ヲ圖子食氣物語三 曲亭馬琴 同 書  
大谷 どうげ百人一首三 戀川好町 歌川豊國  
 ○紺丹手織綺三 畑 芋助 同 書  
 ○十二神樂稚業三 發田芋助 北尾重政  
發田、畑とも同人なり

○大佛餅 東大佛福名所 白山人可候 自 書  
富士北齋の戯談なり  
 ○智恵次第箱根詰二 春道船草 樹序 勝川春朗  
 ○奈真大佛江戸見物 袋入 虛 呂 利 同 書  
 ○身爲着寶洪福二 陽明亭寶鶴 成序 北尾政美  
銘正亦楊柳一腰三 無馬名琴 子序  
こは寶山道の前編なり  
 ○歌ノ化物一寺再興二 勝川春英  
 ○音聞七種噺三 同 書  
お目さし出世角松二 同 書  
酒田 遊氣酒夢二 同 書  
 ○寛政六年出版  
 ○忠臣蔵世界幕無三 山東京傳 北尾重政  
 ○忠臣蔵即席料理三 同 作 同 書  
榮化 金々先生造花夢三 同 作 同 書  
後日談 三樹大夫七人娘 同 作 同 書  
忠臣蔵 三樹大夫七人娘 同 作 同 書  
 ○根無草筆笏三 同 作 同 書

○大入目書 白山山道 二 山東京傳 十返舎一九  
大入目書 白山山道 二 山東京傳 十返舎一九  
 ○眉間尺三人泥醉三 同 作 北尾重政  
 ○全交法師常々草三 芝全交遺稿 同 書  
忠兵衛 大道具備幕無三 唐來三和 歌川豊國  
十一段 御馴染花咲祖父三 市場通笑 同 書  
馬鹿 親々道成寺二 竹杖爲輕 北尾政美  
等備 竹齋老寶山吹色三 築地善交 北尾重政  
竹林爲輕、築地善交は萬泉亭の戯談なり  
 ○場戲嘉話古手返三 古川三蝶 自 書  
 ○繪本阿房袋二 櫻川慈悲成 歌川豊國  
 ○鎌倉頼多意氣二 同 作 同 書  
 ○敵討伊吾廿卷二 同 作 同 書  
 ○第一御徳用物語三 同 作 同 書  
 ○鉢冠物がたり三 同 作 同 書  
百人一首戲講釋三 全交傳 遺校 同 書  
 ○旨趣向棚牡丹餅二 樹下石上 北尾政美  
 ○大福長者藏三 同 作 同 書

- 百福壽老人二 樹下石上 北尾政美
- 掛屋町伊豆豆腐屋三 戀川好町 歌川豊國
- 工面壁觀師大通三 森羅亭 北尾政美
- 風流芝全交腹内一 芝山人
- 仙傳 趣向氣工二 千差萬別 同 書
- 秘法 趣向氣工二 千差萬別 同 書
- 黄金なる本心の戀穂三 虛呂利長 喜
- 福壽海無量品玉三 曲亭馬琴 勝川春朗
- 天道浮世出星操三 式亭三馬 歌川豊國
- 三馬初作なり
- 人間一心視替操二 同 作 同 書
- 視見噓節穴二 本膳亭坪平 勝川春朗
- 氣 木二
- 源平布引瀧三 勝川春英
- 源平布引 旭立幼源氏二 同 書
- 瀧後編 七々里富貴二 勝川春朗
- 春遊相場將門二

- 貧福兩道中之記三 山東京傳 勝川春朗
- 善惡邪正大勘定三 唐來三和 北尾重政
- 内辨慶勘忍帳三 櫻川慈悲成 歌川豊國
- 増山椒太夫物語二 同 作 同 書
- 武世界 手前浪赤穂 二 同 作 勝川春朗
- 忠臣蔵 二 同 作 勝川春朗
- 古手妻品玉手箱二 同 作 歌川豊國
- 理金本昔料理吹物二 同 作 同 書
- 桃太郎大江山入三 同 作 同 書
- 嫁入相長持二 同 作 同 書
- 大昔化物草紙二 同 作 同 書
- 桃食三人子寶噺二 市場通笑長 喜
- 敵討義女英三 南仙笑楚滿人 歌川豊國

前に敵討三味線由来を著せしよままでの好評なかりしが、此作  
 出て、大に行はれ年々敵討物多く出て遂に文化に至り敵討物の  
 外なき様になり、楚滿人を世に敵討の中興の祖といふもこれ  
 が爲なり

○寛政七年出版

- 外郎相洲小田原相談三 築地善交 北尾重政
- 早言 浮草雙紙洗小町三 戀川春町長 喜
- 草紙本在々没身成金言三 同 作 北尾重政
- 心學時計草三十返舎一九自 書
- 一九初作、六樹園の求により作りしといふ
- 新鑄小判 懷三 同 作 自 書
- 奇妙頂禮胎錫杖三 同 作 自 書
- 四季山人は三馬の別號なり、後編寛政八年出版す、又云この書  
四季山人は三馬の別號なり、後編寛政八年出版す、又云この書  
 天保年中再版して五冊となし關貞齋にて新版發兌せり
- 才布 根無草會我和物三 笑 九長 喜
- 怪物つれく 雜談二 黄 龜細田榮之
- 花笑顔相指南枝三 森羅亭萬寶 北尾政美
- 萬歲諷諸神柱立三 同 作 二世春町
- 落咄 百樽袋入
- かるかや一

- 壽鼠嫁入二 長 喜
- 弘法大師御本地一
- 子 敦 盛一
- 德若水縁起金性三
- 落和賀笑美壽
- 寛政八年出版
- 諺下司話説三 山東京傳 北尾重政
- 人心鏡寫繪三 同 作 同 書
- 酒神 鬼殺心角樽三 同 作 同 書
- 朝比奈御髭の塵二 櫻川慈悲成 勝川春朗
- 増補執柄太郎三 南仙笑楚滿人 歌川豊國
- 堪忍五兩金言語三 曲亭馬琴
- 報警癡狂尾三 同 作 北尾重政
- 曲亭増補萬八傳二 同 作 同 書
- 四遍摺心學双紙三 同 作 北尾政美
- 小需雨見越松株三 同 作 北尾重政
- 黒田川柳禿筆二 同 作 同 書

○常盤國風土記二 築地善交 北尾重政  
 ○中華手本唐人藏三 同 作同 書  
 ○多來福萬兩分限二 樹下石上 歌川豊國  
 ○怪家内奇狐狸二 春道草樹 同 書  
 ○笑鬪戰梅魁二 笑丸 同 書  
 ○泉岳寺開帳詰笑南枝一 虛呂利 同 書  
 ○歌等功雀功名二 貨倉主 同 書  
 ○怪談 筆始二十返舍一九 同 書  
 ○御詠向鼠嫁入二 同 作自 書  
 ○垣祝本草盲目三 同 作自 書  
 ○替錢通用壽語錄二 同 作自 書  
 ○落風の神二 同 作自 書  
 ○雷門御膳淺草法二 同 作自 書  
 ○再興文化九年再版  
 ○柳會入雲鳥二 同 作自 書  
 ○初登山手習方帖三 同 作自 書  
 ○擲打變術卷三 同 作自 書

○信有奇怪會二十返舍一九 同 作自 書  
 ○鴛油浚構三 同 作自 書  
 ○物年中行狀記二 同 作自 書  
 ○化物小遣帳二 同 作自 書  
 ○初日影七福即生二 同 作自 書  
 ○早野勘平若氣誤二 同 作自 書  
 ○蟲看鑑野邊若草三 同 作自 書  
 ○油斷敵藥功能書二 同 作自 書  
 ○浮世賽錢箱一 同 作自 書  
 ○浮世怪俗性席料理職立三 望月窓輔 北尾政美  
 ○樂山人馬笑 歌川豊國  
 ○昔語狐娶入三 桃々道景則 北尾重政  
 ○嗚呼可笑棟分類  
 ○淺草寺廻一家裏二 北尾政美  
 ○胡慮々々笑春山  
 ○白石話後編 歌川豊國  
 ○兵夫酒醃菜二

○寛政九年出版

○星兜八聲凱二  
 ○青海波龍宮三十返舍一九 自 書  
 ○千里一列勇天邊三 同 作自 書  
 ○虛生實草紙三 山東京傳 北尾重政  
 ○三歳圖繪稚講釋三 同 作同 書  
 ○正月故事談三 同 作自 書  
 ○和莊兵衛後日話三 同 作自 書  
 ○敵討姥捨山三 南仙笑楚滿人 歌川豊國  
 ○今度者鬼息子二 同 作同 書  
 ○三世相郎滿八算三 同 作同 書  
 ○化物大閉口二 同 作同 書  
 ○富士色板絞會我三 同 作同 書  
 ○押強者何茂八文二 櫻川慈悲成 同 書  
 ○三才智恵二 同 作同 書  
 ○鹽賣文太郎物語三 同 作同 書  
 ○福徳壽五色目鏡二 同 作同 書

○長生金々伴入資山吹三 樹下石上 歌川豊國  
 ○安倍清兵衛一八八卦三 曲亭馬琴 北尾重政  
 ○押繪鳥痴漢高名二 同 作同 書  
 ○無筆節用似字盡三 同 作同 書  
 ○加古川本藏綱目二 同 作同 書  
 ○楠正成軍慮智輪二 同 作同 書  
 ○大黒樫黃金柱礎二 同 作同 書  
 ○龍宮苦界玉手箱三 同 作同 書  
 ○庭莊子珍物茶話二 同 作同 書  
 ○北國巡禮唄方便三 同 作同 書  
 ○武者合天狗俳諧二 同 評同 書  
 ○彦山權現誓助劍五 傀 子  
 ○撈師直開帳三十返舍一九 自 書  
 ○閑思獸世界二 同 作自 書  
 ○家内安全鼠山入三 同 作自 書  
 ○金生水拔幹二 同 作自 書  
 ○けむ猪ふし三 同 作自 書

○コトワカガキ 東埔塞掌二十返舍一九自 書  
 ○壽金太郎月二同 作自 書  
 ○太平記無禮講中三同 作自 書  
 ○千早振紙屑籠二同 作自 書  
 ○釣戎水揚帳二同 作自 書  
 ○忠臣店請狀二同 作自 書  
 ○貨物見越松二同 作自 書  
 ○花筐勇者命二同 作自 書  
 ○醒今昔狐夜咄三同 作自 書  
 ○トワカ 時花遊拔井二同 作自 書  
 一名 那名單談  
 ○玄 猪 節三同 作自 書  
 ○貧福水掛論三同 作自 書  
 ○風光花桂男三同 作自 書  
 ○マコト 薯蕷醜藥二同 作自 書  
 ○マコト 夜眼遠目笠の内三同 作自 書  
 ○噓八百萬神一座二 樂山人馬笑歌川豊國 書

○芝全交夢寓言三 式亭三馬歌川豊國 書  
 ○唯頼大悲智恵話三 同 作同 書  
 ○親々 唐本の寐言三 同 作同 書  
 ○身體開帳略縁起三 萬 唐丸北尾重政 書  
 ○猿茂延命龜萬歳一  
 ○兒嘶舌切雀二  
 ○和莊兵衛一代物語三  
 ○和藤内三升若衆三  
 ○寬政十年出版  
 ○一刻價萬兩回春三 山東京傳北尾重政 書  
 ○兒訓影繪繪三 同 作鳥居清長 書  
 ○ハコ 百化帖準擬本草三 同 作北尾重政 書  
 ○マコト 化物和本草二 同 作可 書  
 ○マコト 筆津蟲音禽二 同 作北尾重政 書  
 ○マコト 素後壯雪信一 全交遺作 書  
 ○家内手本用心藏三 唐來三和子 與

○曾我物語噓實錄三 唐來三和北尾重政 書  
 ○敵討柳下貞婦三 南仙笑楚滿人歌川豊國 書  
 ○一狂言狐書入二 同 作同 書  
 ○百合若大臣多武眠二 同 作同 書  
 ○坐須臾之間方二 戀川春町遺作北屋重政 書  
 ○仙術 黒手入丈理金生水二 櫻川慈悲成歌川豊國 書  
 ○長二文字鬼角文字二 同 作同 書  
 ○長大進花見毛毘三 同 作同 書  
 ○鱧實生木榮花鉢植三 樹下石上同 書  
 ○大雜書拔菱縁組三 曲亭馬琴北尾重政 書  
 ○御慰忠臣藏之攻二 同 作同 書  
 ○似鹿相案文當字揃三 同 作同 書  
 ○鼻下長生藥三 同 作同 書  
 ○足利染拾遺雛形二 傀 子同 書  
 ○時代世話足利染三 同 作同 書  
 ○憎補猿蟹合戰二 同 作同 書  
 ○宮式亭三馬歌川豊國 書

○江戸其跡慕婆道成寺三 式亭三馬歌川豊國 書  
 ○三腹鼓臍嘯物三 同 作同 書  
 ○人一陽來伏帳二十返舍一九自 作北尾重政 書  
 ○一價千金榮花夢相 同 作自 書  
 一名 三助待爲運次第  
 ○御徳用黄金草鞋二 同 作自 書  
 ○假名文章女忠臣二 同 作自 書  
 ○河童尻子玉三 同 作自 書  
 ○義光夜功珠五 同 作自 書  
 ○雲上道中記三 同 作自 書  
 ○前度往昔軍二 同 作自 書  
 ○茶益照降町三 同 作自 書  
 ○十返舍戲作種本二 同 作自 書  
 ○尻擇御要慎三 同 作自 書  
 ○忠臣星月夜二 同 作自 書  
 ○風宮出儘略縁起三 同 作自 書

○取得貨徳川二十返舎一九自 書  
 ○初資大福帳一同 作勝川春亭 書  
 ○鬼角一升人唯樽底抜三同 作自 書  
 ○福神江島臺三同 作自 書  
 ○熊坂物見松御休所三同 作自 書  
 ○長半三輔待爲運次第三同 作自 書  
 價千金榮名夢相改題  
 ○太郎冠者三同 作自 書  
 ○怪談奇發情二同 聞天舍鶴成 歌川豊國 書  
 ○ニカヤフシ山伏狹狐修怨二 爲 唐九北尾重政 書  
 ○ニカヤフシ洛傳一口淨瑠璃三 成平榻見同 書  
 ○袋湊寶乗合三 九年 坊細田榮昌 書  
 ○フシケン奇遇雌雄器三同 作同 書  
 ○スキャツ琴書筆回氣三同 作同 書  
 ○産品圖面即席御療治三同 作同 書  
 ○腫病一變君子威徳富貴機三同 作歌川豊國 書  
 ○鬼燈提灯教捷路三同 作同 書

○昔嘶赤本狂歌 巴扇堂  
 ○寛政十一年出版  
 ○假名手本胸鏡三 山東京傳北尾重政 書  
 ○京傳主十六利鑑三同 作同 書  
 ○五體和合談三同 作歌川豊國 書  
 ○兩頭筆善惡日記三同 作北尾重政 書  
 ○敵討沖津白浪三 南仙笑楚滿人 歌川豊國 書  
 ○無雜作行成草紙三同 作同 書  
 ○夜守幸給剛臆神三同 作同 書  
 ○以實生金金生樹繼穗子寶二 樹下石上同 書  
 ○作者根元江戸錦二 櫻川慈悲成同 書  
 ○大代目市川三升風見草縁女節用三同 作北尾重政 書  
 ○如也鯨魚尺品革羽織三同 作同 書  
 ○以實生金彼岸櫻勝花談義三同 作同 書  
 ○料理茶話即席話三同 作 書  
 ○無茶盡押兵三同 作 書

○世諺口紺屋雛形三 曲亭馬琴子 與 書  
 ○赤本鼠兩野舞入抄二十返舎一九自 書  
 ○穴賢狐縁組二同 作自 書  
 ○運開大黒傘三同 作自 書  
 ○大福茶呑嘶二同 作自 書  
 ○敵討住吉詣前編二同 作自 書  
 ○櫻坂三十石敵始五同 作自 書  
 前編三册、後編二册  
 ○正直即功紙三同 作自 書  
 ○善惡兩良藥三同 作自 書  
 ○竹本義太夫武士二同 作自 書  
 ○大鯨豊年貢二同 作自 書  
 ○露深淀引船前二同 作自 書  
 ○殿下茶屋譽仇討三同 作自 書  
 敵討住吉詣の後編なり  
 ○八百八後家 同 作 書  
 ○腹内養生主論三同 作自 書

○鳩讀試禮者笑宴三十返舎一九自 書  
 ○花軍梅先陣五同 作自 書  
 ○増分福茶賀問二同 作 書  
 ○星月夜鎌倉山二同 作自 書  
 ○書本贊黙録禽二 二世戀川春町自 書  
 ○大前子依太平記向鉢巻三 式亭三馬北尾重政 書  
 此册子は前年一番組と二番組の火消人足の闘争の趣みとし  
 て作り四宮より出版せしに、よ組の足等大に怒り巳未の春正  
 月五甲板元及び三馬の兩宅を破壊せしかば、人足幾名入牢し、  
 裁許の日三馬は手鎖五十日、板元は過料に處せらる、此評判喧  
 傳して三馬の名は高く、これより大に流行兒となれり  
 ○芝草寺如來萬八縁起三同 作 書  
 この作は廣告せしのみにて如何なる故にや出版せず  
 ○悟段引返野暮明三同 作北尾重政 書  
 ○太閤記筆聯五莊 英勝川春亭 書  
 ○御聖代節用學問二同 作歌川豊國 書  
 ○教訓いろは短歌二 榮 亭子 與 書  
 ○中村傳九郎追善二 清遊軒同 書

○穿幹吹出笑三橘香保留  
 ○指角力手管業物三律秋堂北尾美丸  
 ○金春徳和家隱居三樹下石上歌川豊國  
 ○敵打巖之松五 蘭徳齋  
 ○寛政十二年出版  
 ○口中の甘説名利研三山東京傳北尾重政  
 ○不疊鏡  
 ○平假名錢神問答三同 作歌川豊國  
 ○夫は京昔男意氣成不二窪俊滿  
 ○是は東昔男意氣成不二窪俊滿  
 ○古版再摺  
 ○食言の大木三櫻川慈悲成歌川豊國  
 ○娘敵討扇銀面三南仙笑楚滿人同 書  
 ○二重緞子三徳平三櫻川慈悲成同 書  
 ○孝行白息子金持三樹下石上同 書  
 ○白井權八男送東錦給二同 書  
 ○運次第出世縁組三十返舎一九自 書  
 ○白井權八男送東錦給二同 書  
 ○金松權八男送東錦給二同 書  
 ○大江山幾野紀行二同 書

○同後大江山物語三十返舎一九自 書  
 ○白雨や田開帳晰二同 作自 書  
 ○木下隆夾間合戦前三同 作自 書  
 ○此縁唐有乎三同 作自 書  
 ○去御方の種業忠臣蔵三同 御好に付 作自 書  
 ○心學芋蛸汁三同 作自 書  
 ○出世鯉四方鯉水二同 作自 書  
 ○狭間合戦後編三同 作自 書  
 ○化物見世開二同 作自 書  
 ○貧福蜻蛉返二同 作自 書  
 ○昔話味縁熟三同 作自 書  
 ○文化十一年に金堀出分限と改題再版  
 ○明眼千人盲仙術二同 作自 書  
 ○謀得世人情二同 作 書  
 ○外題に道笑作と記せり、原本搜索せしも得ず、今は背本年表に從ふ  
 ○通遇言金世界捕鯉二 盧呂利館美明子 與  
 ○遇忘作 錢鑿貨寫書三 曲亭馬琴 北尾重政

○醫論義理與禪禪三曲亭馬琴北尾重政  
 ○胸人形肢體機關三同 作同 書  
 ○人間萬事賽翁馬三同 作同 書  
 ○花見話風盛衰記三同 作歌川豊國  
 ○備前摺盆一代記三同 作北尾重政  
 ○視藥霞報條三同 作同 書  
 ○繪本尊氏勳功記五 北尾重政 自 書  
 ○同後編補二代軍記五 同 作自 書  
 ○新御手遊邊磨心學三 鈍々亭和樽子 與 書  
 ○福神金大帳二同 作同 書  
 ○臍煎茶呑咽二永壽堂十返舎一九 書  
 ○怪談富士諸一同 作同 書  
 ○寇將軍勘略卷三時太郎可候自 書  
 ○男一鏡髮拔鏡二紫色主歌川豊國  
 ○夫京都見物左衛門二同 作同 書  
 ○是京都見物左衛門二同 作同 書  
 ○子産黄金七夜祝二蘭奢亭薰同 書  
 ○五體不具毒解藥三同 作同 書

○春長閑千金玉物二 香保留序 長閑存道  
 ○間合俗物警問答三 一片舎南龍子 與  
 ○座切記二足陸月二群馬亭葛飾北齋  
 ○半奈手本萬歳藏一  
 ○享和元年出版  
 ○繪本東土産罕同 編 書  
 ○初編より四編に至る、古來黄表紙八十種を再摺し合冊の上かく名づけたり、京傳の序あり、享和四年完結す  
 ○敵討梅ノ楼三 南仙笑楚滿人歌川豊國  
 ○敵討布施利生記三同 作同 書  
 ○櫻川話帳絨二櫻川慈悲成同 書  
 ○競腰業平形三同 作同 書  
 ○買飴紙爲野弄話二曲亭馬琴北尾重政  
 ○足手書草紙書賦二同 作同 書  
 ○敵討蚤取眼三同 作同 書

○曲亭一風京傳張三 曲亭馬琴北尾重政 書  
 ○教訓跡祭戲草三 同 作同 書  
 ○浪速秤無女芬輪二 同 作子 與  
 ○春駒象棊行路三 同 作北尾重政  
 ○父鸞宇都宮物語三 傀 子 歌川豐國 書  
○字津宮五段淨妙成道二 同 作同 書  
弘化四年再板芳茂齋  
 ○繪本報警錄三 玉 亭 子 同 書  
玉亭子は馬琴の匿名なり、  
○田代文政門 敵討根從雪 三 樹下石上 同 書  
○陰報 福貸自在金鏡玉 三 同 作同 書  
 ○いろは短歌二十返舎一九 自 書  
 ○色揚鼠嫁入 同 作長 喜  
○十四段 諸事素人狂言 三 同 作自 書  
 ○敵討巖柳島三 同 作自 書  
○巖柳島 後日漸二 同 作自 書  
○櫻吹 開帳延喜繁花 三 同 作自 書

○金寶身躰直二十返舎一九 自 書  
○古川初編門 敵討新編二 三 同 作自 書  
○同後 操草菊之離三 同 作一樂亭榮水  
改題敵對五人斬骨根崎染六册  
 ○三番雙福種蒔 同 作自 書  
○智惠文珠 馬鹿附藥 三 同 作自 書  
○御夢想丸 御夢想丸 三 同 作自 書  
 ○春霞男達引三 同 作 書  
 ○坂東七英士三 同 作勝川春亭 書  
 ○人武士忠義功二 同 作自 書  
 ○人心兩面摺前三 同 作自 書  
後編裏面心板路次享和三年出版  
 ○福徳三年酒二 同 作自 書  
○家内 山神御祭禮 二 同 作自 書  
○忠臣蔵四十八文字 三 同 作自 書  
 ○雲飛脚二代羽衣三 竹塚東子北尾重政 書  
○五段 式亭三馬自惚然 三 式亭三馬 歌川豐國

○鼻毛三尺 日本一痴僧 三 式亭三馬 歌川豐國 書  
○智惠一尺 日本一痴僧 三 式亭三馬 歌川豐國 書  
 ○兒童文珠稚教訓三 時太郎可候 自 書  
 ○縁結千代の子寶二 鈍々亭和樽 子 與  
○今古 豐年はなし 一 同 作 書  
 ○厄拂西海原三 笑 九 自 書  
 ○落話福種蒔二 遠唐沖人 書  
 ○下界驛鼻落天狗三 雀 千 聲 群 馬 亭  
○京鹿子 從夫道成寺 三 福亭三笑子 與 書  
○擬其後 從夫道成寺 三 福亭三笑子 與 書  
○本義書上 四年安買集介 三 蘭春亭薰 同 書  
○出本初 四年安買集介 三 蘭春亭薰 同 書  
 ○化物忠臣藏三 一 越 九 入 道 校  
 ○源平武者揃 北尾重政  
 ○昔晰枯木花二 北尾重政  
 ○享和二年出版  
 ○御詠染長壽小紋三 山東京傳 歌 磨  
○(春) 通氣智之鏡光記 三 同 作北尾重政 書  
○(夏) 晴色 香色多會集 三 同 作同 書  
○(秋) 野恩淺鏡湯新話 三 同 作歌川豐國 書

○(冬) 枯木花大慈利益三 山東京傳 歌川豐國 書  
○市川團藏 早業七人前 三 同 作北尾重政 書  
○合類 和陸香物三 市場通笑 歌川豐國 書  
○急度心アレスハナトケラリ 急度心アレスハナトケラリ 三 同 作北尾重政 書  
○鐵鎖祝 明花雀爲化三 同 作北尾重政 書  
 ○敵討松寄木六 南仙笑楚滿人 歌川豐廣 書  
 ○敵討時雨友三 同 作同 書  
○虛空太郎武者修行唯前 三 同 作同 書  
○新刊 告子の艶男 三 同 作同 書  
 ○艶道無茶盛當話二 同 作歌川豐國 書  
 ○七福今年咄二 櫻川慈悲成 同 書  
○一粒 種 本 三 同 作歌川豐廣 書  
 ○養得笈名鳥圖會三 曲亭馬琴北尾重政 書  
 ○初老了簡年代記三 同 作子 與  
○衣食住 三ヶ國 世帯太平記 三 同 作歌川豐國 書  
○筆新作 種蒔三世相 三 同 作北尾重政 書  
○種蒔若 種蒔三世相 三 同 作北尾重政 書  
 ○野夫爲兒歌曲訛三 同 作子 與  
 ○六冊懸徳用草紙三 同 作北尾紅翠齋 書

一名五大力三ツノ雷則讀

○詩本歷世傑五 曲亭馬琴序 勝川春亭

後改題龍草筆一本三冊とす

○的中地本問屋三十返舎一九自 書

○美男理金箔三同 作自 書

○屈伸一九著三同 作自 書

○嗚呼恐舖話三同 作自 書

○警敵夜居鷹三同 作喜久 書

○聞風耳學問三同 作歌 書

○播州車川仇討實記三同 作自 書

○赤穂車川仇討實記三同 作自 書

○二代目通人寐言二同 作菊 書

○玄徳武勇傳三同 作 書

○昔語由良港二同 作 書

○自先生繪温石奇効報條三式亭三馬歌川豊廣

○神史醒年代記三同 作自 書

杜芳の草紙紙年代記に倣ひたるものにして當時の小説史ともいふべきものなり、其筋は鉢冠姫の物語なれども其文章其繪畫は黒木時代青木時代の作者畫工の口吻畫風に擬し讀者を樂しませ

つゝ其變遷の目あたりに知らしむる趣向なり、是に加へ巻頭と巻末には畫工の名、問屋の印、名作及地口の變遷をしるせり

○御覽親孝經三式亭三馬歌川豊國

寛政九年の親孝經の改題なり

○新板塵劫記 時太郎可候自 書

○金降豐年貢三白銀臺一慶長喜

○金龜山寶案内子三樹下石上櫻春橋

○新板塵劫記 時太郎可候自 書

○太平記忠臣講釋三 傀 子歌川豊國

○同後編後坐卷三 同 作同 書

○増益山莊太輔三十返舎一九

○旅恥辱書捨一通三 同 作自 書

○忠臣陶物藏三 同 作自 書

○夏粉男達稿前三 同 作自 書

○夏木立戀鱗後二 同 作自 書

○怪談武家物奇談二 馬鹿山人 道 歌川豊國

○武茶盡混雜講釋三 樂山人馬笑 春 喬

○金銀多福長壽傳三 樹下石上 歌川豊國

○桃燈庫開夜七粉三 椒芽田樂 同 書

○享和三年出版

○人相怪家算見通座敷三 山東京傳 北尾重政

○怪談摸々夢字彙三 同 作同 書

○人間悟道迷所問案內三 同 作同 書

○人間萬事吹矢的三 同 作同 書

○分解道胸中双六三 同 作同 書

○仇敵礎打手三 南仙笑楚滿人 歌川豊廣

○前編 鬱討柳葉山三 同 作同 書

○後編 巖窟出世談三 同 作同 書

○敵討安積車三 同 作同 書

○敵討裏觀錦三 同 作同 書

○敵討巖間風尾草五 同 作同 書

○五人揃目出度娘三 同 作同 書

○花路の水 勝浦四遊記三 同 作北川秀麿

○信濃主人 俣待開帳咄三 同 作歌川豊廣

○開帳地口提灯三 同 作北尾重政

○鼠 嫁 入二 樹下石上 作北尾重政

○文盲先生珍學文三 櫻川慈悲成 歌川豊國

○はしか草紙一 竹塚東子

○鎌倉街道女敵討三 樹下石上 歌川豊廣

○一陽來福鼠嫁入二 十返舎一九 喜

○敵討合邦辻三 同 作自 書

○木麿杜野狐仇討三 同 作同 書

○善惡角力勝負附三 同 作同 書

○桃太郎初寶鬼島壘二 同 作自 書

○後編 無怪物寶初夢三 同 作自 書

○前編 輕口噺一 同 作真 之



此年痘瘡流行し、草双紙を赤にて摺り表紙も赤なるもの多く出たり、これも其一種なり、

- 同後編子寶山 一 十返舎一九 英 泉
- 駿阿部川敵討 後三 同 作 一樂亭榮水
- 若貝 嗚呼唇氣樓 三 威和亭鬼武 可 候
- 昔三國和漢雜話 二 同 作 同 書
- 慎道迷盡誌 三 同 作 勝川春亭 書
- 不厨庖即席料理 三 可 候 自 書
- 色外題空黄表紙 三 一 九門人 女 作 自 書
- 伊呂 浮世頭木 二 三 光 女 作 自 書
- 見草 浮世頭木 二 三 光 女 作 自 書
- 矢口渡 大中黒本種 三 虛 呂 利 長 喜
- 報警四萬物語 三 楓亭猶錦 歌川豊廣 書
- 敵討播洲皿屋敷 三 德永素秋 同 書
- 八百屋 加羅操狂言 三 榮邑亭邑二 長 喜
- 兄弟 仇討備前德利 二 馬 光 仙 舟 調
- 善惡 仇討備前德利 二 馬 光 仙 舟 調
- 美濃近江 果報物語 三 福亭三笑 歌川豊廣 書

- 四重編 若土産苦菜錦給 三 楓亭猶錦 歌川豊廣 書
- 職流義仕上押繪 三 薄川八重成 長 喜
- 忠臣蔵 再板磯臣平生 三 恒 醉 夫 北尾重政 書
- 後日 天鼓義心平成 三 同 作 同 書
- 通俗 三吞志三 萩原萩聲 長 喜
- 賤富一代早替 二 百亭貫斗 喜 久 磨
- はしか落葉なし 一 穿 山 甲
- 深山草花物新書 二 夢中竹三 勝川春英 書
- 書解平家物語 二 同 作 同 書
- 虚空太郎合弟仇討 三 南仙笑楚滿人 歌川豊廣 書
- 虚空太郎武者修行咄の後編 二 南仙笑楚滿人 歌川豊廣 書

○文化元年出版

- 作者胎内十月圖 三 同 作 同 書
- 二代目 七色合點豆 三 同 作 同 書
- 敵討親于塚前 三 南仙笑楚滿人 歌川豊廣 書

- 敵討水潜蜀紅錦 三 南仙笑楚滿人 歌川豊廣 書
- 仇敵意寫繪 三 同 作 同 書
- 後編 冬雪物語 三 同 作 同 書
- 酒餅論咄度茶話 三 同 作 同 書
- 仇討孝行車 後六 同 作 歌川豊國 書
- 仇討長太郎柳 三 同 作 歌川豊廣 書
- 妻の復仇千疋牛 三 同 作 同 書
- 叶屋福助話 二 同 作 長 喜
- 仇擊錦誰袖 三 樹下石上 歌川豊廣 書
- 萬福長者寶藏開 三 同 作 同 書
- 小夜中山宵啼碑 三 曲亭馬琴 同 書
- 新研十六武藏坊 三 同 作 北尾重政 書
- 御伽 五人拍部言 三 同 作 北尾紅翠齋 書
- 敵討二人長兵衛 三 同 作 同 書
- 松株木三階奇談 三 同 作 北尾重政 書
- 化もの敵討 二 十返舎一九 自 書
- 敵討猿轡場相餅 後三 同 作 長 喜

- 敵討逆若葉 三 十返舎一九 歌川豊廣 書
- 後編 葉屋縁の林 三 同 作 同 書
- 小夜 戀仇討孤助太刀 三 同 作 歌川豊國 書
- 御光寺 敵討精根原 三 同 作 歌川豊廣 書
- 人慾看通下筵 三 同 作 自 書
- 地神五代記 五 同 作 勝川春亭 書
- 繪本化物太閤記 二 同 作 自 書
- 白石 嘶風滿婦仇討 二 同 作 永 裡
- 兩面出世 恩愛猿仇討 三 虛 呂 利 歌川豊國 書
- 御娘敵討陸友綱 三 樹下石上 歌川豊廣 書
- 信夫摺錦伊達染 三 威和亭鬼武 歌川豊國 書
- 同編 陸奥昔女仇討 二 同 作 同 書
- 新曲五人切 松亭竹馬 長 喜
- 新年男笑種 紀尾佐丸 葛飾北齋 書
- 和 藤 内 十返舎一九 書

當時豊臣氏に關する事草紙錦給とも出版嚴禁せられ、たゞ太閤記と名を附したるものさへ御咎ありしに、此作を出せしかは忽ち絶板と共に手鎖五十日に處せらる

○敵討思亂菊後三 而德齋夫成  
 ○敵討名譽一文字三 竹塚東子 歌川豊廣  
○千支子 敵討 小堀木三  
 ○敵討磐手躑躅三 威和亭鬼武 歌川豊國  
 ○敵討春手枕二 待名齋今成 歌川豊廣  
○此の種は終つて天狗の種六  
 其の種は終つて天狗の種六  
 ○中村歌右衛門 勝川春亭  
併優の草紙を出せし始なり、合巻となりて大に流行す、もとより併優の自作にあらず、賣れざる作者が名を借りしものなり  
 ○文化二年出版  
 ○住土自慢名産杖三 山東京傳 歌川豊國  
 ○殘燈奇談机之塵三 同 作同 書  
敵討後祭禮の文題再版なり  
 ○寶茶齋 復讐煎茶遊鷹三 同 作自 書  
○本二紅間屋玉屋景物 十 同 作 歌川豊國  
 ○日照兩狐娶入二 市場通笑 歌川豊廣  
文化二年霜月の板玉屋の報孫代りの廣告なり、此類他に多し  
 安永八年出版の再版なり  
 ○敵討蟒蛇榎後前六 南仙笑楚滿人 歌川豊國

○仇討梅と櫻三 南仙笑楚滿人 歌川豊國  
○敵討田山女白狐後前六 同 作 歌川豊廣  
○即子頼方の昔語桃太郎傳 三 同 作 百 齋  
 ○敵討三組盃後前九 同 作 歌川豊廣  
 ○敵討篠川後前六 同 作 同 書  
 ○仇討都印籠後前六 同 作 同 書  
 ○源家武功記三 同 作 勝川春英  
○妙黄奈粉殿道成寺 三 曲 亭馬 琴長 喜  
○二代頼朝の奉打札所誓 三 同 作 月 磨  
 ○猫奴牝忠義合奏三 同 作 歌川豊國  
 ○復讐阿姑射松後前三 同 作 歌川豊廣  
○清 爰有身成金言 三 同 作 北尾紅翠齋  
○復讐阿部花街 三 十返舎一九 喜多川秀磨  
○同 戀仇被形容 二 同 作 同 書  
○同 臘月安西堤 二 同 作 同 書  
○防洲 妙見宮利益助劍 三 同 作 歌川豊國  
○水上 星宮大内鏡 二 同 作 同 書

○落嘶叶福助三 十返舎一九  
○滑稽しつゝなし前三 同 作 喜多川月磨  
○御詠向 金生木息子 三 同 作 自 書  
○叶福助 金生木息子 三 同 作 自 書  
○敵討丹洲手々打栗 五 同 作 自 書  
○一人娘ナリヨロミ調歌字盤 三 式亭三馬 歌川豊廣  
○老實製法 親難勝膏藥 三 同 作 同 書  
○滑稽新劇 親難勝膏藥 三 同 作 同 書  
 ○金生樹菜花鉢植三 樹下石上 歌川豊國  
 ○敵討岩手梅香後前三 竹塚東子 歌川豊廣  
○父母怨敵現腹鼓後前二 同 作 北尾紅翠齋  
 ○花紅葉二人鮫鱗三 内 新 好喜多川月磨  
 ○早替平氣景清三 同 作 歌川豊廣  
一名 景清漂泊日記  
 ○返咲八重之仇討三 威和亭鬼武 葛飾北周  
○敵討磐手 金生木息子 三 同 作 同 書  
○天怪報仇夜半嵐 三 同 作 同 書  
○敵怪談鬼武作物語 五 同 作 同 書  
 ○悟迷惑心の鬼武二 同 作 歌川豊廣

○茶漬原御膳合戦三 萩原萩聲 歌川豊國  
 ○敵討金糸詰縫後前三 而德齋夫成 同 書  
○金剛力士或道後前二 赤城山人 守信 齋  
 ○怪談四更の鐘二 素速齋 百 齋  
 ○五風十雨狐嫁入  
○拾 新桂川實錄 五  
 ○富士日記會我社三 而德齋夫成 勝川春亭  
 ○文化三年出版  
○阿内守村大 敵討兩輪車後前六 山東京傳 北尾重政  
○敵討孫太郎蟲後前六 同 作 歌川豊國  
○敵討狼河原後前六 同 作 同 書  
○通四丁目虎屋景物 七 同 作 歌川豊廣  
○親讐擊山魅後前二 南仙楚滿人 同 同 書  
○昔語姑獲鳥仇討 三 同 作 同 書  
○仇報妹背扇後前二 同 作 同 書  
○錦正宗刀珍説後前六 何 作 歌川豊國  
○敵討柳四郎兵衛後前六 同 作 同 書

- 渡邊綱一代記七 南仙笑焚滿人 勝川春亭
- 敵討三人姥<sup>後前</sup>三 同 作 歌川豊廣
- 朧月猫嫁入二 同 作 鳥居清峯
- <sup>再板</sup>敵討姥捨山<sup>後前</sup>六 同 作 歌川豊廣
- 復讐岐枝川<sup>後前</sup>六 同 作 同 書
- 復讐爲酒屋<sup>後前</sup>六 同 作 同 書
- 復讐讚誠<sup>後前</sup>六 同 作 同 書
- 復讐袴勝負<sup>後前</sup>三 樹下石上 歌川國長
- 敵討雜居廢物語<sup>後前</sup>六 曲亭馬琴
- 武者修行木齋<sup>後前</sup>六 同 作 歌川豊廣
- 敵討鼎の壯夫<sup>後前</sup>三 同 作 醉放逸人 書
- 大師河原撫子話<sup>後前</sup>六 同 作 同 書
- 復讐阿姑射松<sup>後前</sup>六 魁 雷子 作 同 書
- <sup>力</sup>絆討他力燒繼<sup>後前</sup>六 竹塚東子 葛飾北周
- 風風染五三桐山五 山 旭 亭 喜多川喜久磨
- <sup>五三桐</sup>山後編跡着衣裳五 十返舎一九 同 書
- <sup>五三桐</sup>山後編操染心雛形一 同 作 同 月曆

- 復讐矢指浦<sup>後前</sup>六 十返舎一九 自 書
- 法誓輪廻仇討三 同 作 自 書
- 嵐山花仇討<sup>後前</sup>六 同 作 歌川豊廣
- 青嵐柳下蔭<sup>後前</sup>三 同 作 一 雅
- 玉櫛笥二人奴三 同 作 歌川國長
- <sup>滑稽</sup>滑稽しつこなし後篇三 同 作 自 書
- 花舞大安賣二 同 作 自 書
- 敵討此方世界二 同 作 自 書
- <sup>ウツ</sup>伶俐怪異話三 同 作 自 書
- 其身益金持親玉二 同 作 自 書
- 後讐兩人孝行五 同 作 歌川豊廣
- <sup>翌年大懸</sup>七福神屑籠二 同 作 歌川國貞
- 敵討粟田口由來五 同 作 喜多川秀磨
- 敵討安達太郎山五 式亭三馬 歌川豊廣
- <sup>利根</sup>利根川<sup>大板</sup>大板<sup>後前</sup>二 同 作 歌川豊國

從來の草紙は五枚を一巻とし、前後に別ちたる六巻ものと雖も

各一巻宛一冊とし表紙張外題を添へたりしに、此作は三馬の工夫にて五巻を一冊とし前後二冊となしたれば表紙張外題の數も繁からず製本も便利にして金子もかゝらざるが故に翌年より大體この風に倣へり、之を合巻と稱す、

- <sup>再板</sup>陸月笑顔短歌<sup>後前</sup>六 威和亭鬼武 勝川春亭
- 敵討旭霜解三 面德齋夫成 同 書
- 敵討日本一瀟勞 櫻 鯛 助 書
- 怪談おそろ史記三 百 齋 自 書
- 敵討春告鳥<sup>後前</sup>三 眉 壽 亭 北尾政美
- <sup>再案</sup>虚氣の早替三 一 九 衣 葛飾北馬
- <sup>再案</sup>額の小三二福亭三 笑 勝川春亭
- 報讐十八公の榮六 百 齋 自 書
- <sup>出版年代未詳部</sup>牡丹餅は七夕二 芝 光 交 歌川豊國
- <sup>新</sup>武田三代記二 樹下石上
- 御用心未開扇二 南仙笑楚滿人

- 繪本三鼎倭孔明五 陸酒亭老人
- 撰とり帳二十返舎一九
- 武田勝頼一代記三 樹下石上
- <sup>駿河二丁町金鶴名残</sup>二時 鳥 館 櫻 文 橋
- <sup>新</sup>道中助六三十返舎一九 自 書
- 萬九ひ物語五 黄山自惚 北尾政美
- <sup>夜稚</sup>種軍談五 井久治茂内
- <sup>驪山</sup>山比翼塚二
- <sup>曾我</sup>我一代記五 文 化 蘭 德 齋
- <sup>新</sup>將門一代記五
- <sup>韓</sup>楚軍談五
- 敵討信田物語二
- 無茶志房辨慶島二
- <sup>新</sup>朝比奈一代記五
- <sup>木曾</sup>木曾義仲一代記五
- <sup>新</sup>板橋 葱招前九年五
- <sup>新</sup>太々太平記五 嘘亭主人 北尾重政

繪本太閤記の骨本なり、直に絶板

- 石橋山合戦三
- 幼な曾我二
- 通俗三國志二
- 風猫書の物語三
- 間取兼通三
- 摸紋自異怪話三
- 山姥物語二
- 和漢太平春駒二
- 渡邊綱一代武勇五
- 實盛一代記三
- 楠三代記三
- さら談義三

### ○合卷

三馬自筆日記文化三年の條に「翌年よりさうし間屋不殘合巻となりて」云々とあり、されど黄表紙は全く廢絶せしにあらざ、  
 文政の末年迄まゝ出版せり、即ち新版を黄表紙とし、翌年合巻  
 になほし再新版とせしものなり、今是等を區別せんが爲に黄表

紙には特に●印を附して之を分つ、なほ緒言を参照せらるべし、  
 附記假名草紙より黄表紙に至る迄は皆冊数を記せしも、合巻の  
 みは巻数を記せり、但一卷の丁数は五葉なり

### ○文化四年出版

- 敵討衛之玉川六 山東京傳 北尾重政
- 於玉二見仇討六 同 作 歌川豊國
- 於六櫛木曾仇討七 同 作 同 書
- 敵討岡崎女郎衆六 同 作 醉放逸人
- 安積沼後日仇討六 同 作 歌川豊廣
- 日高川道成寺傳奇六 同 作 歌川豊國
- 敵討稚木花王五 南仙笑楚滿人 歌川豊廣
- 敵討三重忠孝貞九 同 作 歌川豊國
- 敵討島廻幸助舟六 同 作 歌川豊國
- 敵討奥洲千貫橋二 同 作 歌川國長
- 敵討手打新蕎麥六 同 作 歌川豊廣
- 敵討遠森の渡六 同 作 同 書
- 敵討轆轤首娘六 同 作 同 書
- 敵討蘇生娘六 同 作 歌川豊國

- 繪本巴女一代記五 南仙笑楚滿人 歌川豊國
- 敵討吉野龍田六 同 作 歌川豊廣
- 敵討妹背山物語 前三 山東京山 歌川豊國
- 後篇二冊は文化九年出版
- 菊酒屋娘庭訓四 同 作 同 書
- 島村蟹渡之仇討六 曲亭馬琴 歌川豊廣
- 鼓瀧幼稚敵討六 同 作 同 書
- 復仇岬之洞六 同 作 勝川春亭
- 一名 寶茶郎談
- 三人六部 敵討鼓澤布六 同 作 歌川豊廣
- 大老門化粧若水袋入 同 作 歌川國貞
- 紅白粉店萬屋四郎兵衛の巻の景物なり
- 文化四年丁卯極月出版
- 敵討連歌怪談三 十返舎一九 自 書
- 敵討大悲誓五 同 作 歌川豊廣
- 敵討兩士孝行の改題なり
- 諏訪湖狐怪談前五 同 作 同 書
- 後篇文化五年出版

- 敵討五郎兵衛 敵討道徳男 前 五十返舎一九 歌川豊國
- 新作はなしうなぎ 一 同 作 自 書
- 化物 娶入三 同 作 勝川春英
- 板元註文色摺新形染 袋入 同 作 勝川春亭
- 給勇壯義經錄三 同 作 勝川春英
- 給大内家軍談三 同 作 同 書
- 繪本武徳木會棧三 同 作 同 書
- 箱根靈驗寢仇討六 式亭三馬 歌川豊廣
- 復讐要號谷六 同 作 歌川豊國
- 敵討浮木龜瀨五 竹塚東子 歌川國長
- 敵討代九郎嘶六 面徳齋夫成 歌川豊國
- 仁王坂英雄二木六 威和亭鬼武 歌川豊廣
- 不敵討神佛應護二 同 作 勝川春亭
- 化粧阪園仇討五 同 作 葛飾北馬
- 敵討再生種六 竹塚東子 勝川春英
- 菊重配、盃六 東里山人 歌川豊國
- 物の山古今復讐大全六 同 作 勝川春英

- 敵討寐物語五 傳 笑 序 歌川國長
- 怪談木の花草紙三 關亭 傳 笑 同 書
- 欲皮千枚張三十返舎一九 喜多川月磨
- 敵討仲間入三 同 作 自 書
- 金蔓堀出分限三 同 作 自 書
- 敵討仲間入の改題直し
- 紙子頭巾嘉久助唯 一 信陽齋有軒 歌川豊廣
- 新形三東里山人 歌川美丸
- 文化五年出版
- 東上野敵討白藤源太談 七 山東京傳 歌川豊國
- 安達ヶ原糸車九尾狐 九 同 作 同 書
- 那須野山 同 作 同 書
- 岩井掃糸野仇討七 同 作 同 書
- 放駒 俠客双蝶々 九 同 作 同 書
- 放駒 妬湯仇討話 六 同 作 同 書
- 女逸三月お仙傳 六 同 作 同 書
- 小曾八重屋かしの仇討 六 同 作 同 書
- 萬福長者榮花物語 三 同 作 歌川豊廣

- 絞染五郎強勢談五 山東京傳 歌川豊國
- 此書十七丁に辻君十人圍坐して百萬遍をくり居る圖あり、鼻の缺けたるもの、眉なくて香藥をほりしもの、眇等其醜態笑ふべし當時夜鷹此圖を見て憤り京傳を道に捕へて困却させしといふ。
- 敵討木曾棧六 同 作 同 書
- 敵討天竺徳兵衛六 同 作 同 書
- 熊女越路ノ仇討六 同 作 同 書
- 鏡山譽仇討五 山東京山 歌川豊國
- 敵討富士白酒五 同 作 同 書
- 敵討女今川六 同 作 同 書
- 十國子 女六部仇宇都谷 六 同 作 勝川春亭
- 左甚五郎蛇淵仇討六 同 作 歌川豊廣
- 漆原大 復讐油屋お染 七 同 作 歌川國貞
- 錦木塚孝女仇討五 同 作 同 書
- 名香柴 復讐勝山結 五 同 作 同 書
- 舟由來 復讐勝山結 五 同 作 同 書
- 敵討熊腹帶六 同 作 歌川豊廣

一名 天報正宗一代話説

- 小鍋丸手石入船六 曲亭馬琴 歌川豊國
- 敵討兒手柏木五 同 作 同 書
- 加田建輔 敵討白鳥關 六 同 作 歌川豊廣
- 長介海船 敵討白鳥關 六 同 作 葛飾北齋
- 敵討身代名號六 同 作 勝川春亭
- 歌舞伎傳助忠義始 七 同 作 勝川春亭
- 相洲矢倉澤仇討六 十返舎一九 同 書
- 忠信草津姥ヶ餅六 同 作 歌川豊廣
- 勇略女教訓五 同 作 葛飾北齋
- 鼓草花の仇討五 同 作 北尾紅翠齋
- 鼓草花の仇討五 同 作 歌川國貞
- 桑名屋徳藏廻船話 六 同 作 歌川豊廣
- 商人金采配三 同 作 自 書

- 多羅福注文帳三十返舎一九 歌川豊廣
- 越中立山幽霊村仇討六 同 作 同 書
- 花曇都仇討五 同 作 自 書
- 忠孝二筋道六 同 作 鳥居清峰
- 俗言種狐拳三 同 作 同 書
- 質流人の行末三 同 作 勝川春英
- 質流思外幸の改題新版なり
- 諏訪湖狐怪談後編五 同 作 勝川春亭
- 妖怪一年草三 同 作 歌川國貞
- 三國誌三 同 作 同 書
- 雷門 渡返淺草紙二 同 作 自 書
- 御読淺草法の外題直し歟
- 玄徳武勇傳三十返舎一九 校
- 三浦義経二人斧對仇討三 式亭三馬 歌川國貞
- 三浦義経 玉手前敵物語三 同 作 勝川春亭
- 玉藻前三國傳記三 同 作 同 書

此草紙出版の際函館一件に付際る事あり暫く禁賣せらる

- 蟬蛇於長鬪草紙七式亭三馬歌川國貞
- 大津土名名助太刀八同 作同 書
- 御兵衛有田明之助六同 作同 書
- 谷汲觀音難有孝行類三同 作歌川豐廣
- 利益伏討難有孝行類三同 作歌川豐國
- 鬼兒鳥譽仇討八同 作歌川豐國
- 宿六始、未刻太鼓と此書と合綴讀本まがひに大合巻と稱し賣出せしむりなとらさりしとふ
- 金銅名大敵討宿六始十同 作同 書
- 正宗名刀敵討宿六始六同 作歌川豐廣
- 島川御堂討未刻太鼓六同 作
- 金花猫鬘復懸兩腰六同 作
- 化生屋敷敵討八同 作勝川春亭
- 敵討猿田ヶ淵六關亭傳笑勝川春扇
- 孝行娘妹背仇討六同 作歌川豐廣
- 雷幸藏藏話六竹塚東子勝川春亭
- 寶入船七福大帳二威和亭鬼武松爾櫻
- 増補執柄太郎三南仙笑楚滿人歌川豐國
- 敵討源五郎餅六東西庵南北勝川春扇

- 敵討最上紅花染三三よしの多賀安歌川國長
- 七役敵討記乎汝六六樹園醉放逸人
- 金比羅敵討乘合斬六姥尉介歌川國貞
- 御利生敵討乘合斬六姥尉介歌川國貞
- 敵討縁小車五千代春道勝川春亭
- 珍説飛敵討三市二三醉放逸人
- 伊賀越時島相宿斬五藤壽亭松竹歌川國貞
- 御堂時島相宿斬五藤壽亭松竹歌川國貞
- 高野山敵討報蛇柳六松下井三和葛飾北齋
- 矢木燦敵討報蛇柳六松下井三和葛飾北齋
- 福來笑門松五素速齋百齋久信
- 善惡復仇甚三紅組五川關樓琴川勝川春亭
- 邪正復仇甚三紅組五川關樓琴川勝川春亭
- 二入平太敵討女夫柳六同 作同 書
- 文化六年出版
- 八幡松下梅竹取物語後九山東京傳歌川國貞
- 荒五郎志道軒昔講釋七同 作歌川豐國
- 夜兵衛志道軒昔講釋七同 作歌川豐國
- 岩月神樂劍威徳六同 作勝川春亭
- 梅山由女丹前六同 作勝川春扇
- 清十郎風流伽三味線十同 作勝川春亭

- 勸善辻談義八山東京傳歌川豐國
- 二日替連理花王後五山東京傳歌川豐國
- 三味線其後日三五大由山東京山同 書
- 紙治早引説要集十同 作歌川國貞
- 宮城野正説娘楠木六同 作勝川春亭
- 信夫正説娘楠木六同 作勝川春亭
- 門前草草娘庭訓八同 作歌川豐國
- 門前草草娘庭訓八同 作歌川豐國
- 孝行酒屋譽劍菱七同 作同 書
- 聞道初音仇討三同 作鳥居清峯
- つねの五人女都紅筆六同 作同 書
- 契情の松操説双生波六同 作勝川春扇
- 官女の松操説双生波六同 作勝川春扇
- 兒女情王象平内剛力譚六同 作勝川春扇
- 兒女情王象平内剛力譚六同 作勝川春扇
- 妹は紅都春仇六六同 作同 書
- 妹は紅都春仇六六同 作同 書
- 約物屋左衛門助太刀六曲亭馬琴同 書
- 句全伽羅之柴舟三同 作歌川國貞

- 上野山下萬丸油元結團店の景物
- 玉飾笥石堂丸物語三曲亭馬琴葛飾北齋
- 白八郎敵討拳入丈六同 作歌川國貞
- 天保十一年再版
- 小女郎蜘蛛怨學環士同 作勝川春亭
- 天保十二年再版國芳齋
- 山中鹿之助稚譚十同 作勝川春亭
- 敵討女用文章六十返舎一九勝川春扇
- 三十大矢敵意恨仇討六同 作同 書
- 三十大矢敵意恨仇討六同 作同 書
- 三十大矢敵意恨仇討六同 作同 書
- 敵討鷲娘由來七同 作同 書
- 三峯山御狐助太刀七同 作同 書
- 三峯山御狐助太刀七同 作同 書
- 三峯山御狐助太刀七同 作同 書
- 彦山靈驗英傑仇討話六同 作同 書
- 彦山靈驗英傑仇討話六同 作同 書
- 敵討女諸禮鑑五同 作歌川豐廣

○岐縣關野太郎物語 六十返舎一九 勝川春扇  
 ○越後國坐頭宮山來 三 同 作 歌川豐廣  
 ○關鎮守 御獄勢仇討 七 同 作 喜多川月磨  
 ○敵討蝦蟆妙藥 五 同 作 喜多川式磨  
 ○紅染團七時雨傘 三 同 作 喜多川月磨  
 ○唐土茶番狂言起原 三 同 作 同  
 ○敵討磐手杜 三 同 作 同  
 ○一休草庵茶漬飯 三 同 作 同  
 ○五郎吉仇討上洲相 三 同 作 同  
 ○傳兵衛仇討戀友猿 三 同 作 歌川國長  
 ○石上布留物語 六 同 作 勝川春扇  
 ○猪熊入道物語 六 同 作 同  
 ○反響甚孝記 八 同 作 喜多川月磨  
 ○加古川本藏建立 三 同 作 同  
 ○復讐奥州瓶割坂 三 同 作 同  
 ○申戲狂言一夜附 三 同 作 自  
 ○化物盡 四 同 作 自

○根なし草夢物語 三式亭三馬 勝川春亭  
 ○かまの山吹の歌 三 同 作 歌川美九  
 ○赤毛は長三 打諺譚 一 同 作 歌川豐國  
 ○百銅は短三 打諺譚 一 同 作 歌川國貞  
 ○吾婦織角紙大全 八 同 作 同  
 ○七難七福神 四 同 作 同  
 ○忠孝振分自然書 三 同 作 同  
 ○道中双六 八 同 作 同  
 ○長壁明石物語 六 同 作 勝川春亭  
 ○櫻川慈悲成 歌川豐廣  
 ○壽茶番狂言 三 同 作 歌川國直  
 ○道成寺現在 鱗十 談洲樓焉馬 喜多川月磨  
 ○怪談小幡小平次 三 同 作 同  
 ○敵討大山道中二筋道 八 梅暮里谷峨 四川東子  
 ○敵討大山道中二筋道 二 威和亭鬼武 葛飾北馬  
 ○敵討お半紅粉 五 同 作 歌川美九  
 ○敵討お半紅粉 六 同 作 喜多川式磨

○敵討十三鐘由來 六 威和亭鬼武 歌川國九  
 ○敵討猫股塚山來 七 關亭傳笑 勝川春扇  
 ○兒ヶ淵誓仇討 七 同 作 北尾紅翠齋  
 ○雙子山仇討話 六 同 作 柳谷  
 ○花鳥風月仇討話 六 益亭三友 歌川文治  
 ○敵討大日坊物語 六 東西庵南北 勝川春扇  
 ○岸流島手染色揚 四 岡山鳥 同  
 ○敵討女鉢木 三 市二 三 勝川春扇  
 ○敵討鶴見里 六 本野素人 同  
 ○長右衛門娘實語教 六 同 作 同  
 ○桃太郎子寶草紙 三 千歲亭松武 喜多川月磨  
 ○面鏡仇討志繪 三 錦久留丸 歌川國滿  
 ○奇談立山物語 三 素速齋 久 信  
 ○敵討裏見瀧 六 松下井三和 歌川豐廣  
 ○女庭調寄右衛門茶碗 七 東西庵南北 勝川春扇

○小全半兵衛 東西庵南北 勝川春扇  
 ○二人及右衛門 東西庵南北 勝川春扇  
 ○田舎者頼多無禮話 三 東里山人 喜多川月磨  
 ○風富士色板被會我 三 南仙笑楚滿人 歌川豐國  
 ○辨天 建久女敵討 三 與風亭梧井 盈齋北俗  
 ○文化七年版  
 ○戲場花牡丹燈籠 六 山東京傳 歌川國貞  
 ○昔織博多小女郎 七 同 作 烏居清峰  
 ○親敵うとふ 第六 同 作 歌川豐國  
 ○半夜の鶴親父形氣 八 同 作 同  
 ○女西行富士太郎梅露家 八 同 作 同  
 ○小町物語 歌字盛宵柳 八 同 作 同  
 ○名物八ツ日鏡四掛物語 三 山東京山 勝川春亭  
 ○丁持久松 洗心 洗心 洗心 八 同 作 歌川國貞  
 ○小太刀早 忠義 忠義 忠義 三 同 作 勝川春扇  
 ○敵討お半紅粉 六 同 作 同

○十國一八... 六 山東京山 勝川春扇  
 ○積恩女鉢木六 同 作 勝川春亭  
 ○高尾丸劍稻妻六 同 作 鳥居清峯  
 ○彦三 昔羅女房氣貫六 同 作 歌川國貞  
 ○腹之佳和あふむ八 一 同 作 同 書  
 ○打也敵野寺鼓艸三 同 作 歌川豐國  
 ○姥櫻女清玄六 同 作 勝川春亭  
 ○佛長九郎力髪一對男三 同 作 喜多川式磨  
 ○佛長九郎力髪一對男三 同 作 勝川春亭  
 ○水觀音利劍動功三 同 作 歌川國滿  
 ○男達三箇太鼓五 同 作 同 書  
 ○其昔矢口仇浪三 同 作 昇亭北壽  
 ○曲輪育操松三 同 作 喜多川月磨  
 ○大峯山陀羅助始八 同 作 歌川よし九

○伊賀越 玉櫻待合斬六 十返舎一九 歌川よし九  
 ○貞操之柳三 同 作 歌川豐國  
 ○蝦蟇妙傳三 同 作 葛飾北馬  
 ○櫻ヶ池二 同 作 喜多川月磨  
 ○於都里岐一 同 作 喜多川式磨  
 ○善惡 於竹大日忠孝鏡七 式亭三馬 勝川春亭  
 ○兩面 於竹大日忠孝鏡七 式亭三馬 勝川春亭  
 ○鴉權兵衛俠客談三 同 作 菊川英山  
 ○親の爲孝太郎次第四 同 作 歌川國貞  
 ○三ツ組 昔形福壽盃三 同 作 歌川國貞  
 ○親の爲孝太郎次第四 同 作 北尾よし九  
 ○戀山崎與一兵衛物語三 同 作 同 書  
 ○左甚腕雕一心命四 同 作 同 書  
 ○五郎腕雕一心命四 同 作 歌川國滿  
 ○土佐... 六 同 作 歌川國貞

○其爲... 七 式亭三馬 歌川豐國  
 ○毬歌娘形氣五 同 作 同 書  
 ○達摩大通花見甞三 櫻川慈悲成 同 書  
 ○勸善近江八景六 同 作 蘭齋北嵩  
 ○教訓稚土産三 竹塚東子 歌川國九  
 ○照天姫黄昏艸紙六 東里山人 勝川春扇  
 ○清川文七元結始六 同 作 北尾美丸  
 ○鏡山後日の俯六 東西庵南北 勝川春扇  
 ○吾妻染杜若絞三 同 作 同 書  
 ○身振いろは藝三 同 作 同 書  
 ○文七ニッ連立春の庵六 同 作 同 書  
 ○巴のおせん三 同 作 同 書

○筆始日出松三 東西庵南北 歌川金藏  
 ○艶姿一對男三 岡山鳥 歌川國房  
 ○二人娘 新曲糸竹二 同 作 同 書  
 ○小野小町戲場化粧六 橋本徳 歌川豐國  
 ○奇哉夜光珠三 市二 三 歌川國滿  
 ○復讐化粧水三 千歳亭松武 喜多川月磨  
 ○千穀通稚智惠鏡六 同 作 同 書  
 ○早替工夫仇討三 硯亭墨山 同 書  
 ○千羽鳥山路曙三 同 作 同 書  
 ○足柄峠仇討三年 彦歌川國房  
 ○枯柳糸皿山三千代春道 勝川春亭  
 ○敵討忠孝大雞塚六 竹塚東子 菊川英山



○東都自慢花名物三 望月窓輔 歌川豊國  
 ○復讐今川狀三 川弄樓主人 歌川國滿  
 ○佛實兵衛某科日記三 萬歳庵龜人 勝川春扇  
 ○身延山誓仇討三 柴舟庵一雙 喜多川月麿  
 ○敵討越後獅子五 同 作 同 書  
 ○御覽戀は曲者三 初音樓一柱 同 書  
 ○鐘巻市右衛門助太刀五 益亭三友 歌川國丸  
 ○文化八年出版

○山東京傳 歌川國貞  
 ○今世のいぢり 梅田長吉 同 書  
 ○上之助門 男草履打六 同 作 同 書  
 ○櫻姫筆再咲六 同 作 同 書  
 ○娘景清襖振袖六 同 作 同 書  
 ○物草姫昔雛形六 同 作 同 書  
 ○洲皿屋舗物語六 同 作 同 書  
 ○女俊寛雪花道五 同 作 同 書

○二人若衆娘權八 六 同 作 鳥居清峯  
 ○奴勝山娘丹前三 同 作 歌川豊國  
 ○若衆若衆水仙丹前六 同 作 勝川春亭  
 ○善悪 兩道染和解手綱六 同 作 勝川春扇  
 ○翠波吉兵衛發心記六 同 作 勝川春扇  
 ○相馬内裡後雛棚六 同 作 同 書  
 ○出世娘振袖日記六 同 作 同 書  
 ○極彩色額小三五 同 作 葛飾北嶺  
 ○懷兒夜編笠五 同 作 同 書  
 ○本調子直系筋 山東京傳 鳥居清峯

○敵討法花合邦辻三 十返舎一九 勝川春扇  
 ○忠臣一代八卦七 同 作 喜多川月麿  
 ○雛祭妹背仇討八 同 作 喜多川式麿  
 ○新居殖産附初由來三 同 作 歌川美丸  
 ○昔嘶手飼福狗三 同 作 勝川春扇  
 ○腹ノ内戯作種本三 式亭三馬 喜多川美丸  
 ○二枚續吾妻錦繪六 同 作 歌川豊國  
 ○滑稽 笑草三 竹塚東子 同 書  
 ○飛秀蝶々のかんざし三 同 作 北川美丸

○新撰生姜市草創六 關亭傳 笑 歌川豊廣  
 ○河洲大森塚三 同 作 歌川國滿  
 ○東西庵南北 勝川春扇  
 ○繪本下界頭會一 同 作 同 書  
 ○茶番狂言口切せりふ三 東里山人 同 書  
 ○新編月熊坂話三 時太郎可候 自 書  
 ○敵討振合ちがひ三 市二 三 歌川國丸  
 ○老稱二度築三 同 作 同 書  
 ○鱧庖丁青砥切味六 柳亭種彦 蘭齋北嶺  
 ○牛兵衛 新うつけ物語六 同 作 歌川國貞  
 ○近江源氏湖月照六 紀 十子 同 書

- 白雲初普渡茶ノ口切 不乾齋雨聲 喜多川月磨
- 高尾阿波六重門首 六 橋本德瓶 歌川國貞
- 小夜中山物語四 同 作 菊川英山
- 小夜若錄照天松三 扇島德秀 歌川國清
- 赤松三郎 冥冥忠義ノ操 三 一亭五蘭 喜多川月磨
- 金比羅 敵討雅講談 三 祝亭墨山
- 女權明 五人崩日ノ六 三 益亭三友 歌川國安
- 清川文七 左文字源義月日味 五 同 作 歌川國九
- 梅田由良 鶴銀杏對山門 五 同 作 同 書
- 浮身姿女友盛 同 同 作 歌川國九
- 笑物黃金島臺二 同 作 歌川國次
- 人ノ武士弓及引方三 初香樓一炷 喜多川月磨
- 駿洲靈蛇唐衣 三 同 作 同 書

○文化九年出版

- 升繫男子鏡六 山東京傳 勝川春扇
- 龍釣瓶丹前八ッ橋 六 同 作 鳥居清峯
- 男鹿釣狐昔後笠 六 同 作 歌川國九

- 薄雲猫ノ舊話 六 山東京傳 歌川國貞
- 七代若菜 朝茶一丁目 六 同 作 歌川國貞
- 留聲機ノ今昔八丈揃 六 同 作 同 書
- 妹背山長柄文臺 六 同 作 同 書
- 赤松二人虛無僧 九 同 作 同 書
- 櫻田之助 勇雲外氣節 六 同 作 同 書
- 山久 淺男黃金ノ豆蔕 九 山東京 歌川國貞
- 先ツ讀三國小女郎 六 同 作 同 書
- 七代つゞく 家櫻殿引幕 六 同 作 同 書
- 到至丸 山莊太夫咲分 六 同 作 勝川春亭
- 妹背山後雛島 六 同 作 北川美丸
- 女將門七變化粧 六 同 作 勝川春扇
- 其俤昔八丈五 同 作 歌川國九
- 辰初故郷ノ錦繪 六 同 作 歌川國貞
- 七代孝行 雀心ノ竹馬 六 同 作 歌川美丸
- 女鳴神名歌短冊 六 同 作 鳥居清峯
- 加太明鳥旭ノ紅染 六 同 作 勝川春扇

- 山東京山 六 山東京山 作 歌川豐國
- 小唄 咲替ッ梅ハ武士 八 同 作 歌川豐國
- 鳥籠山 鶴助太刀 六 曲亭馬琴 北川美丸
- 子持 柳花柱ノ夕 六 同 作 勝川春扇
- 行平 鍋須磨酒宴 六 同 作 同 書
- 傾城道中 双六 六 同 作 同 書
- 敵討仇名物好寄 三 同 作 勝川春亭
- 千葉館世繼雜談 六 同 作 勝川春亭
- 位山 譽橫綱 六 十返舎一九 勝川春亭
- 縁ばいな物味な物好 三 同 作 喜多川月磨
- 夢ノ浮橋 三 同 作 歌川國丸
- 大通人 狐拳 三 同 作 北川美丸
- 大童子 武者修行英男傳 五 式亭三馬 歌川國九
- 舊内裡 眞鳥譚 六 同 作 歌川國貞
- 浮城 山ノ前風呂甘酒 六 同 作 歌川國直
- 鱧頭兵衛 幻草紙 六 同 作 歌川國滿
- 江戸水福話 六 同 作 同 書

- 赤本 花 咲 爺三 式亭三馬 歌川國九
- 再興 花 咲 爺三 式亭三馬 歌川國九
- 作者赤本の文法にならひ橋上は赤本の筆意をうつつ
- 梅若 妖物語 六 同 作 勝川春扇
- 今昔宿直物語 六 竹塚東子 歌川國丸
- 定紋花ノ輪違 三 同 作 歌川國直
- 人孝奇談 讚賞録 六 竹塚東子 菊川英山
- 浮樂鏡忠義見通 三 威和亭鬼武 菊川英山
- 諺草籠ノ中ノ鳥 五 關亭傳笑 北川美丸

- 巡世の長者萬燈 二 關亭傳笑歌川國長
- 甲洲猿橋山來五 關東米勝川春亭
- 戀女房仇討双六 姥尉介歌川國長
- 玉藻前雲井拾扇五 古今亭三鳥歌川國次
- 書習廊文章五 德亭三孝同書
- 毘大盡廓全盛五 益亭三友同書
- 吾妻育露荒事三 同作歌川國九
- 雷神丸劔稻妻三 春亭三曉北川よし丸
- 春月薄雪櫻三 麟馬亭三千歲勝川春亭
- 出世春千兩幟五 橋本德瓶歌川國直
- 無間鐘城道成寺三 同作歌川國九
- 黒舟染姉川頭巾五 同作菊川英山
- 高野蝶三月欠金三 紫竹堂歌川國九
- 伊達娘常陸小杉三 市二三歌川國滿
- 妹小紅孝婦傳六 同作歌川國九
- 四國十疋猿三 同作同書

- 天地施敵討濫觴三 市二三勝川春扇
- 乘懸合羽雫仇討二 岡山鳥歌川國九
- 富士の山姥 六 東西庵南北勝川春扇
- 女合法戀修行者五 同作歌川金藏改
- 女合法戀修行者五 同作勝川春扇
- 二人左衛門 六 同作同書
- 血屋舖後日ノ燒糺 五 同作歌川國九
- 蟲盡世話移氣三 長亭五蘭歌川國九
- 笑門噲福仁三 同作勝川春亭
- 隅田系圖梅若詣三 綠亭可山勝川春扇
- 敵討又はじまり三 同作同書
- 文化十年出版
- 重井筒娘千代能六 同作北川國九

- 無間鐘娘縁起六 山東京傳歌川豐國
- 安達ヶ原水姿見六 同作同書
- 春相摸花錦書六 同作歌川國直
- 兒ヶ淵櫻ノ振袖六 同作歌川國直
- 天竺僧 六 同作同書
- 梅川早便梅川物語五 山東京山柳川重信
- 園の梅トシの枝振六 同作歌川豐國
- 薄雲櫻古跡ノ曙六 同作歌川國直
- 羅風流五思氣娘七 同作同書
- 磨直大内鏡六 同作同書
- 伊勢音頭戀の手跡 六 曲亭馬琴勝川春扇
- 敵討餘世波與佳津多 三 十返舎一九喜多川月磨
- 玉柏二人男三 同作喜多川月磨
- 海陸西海往來三 同作歌川美丸
- 菅原流清書草紙六 同作勝川春亭

- 敵討巖流島五 十返舎一九自書
- 洪福水揚帳三 同作喜多川月磨
- 合鏡二ツ巴三 同作同書
- 方言修行金草鞋 三 同作勝川春亭
- 初編二冊六冊江戶見物、三編六冊大阪見物(以上月磨書)、四編六冊四國道中美丸書、五編六冊木曾路の巻月磨書、六編六冊四國道中東丸書、七編鹿島生柄筑波日光國丸書、八編九編九編四國道直書、十編六冊阪東順禮美丸書、十一編六冊秩父順禮國丸書、十二編身延山道中記、十三編甲州信州善光寺草津迄道中記月磨書、十四編四國道、十五編江戶八十八ヶ所巡美丸、十六編二十四景順拜、十七編房州小湊參詣國直書、十八編越中上羽黒山國安書、十九編加洲白山參詣重政書、二十編羽州最上羽黒山國安書、二十一編南部路記象遠國直書、二十二編伊豆紀行熱海國直書、二十三編江ノ島箱根七湯國安書、二十四編洲金比羅美丸書、二十五編長崎宮島重政書、
- 日高川清姫物語五 式亭三馬歌川國直
- 吾妻花歌妓氣質六 同作歌川國直
- 錦帶准無間六 柳亭種彦柳川重信
- 春霞布袋本地三 同作同書

